

協働によるまちづくりの推進に関する市の施策の実施状況報告書
(令和2年度実績)

令和3年9月

仙台市

目 次

I	はじめに	1	頁
II	基本施策に関する事業	2	頁
	1 市民活動の促進および市民協働の推進に関する事項	3	頁
	2 政策形成過程への市民の参画の推進に関する事項	10	頁
	3 多様な主体による活動の促進に関する事項	17	頁
III	市民協働事業	37	頁

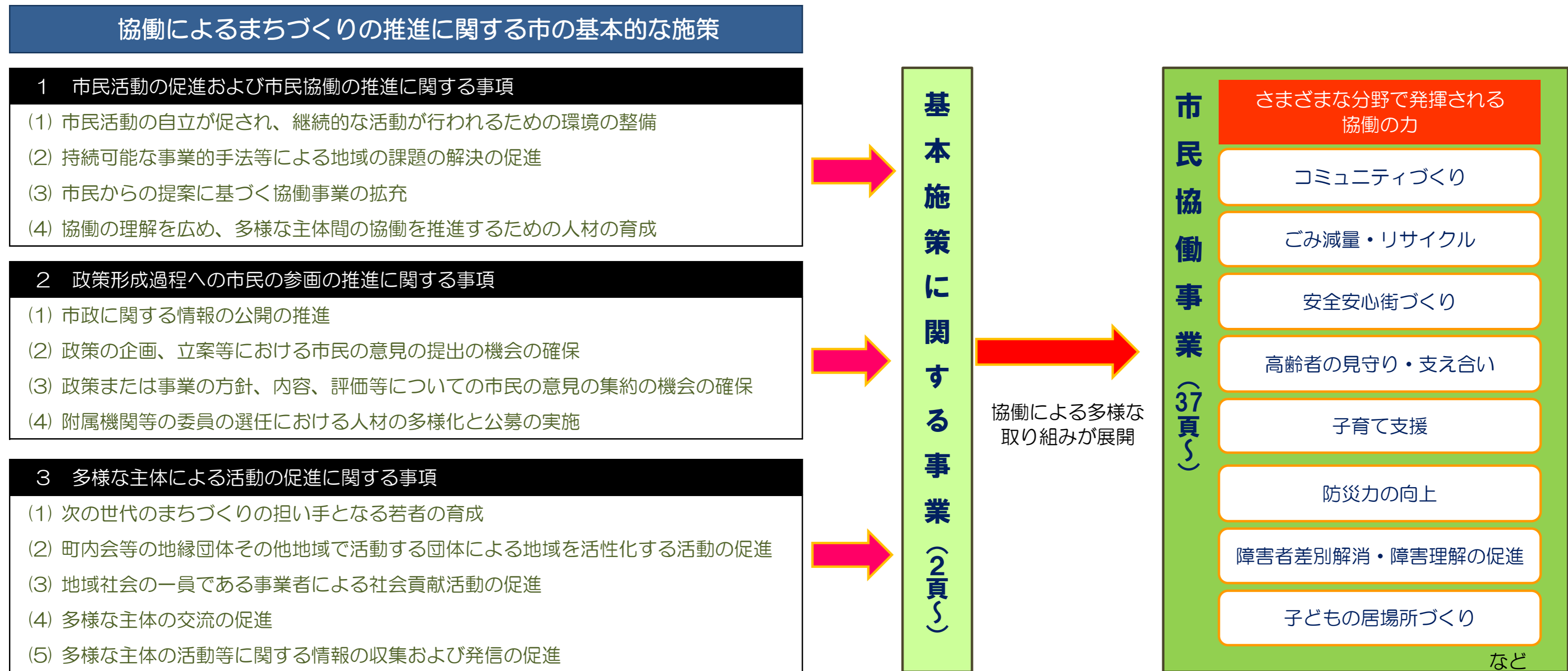
I はじめに

「仙台市協働によるまちづくりの推進に関する条例」(以下「条例」という。)は、本市における協働の基本理念を定め、市民と市の役割を明らかにするとともに、協働によるまちづくりを推進するための基本的な事項を定めることにより、協働によるまちづくりを総合的かつ計画的に推進し、もって、豊かで活力ある地域社会を実現することを目的に、平成27年7月に施行されました。

このたび、条例第9条[※]に基づき、令和2年度における協働によるまちづくりの推進に関する市の施策の実施状況について報告します。

※条例第9条・・・市長は、協働によるまちづくりの推進に関する市の施策の実施状況について、適宜、議会に報告するものとする。

条例に基づき定めた「仙台市協働によるまちづくりの推進のための基本方針」に掲げる協働によるまちづくりの推進に関する市の基本的な施策について、これらを推進するための事業（基本施策に関する事業）を実施し、協働による多様な取り組み（市民協働事業）の展開を図りました。

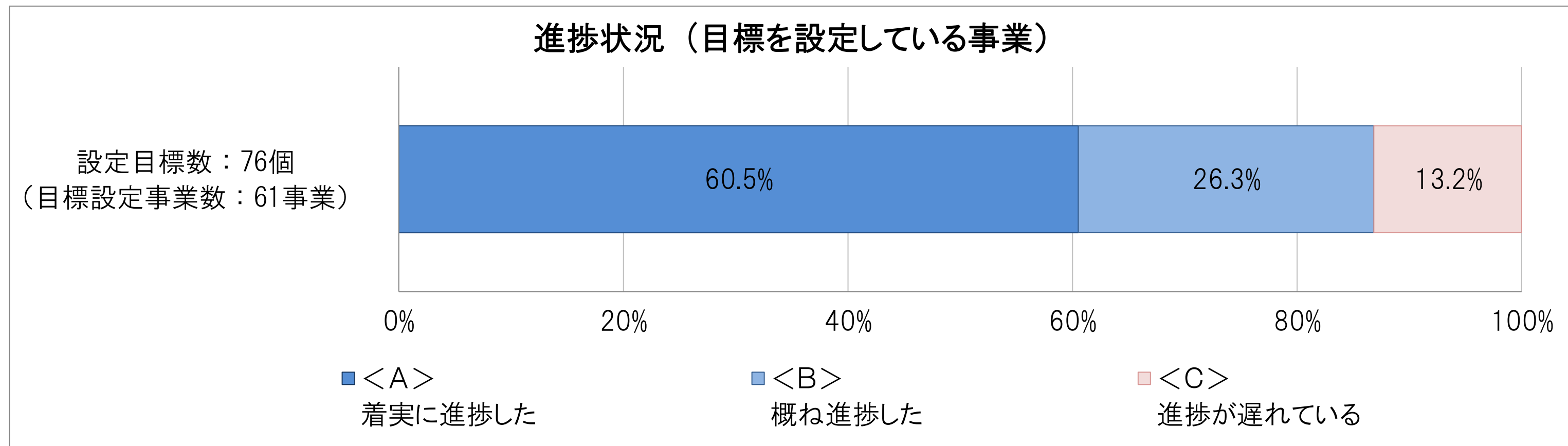


Ⅱ 基本施策に関する事業

「仙台市協働によるまちづくりの推進のための基本方針」に掲げる協働によるまちづくりの推進に関する市の基本的な施策を推進するための主な事業について、実施状況を掲載しています。

【基本施策の各分野における進捗状況】

基本施策に関する事業87事業のうち、61事業について計76個の目標を設定しています。各目標に対する進捗状況は以下のとおりです。



- 市民活動の促進および市民協働の推進に関する事項
- 政策形成過程への市民の参画の推進に関する事項
- 多様な主体による活動の促進に関する事項

	<A> 着実に進捗した	 概ね進捗した	<C> 進捗が遅れている
全体： 設定目標数76個（61事業）	46（60.5%）	20（26.3%）	10（13.2%）
分野1： 設定目標数17個（15事業）	11（64.8%）	3（17.6%）	3（17.6%）
分野2： 設定目標数15個（13事業）	7（46.7%）	5（33.3%）	3（20.0%）
分野3： 設定目標数44個（33事業）	28（63.6%）	12（27.3%）	4（9.1%）

基本施策に関する事業(令和2年度実績)

※特に記載のない場合は、令和3年3月31日時点の数値です。

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課
			点検結果		※()内は 令和2年度担当課
1 市民活動の促進および市民協働の推進に関する事項					
<p>各拠点施設において活動場所の提供や研修・相談を実施したほか、専門家の派遣による助言や情報提供を行うなど、市民活動の自立が促され、継続的な活動が行われるための環境整備を行いました。</p> <p>また、事業的手法等により地域課題解決に資する取り組みを進めたほか、複数団体が連携して取り組むまちづくり活動への助成や、市民からの提案に基づく協働事業を通して、協働の取り組みを推進しました。</p> <p>さらに、新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、各種研修等を行い、多様な主体間の協働を推進するための人材育成に取り組みました。</p>					
(1) 市民活動の自立が促され、継続的な活動が行われるための環境の整備					
①	区役所のまちづくり拠点機能強化事業	<p>地域団体による地域の特性に応じたきめ細かな地域づくりを進めるため、効果的な支援を実施できる組織の体制を充実させるとともに、区役所の政策形成力の向上を図る。</p> <p>様々な情報や人材が集まる市民センターにおいて、そのコーディネート機能を活かし、地域団体間のネットワーク形成を図るとともに、市民センターと区役所が一体となった地域づくりを推進する。</p> <p>地域団体と区・総合支所が協働して地域課題の解決を図るため、ふるさと支援担当による「ふるさと底力向上プロジェクト」等を実施する。</p>	<p>平成29年度より配置されたふるさと支援担当が、地域活動団体等との協働により、「ふるさと底力向上プロジェクト」およびその他各区の地域の特性に応じた事業等に取り組むとともに、これまでのふるさと支援の取り組みの振り返りを行った。</p> <p>また、平成30年度から各区中央市民センターの体制を強化し、所管区内地区館支援を充実させるとともに、各事業を通し区役所等との連携を図り、地域の特性を踏まえたきめ細かな地域づくりを進めるための各種事業を実施した。</p>	—	市民局 地域政策課 各区 まちづくり推進課 各区 地域力推進担当 (ふるさと支援担当)
			—	着実に取り組みを進めた。これまでの取り組みを踏まえ、令和3年度からは新たに展開する「地域づくりパートナープロジェクト」の一つとして「未来につなぐ地域力推進事業」に取り組むこととしている。	
②	市民活動サポートセンターにおける活動拠点確保等に関する支援・環境整備	<p>市民活動サポートセンターにおいて、貸室やフリースペース等の活動拠点の提供、市民活動・協働に関する情報の収集・提供、相談対応など、多岐にわたる市民活動がさらに活発になるよう、支援や施設の環境整備を行い、協働によるまちづくりを推進する。</p>	<p>市民の自主的な活動の拠点として、貸室やフリースペースを提供するとともに、機関誌の発行や市民活動・協働に関する展示の実施等の情報提供を行ったほか、相談対応の実施により、協働によるまちづくりの推進を図った。</p> <p>利用者数：20,807人 (うち貸室利用者数：16,875人、 フリースペース利用者数：3,031人)</p>	令和元年度～2年度の利用者数を各年度66,000人以上とする。	市民局 市民協働推進課
			C	新型コロナウイルス感染症拡大防止によるサービス休止や利用自粛の影響により、利用者数が大幅に減少した。ウェブを活用した相談対応を行うなどの工夫をしながら、引き続き交流に関する相談やマッチング機能の充実などに取り組む。	

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和2年度担当課
			点検結果		
③	男女共同参画推進センターにおける各種支援等	男女共同参画推進に取り組む市民の活動を支援するため、エル・パーク仙台の市民活動スペースおよびエル・ソーラ仙台の市民交流・図書資料スペースを運営するとともに、男女共同参画推進センターを拠点に活動する市民グループとエル・パーク仙台が協働で、「男女共同参画」をテーマとしたイベントを企画・実施する。	市民の自主的な活動の拠点として、活動・交流を促進するとともに、男女共同参画推進センターを拠点に活動する市民グループとエル・パーク仙台との協働により、男女共同参画推進せんだいフォーラムを開催した。	毎年度男女共同参画推進フォーラムを開催し、参加団体数を30団体以上とする。	市民局 男女共同参画課
			エル・パーク仙台利用者数 (市民活動スペース)：410人 エル・ソーラ仙台利用者数 (市民交流・図書資料スペース)：15,618人 フォーラム参加団体数：35団体		
			A	コロナ禍ではあるが、オンライン企画を導入するなどの工夫を施し、前年度並み(フォーラム参加団体1団体減)の参加となるなど着実に進捗した。引き続き、多くの団体が参加できるイベントを企画・実施していく。	
④	ボランティアセンターにおける各種支援等	市民を対象に、ボランティアの基礎的な知識や心構え、援助技術の習得などを目的として、テーマ別のボランティア講座や研修を開催する。また、ボランティアに関する各種の情報提供を行いながら、ボランティアに関する相談および調整を行う。	地域ニーズに応じたボランティア育成講座を開催するとともに、ボランティア登録団体等への情報提供、相談および調整を行った。	ボランティアセンターへの登録団体数を、令和2年度までに400団体以上とする。	健康福祉局 社会課
			ボランティア育成講座数：8講座 延べボランティア育成講座受講者数：164人 ボランティア登録団体数：751団体	A	
⑤	まちづくり支援専門家派遣事業	市民が主体的に行うまちづくり活動を支援し、地域の特性や資源を活かした個性あるまちづくりを推進するため、まちづくりを行う団体に対し、本市に登録しているまちづくり専門家を派遣することにより、専門的な助言やまちづくりに関する情報提供等を行う。	地域団体からの相談に応じてまちづくり専門家を派遣し、専門的な助言やまちづくりに関する情報提供等を行い、地域主体のまちづくり活動を支援した。	令和元年度～2年度における派遣地区を単年度平均で15地区以上とする。	都市整備局 都市計画課
			派遣地区：9地区	B	

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和2年度担当課
			点検結果		
⑥	市民センターにおける地域づくり支援	<p>①住民参画・問題解決型学習推進事業 地域特性に応じた市民協働によるまちづくりを推進するため、地域住民と市民センター職員が協働で地域課題を発見し解決につながる活動を実践することにより、さまざまな学びのプロセスを通して地域づくりを担う人材を発掘・育成する。</p> <p>②子ども参画型社会創造支援事業 子どもたちが、地域社会の構成員として積極的にまちづくりに参加し、社会・地域の一員として行動する視点を持つことで、将来的に社会や地域で主体的に活躍できる人材育成を行う。</p> <p>③若者社会参画型学習推進事業 地域課題の解決や復興まちづくりの担い手である若者の「自分づくり」を支援するとともに、若者の学びの成果を生かした地域づくり活動等への参画を促進することにより、さまざまな人々と協働し身近な地域をより良くすることへの関心を高め、社会・地域の一員として自発的・主体的に行動できる人づくりを推進する。</p>	<p>各区中央市民センターと地区市民センターが連携し、地域課題解決に向けた取り組みとして、住民参画型の事業を実施した。</p> <p>講座数：21講座 受講者数：266人（新規：90人）</p> <p>各区中央市民センターおよび地区市民センターにおいて、子どもたちが地域社会の構成員としての意識を育みながら成長できるよう、子どもたち自身が主体的に参画し、子どもならではの役割と可能性を自由に発揮できる子ども参画型の事業を実施した。</p> <p>講座数：9講座 受講者数：129人（新規：61人）</p> <p>各区中央市民センターにおいて、受講者である若者が、地域づくり活動への参画を通して、身近な地域への関心を高め、自発的・主体的に行動することを学ぶ事業を実施した。</p> <p>講座数：5講座 受講者数：76人（新規：25人）</p> <p>①から③の総計での新規参加者の割合：37.4%</p>	<p>事業参加者に対する新規参加者の割合を2割以上とすることにより、裾野の広がりを図る。</p>	教育局 生涯学習支援センター
			A	着実に進捗した。今後も主体的に考えながら活動することができる人材の育成に取り組む。	
(2) 持続可能な事業的手法等による地域の課題の解決の促進					
①	郊外住宅地・西部地区まちづくりプロジェクト	人口減少や超高齢化社会の到来を見据え、郊外住宅地及び西部地区において、外部資源を積極的に活用するなど新たな発想により、まちの持続性確保や交流人口の拡大に資する取り組みに補助を行う。	<p>郊外住宅地1事業、西部地区3事業に対して補助を行い、各区役所・総合支所ふるさと支援担当と連携しつつ各取り組みを支援した。また、令和3年度の制度終了後を見据えた検討を行った。</p>	—	まちづくり政策局 プロジェクト推進課
			—	予定通り取り組みを進めた。	

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和2年度担当課
			点検結果		
②	コミュニティビジネス・ソーシャルビジネスの促進	起業支援センター「アシスタ」などにおいて、地域社会の課題解決を目指すコミュニティビジネス・ソーシャルビジネスに関するセミナーを開催し、当該分野特有の起業知識の修得や起業実例に触れる機会を提供するほか、市民活動サポートセンターとも連携し、相談機能を充実させる。	<p>起業支援センター「アシスタ」、起業支援施設「INTILAQ東北イノベーションセンター」において、地域社会の課題解決を目指すコミュニティビジネス・ソーシャルビジネスに関するトークイベントを実施したほか、市民活動サポートセンターと連携して「起業・創業なんでも相談DAY」を実施した。また、社会起業家個別集中支援プログラム「TOHOKU Social Innovation Accelerator」を実施し、12人の社会起業家を輩出した。</p> <p>トークイベントの実施 : 9回 (640人参加) 起業・創業なんでも相談DAY : 9回 (149人参加)</p>	令和元年度～2年度に、社会起業家を毎年度10名以上輩出する。	市民局 市民協働推進課 経済局 産業振興課
			<p>A 着実に進捗した。今後は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、オンラインでイベントを開催するなどし、さらなる相談機会の提供に取り組む。</p>		
③	ストック活用型都市再生推進事業（せんだいリノベーションまちづくり）	<p>遊休不動産を所有する不動産オーナーや起業を目指す方々へ、リノベーションまちづくりに関する情報発信を行うことに加え、シンポジウムやセミナーの開催を通じて、継続的にまちづくりに携わる意欲のある人材の発掘・育成を図るとともに、リノベーションまちづくりを持続的に担う民間主導の体制構築を目指す。</p> <p>また、民間不動産のリノベーションや公共空間の利活用を推進することでエリア全体の価値を高め、新たな賑わいを創出するとともに、魅力ある都市空間の構築を目指す取り組みを行う。</p>	<p>人材の発掘・育成を目的に、10月に「せんだいリノベーションまちづくりシンポジウム」と令和3年2月に「まちのモールビジネスコンテスト」を開催した。</p> <p>過年度に実施したスクールの受講生が主体となり、道路・公園などの公共空間や民地のオープンスペースなどを使った実験的な試み（イベントの開催）への支援を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により出来なかった。</p> <p>セミナー等の開催数：2回 （平成28年度からの回数：計8回（市3回、民間5回）） 民間不動産対象物件数：3件 （平成28年度からの延べ対象件数：9件） 公共空間対象物件数 : 0件 （平成28年度からの延べ件数：22件）</p>	<p>令和元年度～2年度のリノベーションまちづくりに係わるシンポジウムやセミナーの開催件数を毎年度3回以上とする。</p> <p>令和元年度～2年度の民間不動産・公共空間における実事業化件数を毎年度8件以上とする。</p>	都市整備局 都心まちづくり課
			<p>C セミナーや民間不動産に関しては概ね目標を達成したが、公共空間利活用の推進に関しては新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント自体が開催されなかった。</p>		

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和2年度担当課
			点検結果		
(3) 市民からの提案に基づく協働事業の拡充					
①	協働まちづくり推進 助成事業	多様な主体の協働によるまちづくりを推進するため、複数の団体が連携して社会的課題の解決やまちの魅力の創造を図る取り組みについて、事業費の助成と併せて、コンサルティングや必要な専門家の派遣等のサポートを行う。	町内会と地区社会福祉協議会等の協働によって行われる取り組みをはじめとする4事業に対して、助成金を交付するとともに支援団体による助言を行った。 助成件数：4件	毎年度4件以上の事業に助成を行う。	市民局 市民協働推進課
			A	目標を達成し、着実に進捗した。	
②	市民協働事業提案制度の充実	市民活動団体や地域団体、企業等の市内で活動する団体から地域の課題解決や魅力の向上に資する事業の提案を募集し、関係部局が協働で取り組む。	地域の課題解決や魅力向上に資する事業を募集・採択し、市民活動団体や企業等の提案団体と担当課が協働で事業に取り組んだ。 応募事業件数：10件 実施事業件数：5件	毎年度4件以上の協働事業を実施する。	市民局 市民協働推進課
			A	目標を達成し、着実に進捗した。	
③	仙台市文化プログラム	東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、地元文化団体等から地域の文化芸術分野における多様な資源を生かした文化事業を提案してもらい、事業提案者主体のもと、仙台市、公益財団法人仙台市市民文化事業団と共催で、文化事業の推進及び新たな成果を生み出す。また、その成果を一過性のものとせず、オリンピック・パラリンピック後にも継承していく。	障害のある人たちの文化芸術活動を支援・推進する文化プログラム、地域の文化芸術資源を活用した文化プログラムの2テーマに沿った事業について、地域の文化芸術2団体との共催事業を実施した。 実施件数：2件	毎年度2件以上の共催事業を実施する。	文化観光局 文化振興課
			A	着実に進捗した。今後も市民が文化芸術に触れる機会の創出や新たな成果を生み出す事業を推進する。	
(4) 協働の理解を広め、多様な主体間の協働を推進するための人材の育成					
①	ともにまちづくりを行える職員の育成	①市民協働に関する職員研修 職員の協働に関する理解を深めるため、基礎的な考え方や取り組み事例等を学ぶ研修を実施する。	新規採用職員研修受講者数：217人 係長I部（総合・協働）受講者数：122人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から いずれも自学研修にて実施	新規採用職員及び係長職昇任者に研修を実施する。	総務局 職員研修所
			A	着実に進捗した。今後も、効果的な研修内容について関係部署等と協議・検討を進める。	

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
			点検結果		
	[前ページ続き] ともにまちづくりを行える職員の育成	②地域づくり職員研修 地域づくりに携わる職員を対象に研修を実施することにより、地域づくりに取り組む職員の意識啓発やスキルアップを目指す。	<p>新任まちづくり担当職員研修参加者数：27人 ※eラーニング形式により実施</p> <p>地域づくり担当職員研修：31人</p>	令和元年度～2年度の研修参加者数を毎年度50人程度とする。	市民局 地域政策課
			A 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、新任まちづくり職員研修をeラーニング形式により実施するなどの工夫により、着実に進捗した。		
		③協働推進人材育成事業 職員をNPO等各種団体に派遣し、実地体験を積みながら市民協働や市民活動に関する知識を深めることで、職員の協働力の向上を図り、庁内の連携および地域課題の解決につなげられる人材を育成する。	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による事業の見直しにより、令和2年度はNPO等各種団体への職員派遣を中止し、次年度に向けた事業内容の検討を行った。</p>	効果的な内容について検討しながら研修を実施することで、職員の協働力の向上を図る。	市民局 市民協働推進課
			C 新型コロナウイルス感染症の影響による事業中止のため、進捗が遅れた。令和3年度の事業実施に向けて、引き続き内容を検討する。		
②	市民活動サポートセンターにおける人材育成	市民活動サポートセンターにおいて、市民活動の基礎知識を学ぶ機会や市民活動を体験する機会を提供するほか、仙台市のまちづくりに関してともに考え意見を交わす機会を設けるなど、まちづくりに関わる人材の育成につなげる。	<p>市民活動やまちづくりの担い手となる人材を育成するために、講座やセミナー等を開催した。</p> <p>講座・セミナー等の参加者数：221人</p>	人材育成のための研修の延べ参加者数を、毎年度300人以上とする。	市民局 市民協働推進課
			B 新型コロナウイルス感染症の影響により研修の実施回数が減少したため、参加者数は減少したが、概ね進捗した。今後は対面以外での開催方法も検討しながら、人材育成に努める。		
③	コミュニティソーシャルワーカー配置事業	<p>地域の実態把握、住民組織同士の連携のコーディネートや各関係機関との連絡調整などを通して、地域住民が地域の福祉課題に主体的・組織的に取り組むための体制づくりを支援する専門職「コミュニティソーシャルワーカー（CSW）」を、社会福祉法人仙台市社会福祉協議会各区・支部事務所に配置する。</p> <p>CSWのスキルアップを図り、市内各地域における地域住民主体の支え合い・助け合い体制づくりのための支援を行う。</p>	<p>社会福祉法人仙台市社会福祉協議会各区・支部事務所にCSWを配置し、市内各地域における地域住民主体の支え合い・助け合い体制づくりのための支援を実施した。また、CSWのスキルアップのための研修会を開催した。</p> <p>CSW実践者研修会開催数：3回</p>	CSWのスキルアップのための研修会を年3回以上開催する。	健康福祉局 社会課
			A 着実に進捗した。今後も地域住民主体の体制づくりを進められるよう、関係機関と連携して支援を行う。		
④	地域包括支援センター運営事業	地域包括ケアシステムにおいて中核的な役割を担う地域包括支援センターに配置された生活支援コーディネーターを中心として、地域のネットワークづくりを行いながら、地域での支え合い体制の充実を図る。	<p>介護予防自主グループの育成・支援に向けた研修の実施をはじめ、地域での支え合い体制の充実を図った。</p> <p>介護予防自主グループ数：234団体 シニア世代向け健康づくり講座後の自主グループ：16団体</p>	地域で自主的に介護予防に取り組むグループ数を令和2年度末までに260グループ以上にする。	健康福祉局 地域包括ケア推進課
			B 新型コロナウイルス感染症の影響により研修の実施回数等の減少もあったが、概ね進捗した。		

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
			点検結果		
⑤	仙台すくすくサポート事業	育児の援助を受ける方(利用会員)と育児の援助を行う方(協力会員)が会員となつて行う市民相互の育児援助活動であり、仙台すくすくサポート事業事務局が会員登録や仲介を行い、事務局のサポートや地域ごとの会員の統括等を協力会員の中から選任されたサブリーダーが行っていく。	<p>日々の活動のほか、入会説明会の開催や会員向けの講習会等を実施した。</p> <p>登録会員数 利用会員：2,863人 協力会員：450人 両方会員：117人 計 3,430人 サブリーダー：9人 活動回数：9,197回</p>	—	子供未来局 総務課
			— 新型コロナウイルス感染症の影響により入会説明会や講習会を一部中止し、書面送付で対応した時期もあったが、感染症対策を講じながら各種講習会を再開し、概ね予定通り取り組みを進めた。		
⑥	市民センターにおける地域づくり支援【再掲】	<p>①住民参画・問題解決型学習推進事業 地域特性に応じた市民協働によるまちづくりを推進するため、地域住民と市民センター職員が協働で地域課題を発見し解決につながる活動を実践することにより、さまざまな学びのプロセスを通して地域づくりを担う人材を発掘・育成する。</p> <p>②子ども参画型社会創造支援事業 子どもたちが、地域社会の構成員として積極的にまちづくりに参加し、社会・地域の一員として行動する視点を持つことで、将来的に社会や地域で主体的に活躍できる人材育成を行う。</p> <p>③若者社会参画型学習推進事業 地域課題の解決や復興まちづくりの担い手である若者の「自分づくり」を支援するとともに、若者の学びの成果を生かした地域づくり活動等への参画を促進することにより、さまざまな人々と協働し身近な地域をより良くすることへの関心を高め、社会・地域の一員として自発的・主体的に行動できる人づくりを推進する。</p>	<p>各区中央市民センターと地区市民センターが連携し、地域課題解決に向けた取り組みとして、住民参画型の事業を実施した。</p> <p>講座数：21講座 受講者数：266人(新規：90人)</p> <p>各区中央市民センターおよび地区市民センターにおいて、子どもたちが地域社会の構成員としての意識を育みながら成長できるよう、子どもたち自身が主体的に参画し、子どもならではの役割と可能性を自由に発揮できる子ども参画型の事業を実施した。</p> <p>講座数：9講座 受講者数：129人(新規：61人)</p> <p>各区中央市民センターにおいて、受講者である若者が、地域づくり活動への参画を通して、身近な地域への関心を高め、自発的・主体的に行動することを学ぶ事業を実施した。</p> <p>講座数：5講座 受講者数：76人(新規：25人)</p> <p>①から③の総計での新規参加者の割合：37.4%</p>	事業参加者に対する新規参加者の割合を2割以上とすることにより、裾野の広がりを図る。	教育局 生涯学習支援センター
			A 着実に進捗した。今後も主体的に考えながら活動することができる人材の育成に取り組む。		

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
			点検結果		
2 政策形成過程への市民の参画の推進に関する事項					
市ホームページの充実やオープンデータの活用により、市政に関する情報公開を推進しました。 また、仙台市総合コールセンター「杜の都おしえてコール」を開設したほか、各種計画等策定過程におけるパブリックコメントや市民参画イベント等の実施により、市民意見の提出・集約の機会の確保に取り組みました。					
(1) 市政に関する情報の公開の推進					
①	仙台市公式ホームページによる情報発信	市民に対してタイムリーでわかりやすい市政情報を伝えるため、仙台市ホームページを随時更新するとともに、効果的な広報を行うための職員向け研修を実施する。	平成28年10月のホームページリニューアル実施以降、情報発信の迅速化とウェブアクセシビリティの向上が図られた。また、効果的な広報を行うため、CMS操作研修に加え、分かりやすい文章の書き方研修を行った。 令和2年度ホームページ新規公開件数：4,541件	令和2年度までに、ホームページ新規公開ページ数を年間2,850件以上とする。	総務局 広報課
			A	ホームページ新規公開件数は前年比で増加したほか、目標を達成し着実に進捗した。今後も引き続きホームページの積極的な活用について、各種研修の場などで呼び掛けていく。	
②	オープンデータの活用推進	「仙台市オープンデータ推進に関する方針」に基づき、各課が保有する行政情報の更なるオープンデータ化を進める。また、オープンデータの利活用を推進するため、アイデアソン※やセミナーの開催などにより普及・啓発を行っていく。 ※アイデアソン…アイデアとマラソンを掛け合わせた造語で、特定のテーマについてアイデアを創出するイベント	東北大学・情報通信研究機構が主催するアイデアソンへの協力のほか、中心部商店街とデータ活用による活性化に向けた検討を連携して進めることとした。 仙台市オープンデータカタログ登録件数：227件 (対前年比±0件)	—	まちづくり政策局 デジタル戦略推進室 (ICT推進課)
			—	オープンデータの利活用に関する取り組みを進めた。引き続き、庁内各課に声掛け等を行い、保有するデータのオープンデータ化を推進する。	
③	地域情報ファイルの活用推進	小学校区単位で、人口・地域施設・地域団体等の情報の充実、更新を行い、市のホームページ等で公表することにより、地域状況の把握と情報提供を行う。	「地域情報ファイル」を最新の情報に更新し、市のホームページ等で公表した。	—	市民局 地域政策課
			—	予定通り取り組みを進めた。	

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和2年度担当課
			点検結果		
(2) 政策の企画、立案等における市民の意見の提出の機会の確保					
①	市総合計画策定に関する市民意見提出の機会の確保	新総合計画の策定過程について、市政だより、新聞広告、ホームページ等により周知することで、市民の意識醸成を図るとともに、パブリックコメントのほか、市民ワークショップや区民参画イベント等を実施し、幅広く市民意見を聴取する。	市政だよりや新聞広告、ホームページ等により周知を図るとともに、基本計画中間案に対するパブリックコメントや基本計画中間案説明会、市民参画イベントを実施し、幅広く市民意見を聴取した。	—	まちづくり政策局 政策企画課
			— 予定通り取り組みを進めた。		
②	定禅寺通活性化推進事業	定禅寺通において、道路空間の再構成やエリアマネジメントの導入なども視野に入れ、魅力ある空間を創出し、それをきっかけとして街中の人の回遊性を高め、本市がより一層多くの人々を魅了する活力ある都市となることを目指す。平成30年度に地元関係者を中心として設立した「定禅寺通活性化検討会」において、具体的な取り組みの検討を進める。	定禅寺通エリアの将来像、エリアの活性化やさらなる魅力向上につながる取り組みについて、基本構想の取りまとめに向けた検討を実施した。 ・会議の開催：11回 ・空間活用の試行的な実践：4プロジェクト ・基本構想検討会：9回 ・事例・制度活用勉強会：1回 ・ニュースレターの発行：3回	検討会において、定禅寺通エリアのまちづくり基本構想（案）を令和3年度を目途に取りまとめることができるよう支援する。	まちづくり政策局 定禅寺通活性化室
			A 着実に進捗した。新型コロナウイルス感染症に関する情勢を注視しながら柔軟な事業の遂行に努める。		
③	市役所本庁舎建替事業	市役所本庁舎の建替に向け、市民広場・定禅寺通等周辺との一体性確保に留意し、市民広場との連続性に配慮した基本計画を策定し、基本構想および基本計画の内容を基に基本設計を行うほか、新本庁舎移行後、職員の知的生産性を向上させるために、望ましい執務空間（ワークプレイス）のあり方を検討する。	市役所本庁舎の建替に係る市民意見を取り入れるため、「仙台市役所本庁舎建替基本計画（中間案）」に関するパブリックコメントを実施した。 ・意見提出者数：27人・団体 ・意見総件数：95件	市役所本庁舎の建替に係る市民意見を取り入れるため、基本計画策定に向けたワークショップ等を2回開催するほか、パブリックコメント実施時に市民向け説明会を開催する。	財政局 本庁舎建替準備室
			B 概ね進捗した。新型コロナウイルス感染症拡大の状況・情勢を踏まえ、市民向け説明会は開催しなかった。		
④	パブリックコメントの実施	基本的な計画等の策定過程において、広く市民から意見を求め、提出された意見に対する実施機関の考え方を明らかにするとともに、提出された意見を考慮して適切に計画等に反映させていく。	パブリックコメント実施件数：30件 (1件当たりの平均意見数：76件)	—	市民局 広聴課 (広聴統計課)
			— 着実に取り組みを進めた。今後も広く意見を聴取するため、効果的かつわかりやすい周知方法の工夫に努める。		

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和2年度担当課
			点検結果		
⑤	市政モニターによる 意見募集	市政に関する市民の意見を収集するため、公募による市民を市政モニターとして委嘱し、アンケート調査に回答いただき、施策の企画や行政運営上の基礎的参考資料として活用する。	市政だよりやホームページ、市政ラジオなどさまざまな手段を活用したことにより、幅広い市民の方に応募していただいた。 市政モニター委嘱：200人 アンケート調査の実施：6回 平均回答率：95.5%	モニター公募の周知手段を工夫し、幅広い属性の市民を毎年度200人委嘱する。	市民局 広聴課 (広聴統計課)
			A 着実に進捗した。今後も市民からの意見の市政への反映を図るため、引き続き適正な進捗管理に努める。		
⑥	市民の声制度	市民の市政に対する提言、要望等を、「市長への手紙」「インターネット」「要望・陳情書」「電話・来庁」等で受け付け、市政への適切な反映に努める。	市長への手紙 : 1,123件 インターネット広聴等 : 4,610件 要望・陳情書 : 1,352件 電話・来庁(市政相談) : 1,384件 (一般相談) : 2,843件	—	市民局 広聴課 (広聴統計課)
			— 着実に取り組みを進めた。今後も市民からの意見の市政への反映を図るため、引き続き適正な進捗管理に努める。		
⑦	障害者への適切な情報提供および障害者からの意見聴取の推進	<p>施策の企画・立案等の段階において、障害者に対する適切な情報提供や障害者からの意見聴取に努め、政策形成過程における障害者の参画を推進する。</p> <p>①障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考えるワークショップ「ココロン・カフェ」「ココロン・スクール」の実施 障害の有無に関わらず暮らしやすい仙台を目指して、「ココロン・カフェ」では障害者も含めた幅広い市民に参加を募り、「ココロン・スクール」では中高生を対象として、グループワーク等の形式で意見交換等を行う。</p>	<p>障害者差別解消条例に基づき、障害当事者も含めた市民の意見聴取を行う機会として、障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考える「ココロン・スクール」を、令和2年度は対象をこれまでの高校生から中学生にも拡大し、講師に障害当事者を招いて実施した。</p> <p>実施回数： 3回 参加者数：185人</p>	意見聴取、普及啓発の場として毎年度6回実施する。	健康福祉局 障害企画課
			B 新型コロナウイルス感染症の影響により、グループワークを開催することが困難であったことから、ココロン・カフェの開催は見送ったが、概ね進捗した。今後も、若年層に対する普及啓発や障害理解促進、意見交換等の機会確保のため、本事業の開催を各学校に一層働きかけていく。		

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況		担当課 ※（ ）内は 令和2年度担当課
			点検結果	プランにおける目標等	
	[前ページ続き] 障害者への適切な情報提供および障害者からの意見聴取の推進	②「仙台市職員対応要領」の周知・浸透による適切な情報提供・意見聴取の推進 「仙台市職員対応要領」を、研修や庁内広報を通じて周知・浸透を図ることで、手話通訳・要約筆記・点字資料などの障害特性に合わせた適切な情報提供および関係団体など障害者からの意見聴取を推進していく。	障害者差別解消法や本市条例の趣旨を理解し、適切な情報提供や意見聴取の推進も含め、事務事業実施における適切な対応を図るため、「仙台市職員対応要領」に関する研修を実施した。 新規採用職員研修 新型コロナウイルス感染症の影響により未実施 管理職員研修※書面開催 参加者数：557人 一般職員研修（窓口職員向け研修） 参加者数：104人	毎年度、新規採用職員研修（約200人）、管理職向け研修（約100人）、窓口等職員向け研修（約100人）を実施する。	
			A	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止した研修もあったが、書面開催などによる工夫により、全体の受講人数は大幅に増加した。今後も書面開催やeラーニングの活用を検討しつつ、継続的な研修により庁内への障害者差別解消の理解を推進していく。	
⑧	音楽ホール整備検討における市民との対話	平成29年11月から平成31年3月にかけて開催した仙台市音楽ホール検討懇話会の報告書を踏まえ、市民向けのシンポジウム等を開催しながら、楽都としての魅力をさらに高める中核施設としてふさわしい音楽ホールの整備に向け、基本構想策定の議論を進める。	新型コロナウイルス感染症の影響により、市民向けシンポジウム等の開催を見送った。	音楽ホールを身近に感じてもらうため、市民向けシンポジウム等を開催し、整備に向けた機運醸成を行う。	文化観光局 文化振興課
			C	新型コロナウイルス感染症の影響により、進捗が遅れている。	
⑨	青葉山公園整備事業（仮称）公園センターの活用に関するワークショップの実施	青葉山公園 公園センター地区の活用について、青葉山地区をフィールドに活動する団体等にご協力いただきながら、何度も訪れたい場所にするためのプランづくりを目的に、ワークショップを開催する。	青葉山周辺で活動している市民活動団体等6団体と3月にワークショップ（リモート）を実施した。	市民参加のワークショップを、年3回以上開催する。	建設局 公園課
			B	新型コロナウイルス感染症の影響により、内容を厳選し年1回の開催となったが、次年度に向けて有意義な取り組みとなり概ね進捗した。	
(3) 政策または事業の方針、内容、評価等についての市民の意見の集約の機会の確保					
①	施策目標に関する市民意識調査	基本構想に位置づけた都市像の実現や復興に向けたまちづくりに向けて、施策の推進状況に関する市民の評価やニーズの変化を継続的に把握し、その結果を施策の進捗管理に生かすことにより、本市の重点施策の推進を図る。	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、実施を見送った。	有効回収数を2,000票、有効回収率を33%以上とする。	まちづくり政策局 政策企画課
			C	新型コロナウイルス感染症の影響により、進捗が遅れた。	

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和2年度担当課	
			点検結果			
②	市民まちづくり フォーラム	重要プロジェクトについて市民参画による評価・点検を行うため、重点的な取り組みの中からテーマを設定し、今後の施策に向けた意見・提案をいただく。	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、本市事業の評価・点検に特化したイベントの開催は見送ったが、総合計画策定に関する市民参画イベントを実施し、今後の施策につながる「仙台の未来」や「私たちがチャレンジできること」について話し合う場を設けた。 市民参画イベントの参加者数：約100人 ※会場参加70人・WEB参加約30人		—	まちづくり政策局 政策企画課
			— 概ね予定通り取り組みを進めた。			
③	コールセンター等整備事業	市民等から寄せられる市政全般に関する問合せに的確に対応することを目指し、コールセンターの設置に向けた準備を進めるとともに、ICTの目覚ましい進展なども踏まえつつ、将来を見据えた本市の非対面型の問合せ対応のあり方等について検討する。	仙台市総合コールセンター「杜の都おしえてコール」を令和2年11月5日に開設した。 受付総数：7,175件（11月～令和3年3月）		令和元年度 コールセンター等整備基本構想策定、コールセンター整備・運営委託業者の選定等 令和2年度 コールセンター開設	市民局 広聴課 （広聴統計課）
			A 着実に進捗した。コールセンターの適切な運営を行うため、引き続き受託事業者や庁内関係課と連携を図っていく。			
④	市政モニターによる 意見募集 【再掲】	市政に関する市民の意見を収集するため、公募による市民を市政モニターとして委嘱し、アンケート調査に回答いただき、施策の企画や行政運営上の基礎的参考資料として活用する。	市政だよりやホームページ、市政ラジオなどさまざまな手段を活用したことにより、幅広い市民の方に応募していただいた。 市政モニター委嘱：200人 アンケート調査の実施：6回 平均回答率：95.5%		モニター公募の周知手段を工夫し、幅広い属性の市民を毎年度200人委嘱する。	市民局 広聴課 （広聴統計課）
			A 着実に進捗した。今後も市民からの意見の市政への反映を図るため、引き続き適正な進捗管理に努める。			
⑤	市民の声制度 【再掲】	市民の市政に対する提言、要望等を、「市長への手紙」「インターネット」「要望・陳情書」「電話・来庁」等で受け付け、市政への適切な反映に努める。	市長への手紙：1,123件 インターネット広聴等：4,610件 要望・陳情書：1,352件 電話・来庁（市政相談）：1,384件 （一般相談）：2,843件		—	市民局 広聴課 （広聴統計課）
			— 着実に取り組みを進めた。今後も市民からの意見の市政への反映を図るため、引き続き適正な進捗管理に努める。			

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和2年度担当課
			点検結果		
⑥	市民との対話の機会の確保	市長や区長をはじめ職員が直接市民と対話・交流する機会や場として、市民と市長の懇談会（市長とふれあいトーク）、地域懇談会、市政出前講座などを実施する。	市長とふれあいトーク：新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見送った。 地域懇談会：33回 市政出前講座：41回	市長とふれあいトーク、地域懇談会、市政出前講座などを実施するほか、直接市民と対話・交流する機会や場の確保に努める。	市民局 広聴課 (広聴統計課)
			B 新型コロナウイルス感染症の影響により開催回数は減少したが、概ね進捗した。今後も多様な団体との懇談を通して、活動の現状や課題を認識し、市政運営への反映に努めていく。		
⑦	障害者への適切な情報提供および障害者からの意見聴取の推進 【再掲】	<p>施策の企画・立案等の段階において、障害者に対する適切な情報提供や障害者からの意見聴取に努め、政策形成過程における障害者の参画を推進する。</p> <p>①障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考えるワークショップ「ココロン・カフェ」「ココロン・スクール」の実施 障害の有無に関わらず暮らしやすい仙台を目指して、「ココロン・カフェ」では障害者も含めた幅広い市民に参加を募り、「ココロン・スクール」では中高生を対象として、グループワーク等の形式で意見交換等を行う。</p>	<p>障害者差別解消条例に基づき、障害当事者も含めた市民の意見聴取を行う機会として、障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考える「ココロン・スクール」を、令和2年度は対象をこれまでの高校生から中学生にも拡大し、講師に障害当事者を招いて実施した。</p> <p>実施回数： 3回 参加者数：185人</p>	意見聴取、普及啓発の場として毎年度6回実施する。	健康福祉局 障害企画課
			B 新型コロナウイルス感染症の影響により、グループワークを開催することが困難であったことから、ココロン・カフェの開催は見送ったが、概ね進捗した。今後も、若年層に対する普及啓発や障害理解促進、意見交換等の機会確保のため、本事業の開催を各学校に一層働きかけていく。		

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
			点検結果		
	[前ページ続き] 障害者への適切な情報提供および障害者からの意見聴取の推進 【再掲】	②「仙台市職員対応要領」の周知・浸透による適切な情報提供・意見聴取の推進 「仙台市職員対応要領」を、研修や庁内広報を通じて周知・浸透を図ることで、手話通訳・要約筆記・点字資料などの障害特性に合わせた適切な情報提供および関係団体など障害者からの意見聴取を推進していく。	障害者差別解消法や本市条例の趣旨を理解し、適切な情報提供や意見聴取の推進も含め、事務事業実施における適切な対応を図るため、「仙台市職員対応要領」に関する研修を実施した。 新規採用職員研修 新型コロナウイルス感染症の影響により未実施 管理職員研修※書面開催 参加者数：557人 一般職員研修（窓口職員向け研修） 参加者数：104人	毎年度、新規採用職員研修（約200人）、管理職向け研修（約100人）、窓口等職員向け研修（約100人）を実施する。	
			A	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止した研修もあったが、書面開催などによる工夫により、全体の受講人数は大幅に増加した。今後も書面開催やeラーニングの活用を検討しつつ、継続的な研修により庁内への障害者差別解消の理解を推進していく。	
(4) 附属機関等の委員の選任における人材の多様化と公募の実施					
①	附属機関等の委員の選任における人材の多様化	附属機関等の役割や性格に応じて適切な人材を確保し、幅広い意見の反映を図るため、情報の一元管理を行い、長期にわたる委嘱および他の附属機関等と重複する委嘱を避けるように努める。	情報の一元管理を行い、長期にわたる委嘱および他の附属機関等と重複する委嘱を避けるように努めた。 — 事業内容通り取り組んでおり、今後も長期および重複委嘱を避ける取り組みを継続する。	—	総務局 行政経営課
②	附属機関等の委員の公募の推進	附属機関等の役割や性格に応じて委員を公募することにより、公募委員のいる附属機関等の増加に努め、幅広い意見の反映を図る。	公募委員のいる附属機関等の増加に努め、幅広い意見の反映を図った。 公募委員のいる附属機関等の数：12機関 — 事業内容通り取り組んでおり、今後も引き続き公募委員のいる附属機関等の増加に努める。	—	総務局 行政経営課
③	附属機関等における女性委員の登用率の向上	市政に重要な役割を果たす審議会等の委員に女性を積極的に登用し、政策形成、意思決定の場における女性の参画を促進する。	審議会等の委員選考にあたっては、男女共同参画課へ事前協議を行うことを徹底し、女性の積極的な登用促進に努めた。 令和2年度末女性委員登用率：36.0% 女性委員の全くいない審議会（ゼロ審議会）数：1件 C ゼロ審議会は前年度より1件減となったものの1件は存在し、また、登用率は1.1ポイント低下し、進捗が遅れた。引き続き、事前協議の徹底と指導に努め、女性の積極的な登用促進を行っていく。	すべての附属機関等に女性委員が就任している状態の維持に努める。また、女性委員の比率の向上に努める。（参考：令和2年度末までに40%以上）	市民局 男女共同参画課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課
			点検結果		※（ ）内は 令和2年度担当課

3 多様な主体による活動の促進に関する事項

「仙台まちづくり若者ラボ」など、若者の社会参加を促進する事業の実施により、次の世代のまちづくりの担い手の育成を推進するとともに、区民協働まちづくり事業などを通して、町内会をはじめとした地域で活動する団体による地域活性化のための活動の促進を図りました。

また、事業者による社会貢献活動を促進するための事業を実施するとともに、各種イベントを通して、多様な主体の交流促進を図りました。更に、協働の事例や支援制度等を総合的に案内する協働ナビゲーションサイトでの積極的な情報発信など、多様な主体の活動等に関する情報の収集・発信に取り組みました。

(1) 次の世代のまちづくりの担い手となる若者の育成

①	市民活動サポートセンターにおける若者の育成に関する支援	市民活動サポートセンターにおいて、フリースペースの利便性向上など、若者の主体的な活動を促進する環境を整備するとともに、各関係機関と連携しながら若者の活動を支援することで、次世代のまちづくりの担い手を育成する。	若者を対象とした人材育成事業を関係機関と連携しながら実施したほか、学生団体等の自主的な活動の拠点として、貸室やフリースペースを提供した。 関係機関と連携した実施事業：3事業	若者の人材育成に資する事業を、関係団体等と連携しながら、毎年度2事業以上実施する。	市民局 市民協働推進課
			A	着実に進捗した。	
②	若者の社会参加促進事業	地域課題の把握・解決に取り組む場を若者に対して提供することなどを通して、将来の仙台のまちづくりの担い手となる若者の社会参加を促進する。	若者自らが「自分ごと」としてかかわれるまちづくりに関するテーマを設定してワークショップとフィールドワークによる実践的なプログラムを実施し、その成果を発信するとともに、まちづくり活動の担い手となる若者の発掘・育成を目的に「仙台まちづくり若者ラボ」を実施したほか、若者が参加する団体が行っている社会課題の解決のための活動の表彰および活動の実践の伴走支援を行う「仙台若者アワード」を実施した。 仙台まちづくり若者ラボ参加者：29人 仙台若者アワード2020参加団体：17団体	地域や社会の課題解決に取り組む若者を支援するとともに、若者が新たに活動に参加するきっかけとなる機会をつくる。	市民局 市民協働推進課
			A	着実に進捗した。	

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和2年度担当課
			点検結果		
③	大学連携地域づくり事業	<p>6大学、泉区まちづくり推進協議会および泉区で締結している「仙台市泉区における大学と地域との連携協力に関する協定書」に基づき、地域と大学が連携し、地域課題の解決や活力ある地域づくりを進める。</p> <p>①大学・地域連携による課題解決事業助成 高齢化などの課題を抱える地域が、知見を有する大学と連携しながら課題解決や地域活性化に取り組むための経費を助成し、魅力的な地域づくりの推進を図る。</p>	<p>少子高齢化をはじめとした地域課題に対して、大学の知見や学生の力を活用しながら地域づくりや課題解決へ向けた取り組みを実施した。</p> <p>実施事業：加茂ハッピータウン活動 (加茂まちづくり協議会、東北学院大学)</p>	<p>1大学1地域で事業を実施する。</p>	泉区 地域力推進担当 (ふるさと支援担当)
		<p>②いずみ絆プロジェクト支援事業 地元6大学の学生等が行う地域課題解決や地域活性化事業、特色ある地域づくり活動に要する経費を助成する。</p>	<p>助成金交付事業数：9事業（6大学）</p>	<p>6大学がそれぞれ1事業以上実施する。</p>	
		<p>③泉6大学まちづくりフェスティバルの開催 いずみ絆プロジェクトに取り組む団体等による活動発表やワークショップを行い、大学間の交流及び連携の促進を図る。</p>	<p>いずみ絆プロジェクト支援事業の助成対象団体の活動内容に関する報告会を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、1週間の期間展示とし、発表動画の放映等新たな手法で実施した。</p> <p>実施回数：1回（1週間の期間を設けて開催） 参加団体：10団体 (上記助成対象団体9、泉区中央市民センター1)</p>	<p>6大学の発表の場として毎年1回以上開催する。</p>	
		<p>④大学間の交流促進事業 地域づくり活動を行っている学生が、大学の枠を超え学生間の連携・協働のもとで主体的・継続的に活動できるよう、地域づくり活動の交流見学会等の取り組みを支援する。</p>	<p>実施回数：2回 (区役所にて座談会)</p>	<p>地域づくり活動交流見学会等を1回以上実施する。</p>	
			A	着実に進捗した。	
			A	着実に進捗した。	
			A	着実に進捗した。	
			A	着実に進捗した。	

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和2年度担当課
			点検結果		
④	学校支援地域本部事業	市民が学校を支援する活動を通して、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育成する体制を構築することにより、子どもたちに豊かな体験活動の機会を提供する。	<p>中学校区内において学校支援地域本部設置校との連携を進める支部校や連携校、連携体制づくりに関する説明や情報提供、研修等での周知により、市内175校において学校支援地域本部と連携した活動を取り入れることとなった。</p> <p>学校支援ボランティアの延べ人数 (令和2年度) 105,468人</p>	<p>学校支援ボランティアの延べ人数を次のとおりとする。 令和元年度 113,000人 令和2年度 115,000人</p>	教育局 学びの連携推進室
			<p>B 概ね進捗した。今後も支援内容の充実に取り組むとともに、全小中学校に対するカバー率を100%に近づける。</p>		
⑤	市民センターにおける若者の支援	<p>①若者社会参画型学習推進事業 地域課題の解決や復興まちづくりの担い手である若者の「自分づくり」を支援するとともに、若者の学びの成果を生かした地域づくり活動等への参画を促進することにより、さまざまな人々と協働し身近な地域をより良くすることへの関心を高め、社会・地域の一員として自発的・主体的に行動できる人づくりを推進する。</p>	<p>各区中央市民センターにおいて、受講者である若者が、地域づくり活動への参画を通して、身近な地域への関心を高め、自発的・主体的に行動することを学ぶ事業を実施した。</p> <p>講座数：5講座 受講者数：76人（新規：25人）</p>	<p>事業参加者に対する新規参加者の割合を2割以上、ジュニアリーダー育成支援に関しては、活動率を75%以上とする。</p>	教育局 生涯学習支援センター
		<p>②子ども参画型社会創造支援事業 子どもたちが、地域社会の構成員として積極的にまちづくりに参加し、社会・地域の一員として行動する視点を持つことで、将来的に社会や地域で主体的に活躍できる人材育成を行う。</p> <p>③ジュニアリーダー育成・支援 ジュニアリーダーの活動に必要な知識、技術の習得を目的とした各種研修会の開催や、さまざまな社会的な活動への参加支援など、中高生のボランティア団体であるジュニアリーダーへの育成・支援を行う。</p>	<p>各区中央市民センターおよび地区市民センターにおいて、子どもたちが地域社会の構成員としての意識を育みながら成長できるよう、子どもたち自身が主体的に参画し、子どもならではの役割と可能性を自由に発揮できる子ども参画型の事業を実施した。</p> <p>講座数：9講座 受講者数：129人（新規：61人）</p> <p>各区中央市民センターにおいて初級研修会を、生涯学習支援センターにおいて中級・上級の各研修会を実施した。 初級研修会受講者：143人 中級研修会受講者：31人 上級研修会受講者：19人</p> <p>ジュニアリーダー登録者数：382人 (新規登録者数：93人)</p> <p>①から③の総計での新規参加者の割合：30.5% ジュニアリーダー活動率：60.2%</p>		
			<p>B 新型コロナウイルス感染症の影響で活動機会は減少したものの、概ね進捗した。今後も社会や地域で活躍できる人材の育成に取り組む。</p>		

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和2年度担当課
			点検結果		
(2) 町内会等の地縁団体その他地域で活動する団体による地域を活性化する活動の促進					
①	地域防災リーダー養成・支援事業	<p>仙台市地域防災リーダー（SBL）の養成を進めるとともに、SBLのスキルアップや情報の共有、ネットワーク化の推進等を図るため、バックアップ講習等を実施し、自主防災活動の活性化を図っていく。</p>	<p>平成28年度以降は600人程度の人数を維持していく方針としてSBL養成講習会を実施している。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、SBL新規養成講習会を中止とし、平成24年度～令和元年度に認定したSBLのバックアップ講習会については区ごとの講習会のみ開催し、自主防災活動の活性化に向けたSBL相互の情報共有やスキルアップを図った。</p> <p>平成24年度～令和2年度までの養成人数：890人</p>	<p>毎年度新規養成を図り、600人程度を維持していく。</p>	危機管理局 減災推進課
			B 概ね進捗している。今後は女性や若い世代の積極的な養成、またSBL配置数の地域間バランスに配慮した養成に取り組む。		
②	地域コミュニティ体力強化事業	<p>町内会加入や活動への参加を促進するため、加入率の低いマンション等居住者や、活動の担い手として期待される定年退職者をはじめ、幅広い市民を対象として町内会活動に関する啓発を行う。</p> <p>町内会の担い手の発掘・育成と円滑な組織運営を支援するため、町内会役員等に対する講座を開催する。</p> <p>地域課題の解決に取り組む地域活動団体が、それぞれの取り組み状況等について情報交換を行い、互いの活動を学び合う交流会を開催することにより、一層の活動意欲の向上や取り組みの活性化を図る。</p>	<p>町内会活性化講座（基礎編）を計7回開催した（延べ受講者数：275人）。なお、基礎編に引き続き開催予定であったテーマ編については、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、中止とした。</p> <p>令和2年度の地域活動団体交流会は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止したが、活動事例集の町内会長への配布やホームページへの掲載という形で、地域活動団体間の情報共有の機会を確保した。</p>	—	市民局 地域政策課
			— 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を中止したが、事業の趣旨を踏まえ、代替の手法により取り組みを進めた。		
③	市民センターにおける地域を担う人づくり支援推進事業	<p>市民センターにおいて、地域住民等による地域の現状把握や課題共有、地域づくりの担い手育成やネットワーク形成等を図る事業や取り組みを実施することにより、地域を担う人づくり支援をさらに推進する。</p>	<p>地域づくりにおける担い手育成やコミュニティ形成等をテーマとし、地域課題の発掘と解決を図るため、令和2年度は20地区において実施した。</p>	—	市民局 地域政策課
			— 予定通り取り組みを進めた。		

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和2年度担当課
			点検結果		
④	区役所のまちづくり拠点機能の強化事業【再掲】	<p>地域団体による地域の特性に応じたきめ細かな地域づくりを進めるため、効果的な支援を実施できる組織の体制を充実させるとともに、区役所の政策形成力の向上を図る。</p> <p>様々な情報や人材が集まる市民センターにおいて、そのコーディネート機能を活かし、地域団体間のネットワーク形成を図るとともに、市民センターと区役所が一体となった地域づくりを推進する。</p> <p>地域団体と区・総合支所が協働して地域課題の解決を図るため、ふるさと支援担当による「ふるさと底力向上プロジェクト」等を実施する。</p>	<p>平成29年度より配置されたふるさと支援担当が、地域活動団体等との協働により、「ふるさと底力向上プロジェクト」およびその他各区の地域の特性に応じた事業等に取り組むとともに、これまでのふるさと支援の取り組みの振り返りを行った。</p> <p>また、平成30年度から各区中央市民センターの体制を強化し、所管区内地区館支援を充実させるとともに、各事業を通し区役所等との連携を図り、地域の特性を踏まえたきめ細かな地域づくりを進めるための各種事業を実施した。</p>	—	市民局 地域政策課 各区 まちづくり推進課 各区 地域力推進担当 (ふるさと支援担当)
			—	<p>着実に取り組みを進めた。これまでの取り組みを踏まえ、令和3年度からは新たに展開する「地域づくりパートナープロジェクト」の一つとして「未来につなぐ地域力推進事業」に取り組むこととしている。</p>	
⑤	町内会等住民自治組織育成事業	<p>町内会等住民自治組織の活性化を図るため、財政的支援を行うとともに、町内会の運営に資する研修や町内会等役員永年勤続表彰式等を実施する。</p> <p>また、近年課題となっている、集合住宅等における町内会形成の促進を図る。</p>	<p>町内会等育成奨励金をはじめとした各種助成金等の交付や各区役所における町内会長等を対象とした研修、一定年数を務めた町内会長等に敬意と謝意を示すための市長表彰を実施したほか、マンションのコミュニティ形成を進めるためリーフレットやチラシ等による周知等を行った。</p> <p>研修会実施回数：14回（各区研修7回、町内会活性化講座7回） 町内会等育成奨励金交付世帯数：406,437世帯</p>	—	市民局 地域政策課
			—	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、研修の開催を中止したものもあるが、概ね予定通り取り組んだ。</p>	
⑥	地域安全対策事業	①仙台市防犯団体に対する補助金交付事業 犯罪のない安全な地域づくりのため、地域の防犯活動を実施する防犯協会等の運営に要する経費に対し、補助金を交付する。	補助金交付件数：80件	—	市民局 市民生活課
			—	<p>予定通り取り組みを進めた。</p>	
		②仙台市地域安全安心まちづくり事業 地域ぐるみの安全なまちづくりを促進し、もって市民が安全に暮らすことのできる地域社会の実現を図るため、地域において自主的な防犯活動を行う団体の活動に要する経費に対し、補助金を交付する。	<p>安全安心まちづくりに自主的に取り組む地域の防犯ボランティア団体の活動への支援を実施した。</p> <p>補助金交付件数：18件</p>	<p>仙台市地域安全安心まちづくり事業補助件数について、毎年度20件程度補助する。</p>	

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和2年度担当課
			点検結果		
	[前ページ続き] 地域安全対策事業	③落書き消去支援事業 各区・総合支所の担当部署において、消去活動に取り組む個人・団体等に活動に必要な用具（消去剤、ウエス、バケツ等）の貸出を行う。	貸出件数：1件 — 貸出件数が1件であったため、今後、消去活動に取り組む団体等に対し、制度の周知を図る。	—	
⑦	交通安全事業	①地域等と取り組む交通安全運動の実施 各区・総合支所の担当部署において、町内会、交通安全協会、学校、交通指導隊、警察などと連携し、交通ルールと正しい交通マナーの実践に向けて地域での交通安全啓発活動を実施する。 ②仙台市交通安全指導団体への支援 地域における交通安全活動を実施するボランティア団体の運営および活動費の一部を支援する。 また、各区等において各地区等交通安全協会の活動に対し補助金を交付する。 ③PTAによる交通安全誘導活動への支援 市内小学校の通学路等における交通安全誘導活動および啓発活動に使用するブルゾンやベスト等の用品を提供する。	町内会、交通安全協会、学校、交通指導隊、警察などと連携し、春と秋の交通安全運動をはじめとした各種街頭キャンペーンや定期的な交通指導、学校等において交通安全教室を実施した。 仙台市交通安全母の会連合会の事務局として連合会の運営を支援した。また、仙台市交通安全母の会連合会および各地区交通安全協会等の活動に対し補助金を交付した。 補助金交付件数：9件 仙台市PTA協議会を通じ、市内小学校96校にブルゾンやベスト等の用品を提供した。 本市の年間交通事故死亡者数：11人 A 着実に進捗した。	「第10次仙台市交通安全計画」における本市の年間交通事故死亡者数の目標値（17人以下）となるよう、関係機関・団体との協働による交通安全運動を積極的に推進する。	市民局 自転車交通安全課
⑧	小地域福祉ネットワーク活動推進事業	高齢者、障害者、子育て家庭等、誰もが住み慣れた地域で自立して安心した生活が送れるよう、見守り活動やサロン活動等の地域における支え合い・助け合い活動を推進するため、地区社会福祉協議会を実施主体として、町内会や民生委員児童委員、ボランティア団体等の福祉団体と連携しながら実施する地域福祉活動の費用の一部を社会福祉法人仙台市社会福祉協議会を通じて助成する。	市内104の地区社会福祉協議会が実施する小地域福祉ネットワーク活動に係る費用の一部を社会福祉法人仙台市社会福祉協議会を通じて助成した。また、担い手の育成やスキルアップのための研修会を開催した。 助成件数：104件 地域福祉活動従事者研修会開催数：10回 A 着実に進捗した。今後とも市全体の福祉力を向上させるために、関係機関と連携して支援を進めていく。	地域福祉活動従事者への研修会を各区・支部事務所において年2回以上開催する。	健康福祉局 社会課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和2年度担当課	
			点検結果			
⑨	老人クラブ活動への支援	助成金の交付や研修等を通して、老人クラブ活動等の一層の活性化を図り、高齢者の生きがいや健康づくりを推進するとともに、地域での支え合い活動の充実を図る。	老人クラブに対し、地域社会福祉活動に関する助成金の交付を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により、地域社会福祉活動研修の開催は中止したが、友愛活動（高齢者見回り等）を強化したことで、地域社会福祉活動を行う老人クラブが増えた。 地域社会福祉活動を行う老人クラブの割合：61.1%	毎年度各区で研修を実施することにより、地域社会福祉活動を行う老人クラブ数の割合を令和2年度までに45%以上に増加させる。	健康福祉局 高齢企画課	
			A 着実に進捗した。			
	⑩	地域での子育て支援団体に対する活動支援	育児サークルや子育てサロン、託児ボランティアなどの地域における子育て支援活動の活性化を図るとともに、地域でのネットワーク活動を推進し、研修や交流会を開催するほか、子育て支援活動団体の登録による広報等の支援を行う。	育児サークルや子育てサロン、託児ボランティア等さまざまな子育て支援団体を登録し、本市のホームページで詳細を公表することなどにより、活動の活性化につなげている。 登録団体数：132団体 育児サークル、子育てサロン：99団体 託児ボランティア：3団体 さまざまな子育て支援団体：30団体	毎年度の登録団体数160団体程度を維持していく。	子供未来局 総務課
				B 新型コロナウイルス感染症の影響等により、活動継続が困難となった団体があり、登録団体数は減少しているが、概ね進捗した。地域における子育て支援活動をさらに活性化させるため、広報等の支援を行っていく。		
⑪	子どもの居場所づくり支援事業	食事の提供や学習支援などを通じて、子どもが安心して過ごせる居場所である「子ども食堂」の運営団体に対して開設・運営費の助成を行うとともに、ネットワーク会議を開催し、運営のノウハウの共有を図る等の支援をする。	子ども食堂運営団体への助成事業も3年目を迎え、制度が周知されてきた。運営費の助成を継続するとともに、ネットワーク会議の開催により団体間の情報共有などの支援を行った。申請団体数は平成30年度25団体、令和元年度34団体、令和2年度は37団体に増加してきている。	—	子供未来局 子供家庭支援課	
			— 予定通り取り組みを進めた。			
⑫	地域子育て支援クラブ等各種団体への支援事業	児童福祉の推進と青少年の健全な育成を図るため、地域子育て支援クラブや青少年健全育成団体等へ助成金を交付する。	助成金交付団体数 地域子育て支援クラブおよび同協議会：84団体 青少年健全育成団体：10団体	—	子供未来局 子供相談支援センター	
			— 予定通り取り組みを進めた。			

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
			点検結果		
⑬	多様な主体との連携によるごみ減量・リサイクル推進	①地域でのごみ減量・リサイクル推進 町内会やクリーン仙台推進員、環境団体、学生、事業者等と行政との連携により、地域でのごみ減量・リサイクル推進に向けた課題を共有しながら、排出実態調査の実施やごみ分別講座、アレマキャンペーンなど、効果的な啓発活動や環境美化活動を推進する。	<p>クリーン仙台推進員ごみ集積所排出実態調査 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 参考：ごみ減量調査啓発を実施した団体数 令和元年度実績 353団体</p> <p>環境施設を見る会 参加団体数：8団体</p> <p>ごみ分別出前講座の実施：27回</p>	令和2年度までに、町内会等と行政との協働によるごみ減量等啓発を実施する団体数300以上を目指す。	環境局 家庭ごみ減量課
			B 新型コロナウイルス感染症の影響により中止または規模を縮小したが、概ね進捗した。引き続き市民協働によるごみ減量PDCAサイクルの構築を図りながら、取り組みを進めて行く。		
		②集団資源回収事業 資源物（紙類・布類・アルミ缶等）の有効利用を図るとともに地域コミュニティづくり等に資するため、地域で集団資源回収を実施する団体の活動を支援する。	<p>集団資源回収実施団体に奨励金を交付し、広報物として「集団資源回収のてびき」、リーフレットを配布。</p> <p>集団資源回収実施団体：1,246団体 (全町内会数に占める割合：90.0%)</p>	集団資源回収実施団体の全町内会数に占める割合を90%以上とする。	
			A 着実に進捗した。実施団体数維持のため、今後も引き続き活動支援を行っていく。		
		③クリーン仙台推進員制度 ごみの適正排出、減量・リサイクルの促進、生活環境の保全のため、地域で取り組むリーダーを育成するとともに、その活動を支援する。	<p>クリーン仙台推進員制度委嘱者：2,500人 (推薦町内会の割合：57.8%) 排出実態調査実施推進員数：新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>	令和2年度までに、クリーン仙台推進員を推薦する町内会の割合を60%以上、排出実態調査を実施するクリーン仙台推進員の割合を40%以上を目指す。	
			C 委嘱町内会の割合は前年から微増したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により排出実態調査を中止したため、進捗が遅れた。次年度は、推進員のいない町内会への呼び掛けについて検討を行う。		
		④ごみ集積所維持管理の支援 地域住民によるごみ集積所の清潔保持や環境美化の取り組みを支援するため、集積所の維持管理に関する助言や、啓発ポスターおよび飛散防止用ネットの配布を行う。 また、町内会等の申請に基づき、市が集積所の管理状況等を診断し、排出状況等が優秀な場合に、「五つ星集積所」として顕彰し、適正排出・適正管理を促進する。	<p>飛散防止用ネット配布数：2,150枚 五つ星集積所診断数：36か所 (うち五つ星集積所認定数：32か所)</p>	—	
			— 予定通り取り組みを進めた。ネットの配布数は前年度を上回った一方で、五つ星集積所の診断件数は、新型コロナウイルス感染症の影響により前年度を下回ったことから、令和3年度は地域への働き掛けを工夫し継続していく。		

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況		担当課 ※()内は 令和2年度担当課
			点検結果	プランにおける目標等	
⑭	農あるふるさとづくり支援事業	農業を基軸とした地域における地域の特性と資源等を活かした住民主体の地域づくり活動の推進を図るため、地域団体が自主的に取り組む事業に対して助成金を交付する。	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の事業は中止した。 助成金交付実績：0件	毎年度の交付件数を2件程度とする。	経済局 農政企画課
			C	新型コロナウイルス感染症の影響により、進捗が遅れた。	
⑮	スポーツ推進に係る支援事業	①仙台市スポーツ推進委員協議会 仙台市スポーツ推進委員により、本市が行う体育・スポーツ振興事業への参画および推進や地域スポーツ振興のための啓発や調査・研究、地域団体との連絡調整、地域住民へのスポーツ等の技術指導を行う。	仙台市スポーツ推進委員協議会が行うスポーツ振興事業に要する経費に対し、補助金を交付した。	—	文化観光局 スポーツ振興課
			—	着実に取り組みを進めた。スポーツ振興事業の推進、地域スポーツ振興を図るため、引き続き同協議会への支援を行う。	
		②仙台市学区民体育振興会連合会育成補助 地域住民すべてがスポーツ・レクリエーションに親しみながら健康増進を図り、その活動を通して地域づくりを進めている仙台市学区民体育振興会連合会に助成する。	仙台市学区民体育振興会連合会が行う地域住民を対象としたスポーツ振興に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。	—	
			—	着実に取り組みを進めた。地域スポーツ活動を通じた健康増進、地域づくりを進めるため、引き続き同連合会への支援を行う。	
		③仙台市スポーツ協会育成補助 種目別競技団体による市民の体育を振興し、健全なスポーツ精神を養成している仙台市スポーツ協会に助成する。	仙台市スポーツ協会が行う各種競技会、体力・競技力向上等に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。	—	
			—	着実に取り組みを進めた。市民の体力・競技力向上を図るため、引き続き同協会への支援を行う。	
⑯	まちづくり支援専門家派遣事業 【再掲】	市民が主体的に行うまちづくり活動を支援し、地域の特性や資源を活かした個性あるまちづくりを推進するため、まちづくりを行う団体に対し、本市に登録しているまちづくり専門家を派遣することにより、専門的な助言やまちづくりに関する情報提供等を行う。	地域団体からの相談に応じてまちづくり専門家を派遣し、専門的な助言やまちづくりに関する情報提供等を行い、地域主体のまちづくり活動を支援した。 派遣地区：9地区	令和元年度～2年度における派遣地区を単年度平均で15地区以上とする。	都市整備局 都市計画課
			B	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標地区数には達しなかったものの、概ね目標に沿う水準で進捗した。今後も地域における制度の活用が図られるよう、引き続き、さらなる周知に努める。	

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和2年度担当課
			点検結果		
⑰	みんなで育てる地域交通乗り乗り事業 (旧：みんなでつくる地域交通スタート支援事業)	公共交通のサービスレベルが低い地域などにおいて、町内会や商店会など地域の方が主体となり、乗合タクシーの運行など地域の足の確保に向けて取り組む場合に、下記①②③により支援する。 ①運行計画検討における助言や技術的な支援をする交通の専門家の派遣 ②運行に係る経費の一部補助 ③高齢者等割引運賃への補助(令和2年度～)	市民協働による地域の足の確保へ向け、青葉区新川地区、宮城野区燕沢地区、太白区坪沼地区、同秋保地区において、下記支援を行った。 ・地域主体の乗合タクシー試験運行等の実施に対する運行経費等の一部補助 ・試験運行や実証運行計画策定等における専門家(コンサルタント)の派遣	—	都市整備局 地域交通推進課 (公共交通推進課)
			—	予定通り取り組みを進めた。今後も、公共交通のサービスレベルが十分ではない地域などにおいて活用されるよう、周知に努める。	
⑱	まち再生・まち育て活動支援事業	今後の都市の持続ある発展を担う、地域主体のまちづくりを推進するため、まちの再生やまちを育てるエリアマネジメント等の活動を継続的に支援する。また、行政と地域が連携してエリアマネジメントに取り組んでいくための仕組みづくりを行うとともに、他地域において同様の取り組みを展開していくための課題の整理を進める。	地域のエリアマネジメント団体が主体的に行う、民有地や道路や公園などの公共空間を利活用した回遊性の向上、賑わいの創出に資する取り組みについて支援するとともに、道路占用許可のコロナ占用特例を活用した、歩道空間におけるテラス営業などの公共空間利活用の支援を行った。 支援プロジェクト件数：11件(エリアマネジメント4団体)	エリアマネジメント活動の支援プロジェクト件数を、平成30年度の1件に対し、各年度1件ずつ増加させる。	都市整備局 市街地整備課 地下鉄沿線まちづくり課 都心まちづくり課
			A	着実に進捗した。	
⑲	各種緑化支援事業	市民との協働により緑化の推進を図るため、下記の事業を行う。 ①花壇づくり助成事業 地域の公有地(学校除く)に10㎡以上の花壇をつくる町内会や老人クラブ、子ども会など地域の団体を対象に、材料や管理に係る費用の一部を支援する。 ②花いっぱいまちづくり助成事業 道路や広場等公共の空き地や道路に面するショーウィンドウ等にプランターや花壇を設置し管理する事業を行う商店街に対し、材料や管理に係る費用の一部を支援する。 ③緑化木植栽助成事業 緑豊かな街並み形成を目的に、自らの労力で直接樹木を植栽しようとする町内会や老人クラブ、市民活動団体などを対象に、植栽に要する資材の費用の一部を支援する。	各種緑化支援事業などを通し、民有地緑化を推進した。 ①～③の助成による花壇等面積：16,777㎡ 花壇づくり助成件数：263件(16,727㎡) 花いっぱいまちづくり助成件数：5件 緑化木植栽助成件数：1件(50㎡)	—	建設局 百年の杜推進課
			—	予定通り取り組みを進めた。	

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和2年度担当課
			点検結果		
⑳	市民参加によるみどりのまちづくり事業	①緑の活動団体 緑豊かな杜の都づくりを行うため、本市内における緑の保全・創出・普及に係る活動を自主的に行う団体を「緑の活動団体」として認定し、交流会の開催や緑の活動体験事業の共催などを通して支援する。	認定団体数：26団体 助成件数：6件 交流会開催数：0回 交流会参加率：0% 体験事業実施数：7回	団体相互の情報交換や共有を図るため、交流会を年2回以上開催するとともに、緑の活動の更なる普及・啓発に取り組むため、体験事業を年3回以上実施する。	建設局 百年の杜推進課
			B 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため交流会は中止となったが、体験事業を7回実施し、概ね進捗した。		
㉑	区民協働まちづくり事業	②公園愛護協力会 公園の除草清掃、花壇の管理、遊具等の点検などを自主的に行う団体である公園愛護協力会への活動支援として刈払機の貸出、報償金の支給や、功労者としての表彰・推薦等を行う。	各団体へ報償金の支給や刈払機の貸出等の活動支援を行うとともに、功労者の表彰・推薦を行った。 新規結成：28団体	新規結成を毎年度15団体以上とする。	建設局 公園課
			A 着実に進捗した。		
㉒	区民協働まちづくり事業	市民と行政との協働により、地域特性に応じたきめ細かな地域づくりを推進する。 ①企画事業 市民の創造性と意欲を最大限に生かし、地域課題の解決、地域の活性化および特色ある地域づくりを推進する。事業実施後においては、評価を適切に行いながら、事業の一層の充実や見直しを図っていく。 ～令和2年度各区の主な企画事業～ (青葉区) 仙台の昔を伝える紙芝居作り・上演事業 大倉ダム魅力発信事業 (宮城野区) 宮城野盆踊り普及事業 すずむしの里づくり事業 (若林区) 若林わくドキまち歩き ラヂオはいらいん若林制作・放送 (太白区) ディスカバーたいはく 秋保ミュージアム環境整備支援事業 (泉区) 泉ヶ岳悠・遊フェスティバル 泉中央美化推進	企画事業数 青葉区：11事業 宮城野区：8事業 若林区：9事業 太白区：12事業 泉区：14事業	—	各区 まちづくり推進課 地域力推進担当 (ふるさと支援担当) 宮城総合支所 まちづくり推進課 秋保総合支所 総務課 地域活性化推進担当 (ふるさと支援担当)
			—	新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした事業もあったが、感染症対策を講じ、工夫をしながら、取り組みを進めた。	

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
			点検結果		
	[前ページ続き] 区民協働まちづくり 事業	②まちづくり活動助成事業 市民の自らの創意工夫による自主的・自発的な区内の課題解決、地域コミュニティの活性化、地域や区の魅力を高める活動に対し、活動費の一部を助成する。助成を通じて、自主的・自発的なまちづくり活動が、地域に根差した継続的で自立した活動へと発展するよう支援していく。	助成件数 青葉区：10件 宮城野区：8件 若林区：3件 太白区：6件 泉区：2件	—	
			— 予定通り取り組みを進めた。		
②②	ふるさと底力向上プロジェクト 【区役所のまちづくり拠点機能強化事業の一部再掲】	地域団体と区・総合支所が協働して地域課題の解決を図るため、ふるさと支援担当による「ふるさと底力向上プロジェクト」を実施する。 ～令和2年度事業～ (青葉区) 学生の参加による地域づくり推進 荒巻包括ケアシステムモデル事業 (宮城総合支所) 作並・新川地区活性化 先端技術を活用した宮城地区西部の課題解決事業 (宮城野区) 仙台萬本さくらプロジェクト事業 海辺からの発信 つるがや地域連携・活動マッチング (若林区) 六郷東部地区現地再建まちづくり (太白区) 生出地区活性化支援 (秋保総合支所) 秋保体験観光創出支援 (泉区) 泉中央地区活性化事業 郊外居住地区の課題対応事業 泉西部地区活性化事業	実施事業数 青葉区：2事業 宮城総合支所：3事業 宮城野区：2事業 若林区：1事業 太白区：1事業 秋保総合支所：1事業 泉区：3事業	—	各区 地域力推進担当 (ふるさと支援担当) 宮城総合支所 地域活性化推進室 (ふるさと支援担当) 秋保総合支所 地域活性化推進担当 (ふるさと支援担当) 他
			— 新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした事業もあったが、感染症対策を講じ、工夫をしながら、取り組みを進めた。		
②③	婦人防火クラブ活動支援事業	婦人防火クラブの育成強化と活動の活発化を図るため、運営および活動を支援する。	新型コロナウイルス感染症に留意しながら、火災予防知識の習得および技術の向上を図る訓練、研修会および街頭防火キャンペーンなどを実施した。 延べ活動回数：203回	地域における火災予防を推進するため、婦人防火クラブの活動を支援する。(婦人防火クラブ活動回数：年間500回程度)	消防局 予防課
			B 新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限された中ではあったが、それぞれのクラブにおいて工夫しながらできる活動を実施した。		

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
			点検結果		
②④	コミュニティ・スクール導入の検討	地域総ぐるみで子どもの学びと成長を支える体制づくりを進めていくため、本市の実情に合ったコミュニティ・スクールの導入について検討を行う。	<p>コミュニティ・スクール導入に向け準備・検討する学校からの要請(27件)を受け、管理職や教職員、地域関係者を対象に説明し、学校の実情に応じて導入できるように助言した。</p> <p>12月に全市立学校・幼稚園の教頭等を対象に研修を実施し、導入に向けた制度の理解促進を図った。また、保護者・地域関係者の理解も重要であるため広報用のチラシを作成した。</p> <p>コミュニティ・スクールが円滑に推進されるように、「仙台市立学校における学校運営協議会設置等に関する実施要領」を策定した。また、令和2年度に導入された17校(12協議会)における第1回学校運営協議会に出席し、直接任命書を交付し、改めて制度の趣旨や規則を踏まえ任務を遂行するように依頼した。</p>	<p>令和元年度 モデル校(地区)決定・導入準備、学校運営協議会設置</p> <p>令和2年度 コミュニティ・スクール推進事業開始、先進導入校による学校運営協議会設置</p> <p>※令和元年度目標変更</p>	教育局 学びの連携推進室
			<p>A 想定よりも多い学校でコミュニティ・スクールが導入され、着実に進捗した。研修会でのアンケートでは未導入校においても計画的に検討しているとの回答が多かったことから、今後も導入に向けた助言等を実施していく。</p>		
			②⑤	PTA活動振興事業	
<p>B 新型コロナウイルス感染症の影響により、4件の共催事業を中止としたが、概ね進捗した。</p>					
②⑥	学びのコミュニティづくり推進事業	地域のさまざまな団体が連携し、子どもと大人の交流や自然体験・社会体験の機会を提供する事業を実施する。各事業は、学校や市民センターも関わりながら実施し、地域の教育力向上からの地域コミュニティ活性化を目指す。	<p>主に小学校区を中心として活動している地域団体が連携し、子どもと大人が交流しながら活動する事業を実施した。</p> <p>委託団体：2団体(新規0団体)</p>	<p>委託団体を毎年度7団体以上とする。</p>	教育局 生涯学習支援センター
			<p>C 新型コロナウイルス感染症の影響で委託予定だった団体が活動休止したため、委託団体は2団体に留まった。学校関係者への周知の機会を増やすなど広報等の工夫を重ね、委託団体増に努める。</p>		

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和2年度担当課
			点検結果		
(3) 地域社会の一員である事業者による社会貢献活動の促進					
①	市民活動サポートセンターにおける事業者の社会貢献活動促進に関する支援	市民活動サポートセンターにおいて、事業者の社会貢献活動事例の紹介や市民活動団体等に関する情報提供、他の主体との意見交換の場の創出など、事業者による社会貢献活動を促進させるための支援を行う。	NPOや事業者など多様な主体が意見交換できる場として、オンライン情報交換会や定期交流会を実施した。 また、機関誌「ぱれっと」において、事業者による社会貢献活動や協働事例を紹介した。 オンライン情報交換会 開催回数：24回 定期交流会 開催回数：4回 「ぱれっと」 掲載件数：4件	事業者が他の主体と交流・意見交換等ができる場となる取り組みを、毎年度2案件以上実施する。	市民局 市民協働推進課
			A	着実に進捗した。	
②	地元企業等の環境活動の促進	①環境配慮事業者認定制度 環境に配慮しごみの減量やリサイクルの推進等に積極的に取り組んでいる事業者を「エコにこマイスター」として認定し、環境保全に関する取り組みを推進する。また、認定事業者の優れた環境配慮の取り組みを市民や事業者へ情報発信する。	認定制度の店舗や事業所の区分を廃止し、対象範囲を市内で事業活動を行うすべての事業者に拡大するとともに、その取り組み内容に応じて「エコにこマイスター」、「エコにこゴールドマイスター」の2段階の認定を行う「仙台市環境配慮事業者（エコにこマイスター）認定制度」に発展させた。 また、認定事業者の一覧をウェブサイトに公表するとともに、その取り組み内容を紹介する事例集を作成・配布するなどの情報発信を行った。 環境配慮事業者認定制度の認定店舗・事業所等の数：535	環境配慮事業者認定制度の認定事業者数を増やし、令和2年度までに認定事業所・店舗等を450以上とする。	環境局 廃棄物企画課
			A	着実に進捗した。	
		②アメニティ・せんだい推進協議会 市民活動団体・事業者・行政で構成する「アメニティ・せんだい推進協議会」を設置し、エコフェスタの開催や講師派遣等を行い、ごみ減量・リサイクルや環境美化について広く市民に周知する。	「エコフェスタ2020」ウェブサイトアクセス数：15,505件 3R講師派遣事業実施回数：3回 「3Rわかる本2021」発行：13,000部	アメニティ・せんだい推進協議会事業におけるエコフェスタ開催での来場者数を10,000人以上、3R講師派遣の実施回数を25回以上とする。	環境局 家庭ごみ減量課
			B	新型コロナウイルス感染症の影響により3R講師派遣事業の実施回数は減少したが、エコフェスタをオンラインで開催するなどの工夫により、概ね進捗した。3R講師派遣事業については引き続き事業実施について広く周知広報を行っていく。	

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和2年度担当課
			点検結果		
	[前ページ続き] 地元企業等の環境活動の促進	③仙台まち美化サポートプログラム 市民活動団体や事業者、学校等が道路や公園等の清掃活動を継続して行い、ごみの散乱のない快適なまちづくりを進める。	登録団体数：264団体（前年度比6団体増）	まち美化サポートプログラム登録団体数を260団体以上とする。	
			A 着実に進捗した。参加団体数をさらに増やすため、今後も引き続きプログラムの広報に取り組む。		
③	地元企業の地域活性化活動等の促進	仙台市中小企業活性化条例に掲げる、「従業員の仕事と生活の調和」「地域社会の発展」および「市民生活の向上」に努め、他の中小企業の模範となる市内中小企業を表彰することにより、表彰企業の認知度や従業員のモチベーションを高めるとともに、他中小企業の取り組みへの波及を図る。	令和元年度より制度を「仙台『四方よし』宣言企業」へのエントリー方式に改め、受賞企業は宣言企業の中から当面2年に1度の頻度で表彰することとしたため、令和2年度は仙台「四方よし」企業大賞を実施していない。 なお、令和2年度は、仙台「四方よし」宣言企業に延べ11社が登録している。	「仙台『四方よし』企業大賞制度」における宣言企業の新規申込件数を、毎年度5社以上確保する。 ※令和2年度目標変更	経済局 経済企画課
			A 着実に進捗した。今後は、歴代受賞企業・宣言企業の四方よしな取り組みの広報・PRに力を入れて取り組み、宣言企業の拡充に努めていく。		
④	協力事業所表示制度	①消防団協力事業所表示制度 従業員が2人以上消防団員であるなど、消防団活動に協力していると認められる事業所を協力事業所として認定し、災害対応や訓練参加へのさらなる配慮など、企業の社会貢献により消防団員が活動しやすい環境を促進する。	新規認定事業所数：4事業所 (認定事業所数：82事業所、増減数：+4事業所)	毎年度、新規の認定事業所を5事業所程度増加させる。	消防局 総務課
			A 着実に進捗している。今後も引き続き制度理解の向上と当該事業所の認知度を高めるため、広報・PR活動を推進し、認定事業所の拡充に努めていく。		
		②応急手当協力事業所表示制度（杜の都ハートエイド） 自動体外式除細動器（AED）を設置し、かつ応急手当に関する講習を修了した従業員等が勤務している事業所を協力事業所として登録し、事業所近隣で発生した心肺停止傷病者の対応を行ってもらうなど、企業の社会貢献により応急手当を推進する。	登録施設数：1,323事業所 民間施設および市有施設新規登録数：53施設	毎年度50事業所程度増加させる。 応急手当協力事業所表示制度に登録されている事業所へのAED等の維持管理状況の定期的な確認及び救命講習受講を促し、応急手当能力の向上を図る。	消防局 救急課
			A 新規登録施設数は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、前年度と比較すると減少しているが着実に進捗している。コロナ禍の状況を踏まえながら、さらに制度の普及に努め、新規登録事業所数の増加と応急手当能力の向上を図る。		

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和2年度担当課
			点検結果		
(4) 多様な主体の交流の促進					
①	せんだい3.11メモリアル交流館における協力事業	地域団体、教育機関等による震災メモリアルや地域の魅力発信にかかる展示や催しに対し、せんだい3.11メモリアル交流館として場の提供や情報発信などによる協力を通して、多様な主体の交流の促進を図る。	せんだい3.11メモリアル交流館の協力事業（広報・企画・運営・会場使用等に関する協力）として、地域団体等の催し等下記のとおり開催した。 開催数：29件	せんだい3.11メモリアル交流館の協力事業として、地域団体等による催し等を令和2年度に30件以上開催する。	まちづくり政策局 防災環境都市推進室 (防災環境都市・震災復興室)
			B 新型コロナウイルス感染症の影響により目標達成はできなかったが、概ね進捗した。地域団体等による継承の取り組みが今後も継続的に展開されるように、連携・協力の取り組みをより一層進める。		
②	防災フォーラム等の実施	「仙台防災枠組」に基づき、防災に関わる多様な主体が学び・発信する機会を確保するため、市民参加型のフォーラム等を継続的に実施する。	令和3年3月6日・7日の2日間にわたり、仙台国際センターで「仙台防災未来フォーラム2021」を開催。発表やブース展示、体験型イベントなどを通じて市民が防災を学び、日頃の活動を発信できる機会を提供した。 また、新型コロナウイルス感染症対策として一部プログラムをオンラインにて公開した。 延べ来場者数（オンライン参加者を含む）：4,300人 (3月6日800人、3月7日3,500人)	延べ来場者数を次のとおりとする。 令和元年度 8,000人 世界防災フォーラム 1,000人 仙台防災未来フォーラム 3,000人 震災対策技術展 4,000人 令和2年度 3,000人	まちづくり政策局 防災環境都市推進室 (防災環境都市・震災復興室)
			A 着実に進捗した。多様な市民が防災等に関する発信や共有を行う場を確保するため、今後も引き続き「仙台防災未来フォーラム」の開催に取り組む。		
③	地域活動団体交流会【地域コミュニティ体力強化事業の一部再掲】	地域課題の解決に取り組む地域活動団体が、それぞれの取り組み状況等について情報交換を行い、互いの活動を学び合う交流会を開催することにより、一層の活動意欲の向上や取り組みの活性化を図る。	令和2年度の地域活動団体交流会は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止したが、活動事例集の町内会長への配布やホームページへの掲載という形で、地域活動団体間の情報共有の機会を確保した。	—	市民局 地域政策課
			— 新型コロナウイルス感染症の影響により事業は中止となったが、事業の趣旨を踏まえ、代替の手法により取り組みを進めた。		

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和2年度担当課
			点検結果		
④	市民活動サポートセンターにおける多様な主体の交流促進のための支援・環境整備	多様な主体の交流が促進され、新たな課題に対して創意工夫により解決策を生み出し続ける「創発」によるまちづくりが推進されるよう、市民活動サポートセンターにおいて、多様な主体が集まり、意見を交わし、交流を深める機会を提供する。	<p>さまざまな立場の人が自由に参加できる情報交換の場として、オンライン上での情報交換会を定期開催した。また、定期交流会「マチナカ マチノワ ラウンジ」の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら交流する手法を試行した。</p> <p>オンライン情報交換会参加者数：319人 定期交流会参加者数：18人</p>	令和元年度～2年度の多様な主体の交流促進を目的としたプログラムの延べ参加者数を、毎年度100人以上とする。	市民局 市民協働推進課
			A 着実に進捗した。		
⑤	文化活動団体への支援による交流促進	<p>新たな文化交流・創造・発信の促進を図るため、公益財団法人仙台市市民文化事業団を通して市民の自主的な文化活動に対し以下の支援を行う。</p> <p>①市内の文化団体等が実施する文化芸術の振興及び郷土の歴史継承を目的とする事業などに対し、経費の一部を助成する。</p>	<p>市内の文化団体等が実施する文化芸術の振興および郷土の歴史継承を目的とする事業などに対し、経費の一部を助成した。</p> <p>助成件数：89件</p> <p>なお、上記助成のほか、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた文化芸術団体等の活動を支援するため、「多様なメディアを活用した文化芸術創造支援事業（採択件数175件）」を実施した（このほか、市ホール系施設等の使用料減免や「実演芸術の公演会場費助成」も実施している）。</p>	文化活動団体に対し、毎年度130件程度助成を行う。	文化観光局 文化振興課
			A 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、従来の助成制度については申請件数自体が減少したが、コロナ禍に応じた新たな助成を設けることにより、幅広い文化活動団体に対する支援を行った。		
			②イベント等の制作面での協力を行う。	<p>イベント等の制作面での協力を行った。</p> <p>協力件数：52件</p>	
		A 着実に進捗した。今後も引き続き当該事業の周知に取り組む。			

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和2年度担当課
			点検結果		
	[前ページ続き] 文化活動団体への支援による交流促進	③季刊誌「まちりよく」に情報を掲載し広報支援を行う。	季刊誌「まちりよく」に情報を掲載し広報支援を行った。 支援件数：60件	—	
			—	昨年度よりも件数は減少したが、多くの事業の広報支援を行った。今後も引き続き当該事業の周知に取り組む。	
⑥	区民まつり	地域や世代を超えた交流によるコミュニティの活性化および区民のふるさと意識の醸成を図ることを目的に、区民との協働によるまつりを実施する。実施にあたっては、多くの市民が関わることができるような事業環境を構築するなど、より一層のまつりの魅力の創出を図る。 ～ 各区・総合支所のまつり ～ (青葉区) 青葉区民まつり (宮城総合支所) 宮城地区まつり (宮城野区) みやぎの・まつり (若林区) 若林区民ふるさとまつり (太白区) 太白区民まつり (秋保総合支所) まつりだ秋保 (泉区) 泉区民ふるさとまつり	青葉区民まつり：中止 宮城地区まつり：中止 みやぎの・まつり：中止 若林区民ふるさとまつり：中止 太白区民まつり：中止 まつりだ秋保：中止 泉区民ふるさとまつり：中止	—	各区 まちづくり推進課 宮城総合支所 まちづくり推進課 秋保総合支所 総務課
			—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止とした。	
⑦	地域づくりの担い手等の交流等推進事業	太白区役所内の組織の横断的な取り組みと体系的な事業展開により、地域づくりの担い手の交流や人材不足の解消を目的とした事業を実施し、地域づくりの活性化を図る。 ①単位地域における交流等推進事業の実施	コロナ禍でも可能な範囲で、規模を縮小したイベントや関係者のスキルアップを図る研修会等について、活動の拠点としている区内の市民センターで実施した。 実施した市民センター：3館	区内市民センター3館で実施する。	太白区 中央市民センター
			A	着実に進捗した。今後、地域づくりに取り組む団体やネットワークが自立するためのサポートを行う必要がある。	

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況		プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和2年度担当課
			点検結果			
	[前ページ続き] 地域づくりの担い手 等の交流等推進事業	②地域づくりの担い手のステップアップを支援する交流事業	区内で活動する団体の活動報告や、市民活動サポートセンターによるコロナ禍での活動事例紹介を行う報告会を開催し、団体間の情報交換や交流の機会を設けた。 報告団体数：6団体 見学団体数：2団体		区全体のステップアップの交流会を年1回開催する。	太白区 まちづくり推進課
			A 着実に進捗した。			
⑧	学びのコミュニティ づくり推進事業 【再掲】	地域のさまざまな団体が連携し、子どもと大人の交流や自然体験・社会体験の機会を提供する事業を実施する。各事業は、学校や市民センターも関わりながら実施し、地域の教育力向上からの地域コミュニティ活性化を目指す。	主に小学校区を中心として活動している地域団体が連携し、子どもと大人が交流しながら活動する事業を実施した。 委託団体：2団体（新規0団体）		委託団体を毎年度7団体以上とする。	教育局 生涯学習支援センター
			C 新型コロナウイルス感染症の影響で委託予定だった団体が活動休止したため、委託団体は2団体に留まった。学校関係者への周知の機会を増やすなど広報等の工夫を重ね、委託団体増に努める。			
(5) 多様な主体の活動等に関する情報の収集および発信の促進						
①	まちづくり活動事例集の作成	町内会等のまちづくり活動に関する事例を紹介する活動事例集を、内容の充実を図りながら毎年度作成し、地域づくりに関する情報提供を行う。	町内会等のまちづくり活動に関する事例集「おらほ！のまちづくり」第11号を発行した。		—	市民局 地域政策課
			— 予定通り取り組みを進めた。			
②	各種広報ツールを利用した情報発信	協働の手引き・事例集（平成29年度作成）の活用と協働ナビゲーションサイト（平成30年度公開）の運用を通じて、積極的な情報発信を図る。また、「みやぎNPOナビ」※を活用した市民活動団体の情報発信機会の充実を図るほか、仙台市公式ホームページや内閣府ポータルサイトの活用によるNPO法人の情報公開を行う。 ※みやぎNPOナビ…宮城県内の市民活動団体の情報を一元的に検索できるポータルサイト。県内の自治体や中間支援組織10団体からなる「みやぎNPO情報公開システム運用協議会」で運営。	協働の手引き・事例集を各種イベントにて配布・展示したほか、協働ナビゲーションサイトにおいて、協働取り組み事例や各種支援制度、相談窓口等の紹介を行い、積極的な情報発信に取り組んだ。 また、仙台市内の団体を対象に「みやぎNPOナビ」への登録呼び掛けを行ったほか、仙台市公式ホームページや内閣府ポータルサイトを活用し、NPO法人の情報公開を迅速に行った。 協働ナビゲーションサイトアクセス件数：15,746件		協働ナビゲーションサイトのアクセス件数を毎年度5,000件以上とする。	市民局 市民協働推進課
			A 着実に進捗した。			

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況		担当課 ※（ ）内は 令和2年度担当課
			点検結果	プランにおける目標等	
③	市民活動サポートセンターにおける情報の収集・発信に関する支援	市民活動サポートセンターにおいて、市民活動・協働に関する情報収集・提供、相談対応など、多岐にわたる市民活動がさらに活発になるよう支援を行う。	市民活動サポートセンターにおいて、市民活動や協働に関する情報収集・提供等により、市民活動の支援を行った。また、市民活動団体のイベントチラシをホームページ上に画像で掲示し、団体の情報発信支援を行った。 ホームページアクセス数：19,608件 ブログ投稿数：404件	市民活動サポートセンターのホームページのアクセス件数を毎年度33,000件以上、ブログ投稿数を毎年度200件以上とする。	市民局 市民協働推進課
			B	概ね進捗した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館等の影響による施設利用者の減少によりホームページアクセス数は減少したが、積極的にブログ投稿を行い多くの情報を発信した。今後もより分かりやすい情報の提供に努める。	
④	ボランティアセンターにおける各種支援等 【再掲】	市民を対象に、ボランティアの基礎的な知識や心構え、援助技術の習得などを目的として、テーマ別のボランティア講座や研修を開催する。また、ボランティアに関する各種の情報提供を行いながら、ボランティアに関する相談および調整を行う。	地域ニーズに応じたボランティア育成講座を開催するとともに、ボランティア登録団体等への情報提供、相談および調整を行った。 ボランティア育成講座数：8講座 延べボランティア育成講座受講者数：164人 ボランティア登録団体数：751団体	ボランティアセンターへの登録団体数を、令和2年度までに400団体以上とする。	健康福祉局 社会課
			A	着実に進捗した。コロナ禍における新たなボランティア活動を提案し、担い手の発掘・育成を進め、地域課題解決につながるよう、引き続き取り組んでいく。	

Ⅲ 市民協働事業

仙台市と多様な主体による市民協働事業について、実施状況を掲載しています。

市民協働事業

次の2つの要件を満たす事業

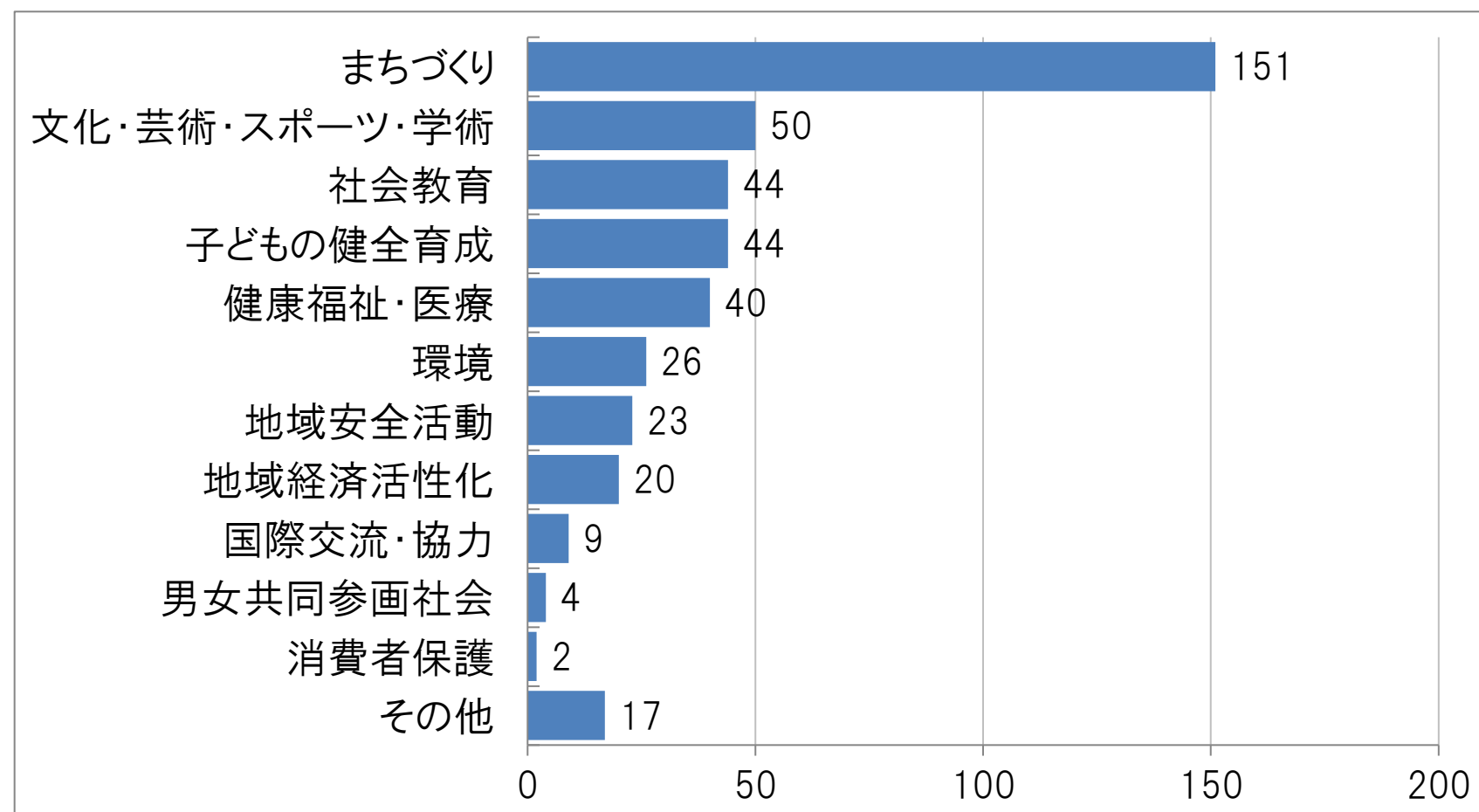
- ① 市が町内会等の地域団体、市民活動団体、教育機関、企業等と、互いに主体性・当事者性を持って連携している事業であること
- ② 営利を主たる目的とせず、地域課題の解決やまちの魅力の向上を図るための事業であること

市民協働事業の総数 273事業

「事業分野」・・・ 事業の分野は、「まちづくり」が151事業(55.3%)であり、次いで「文化・芸術・スポーツ・学術」が50事業(18.3%)、「社会教育」および「子どもの健全育成」が各44事業(16.1%)と続きます。

「協働の相手方」・・・ 協働の相手方は、「市民活動団体」が152事業(55.7%)であり、次いで「地域団体」が130事業(47.6%)、「教育機関等」が61事業(22.3%)と続きます。

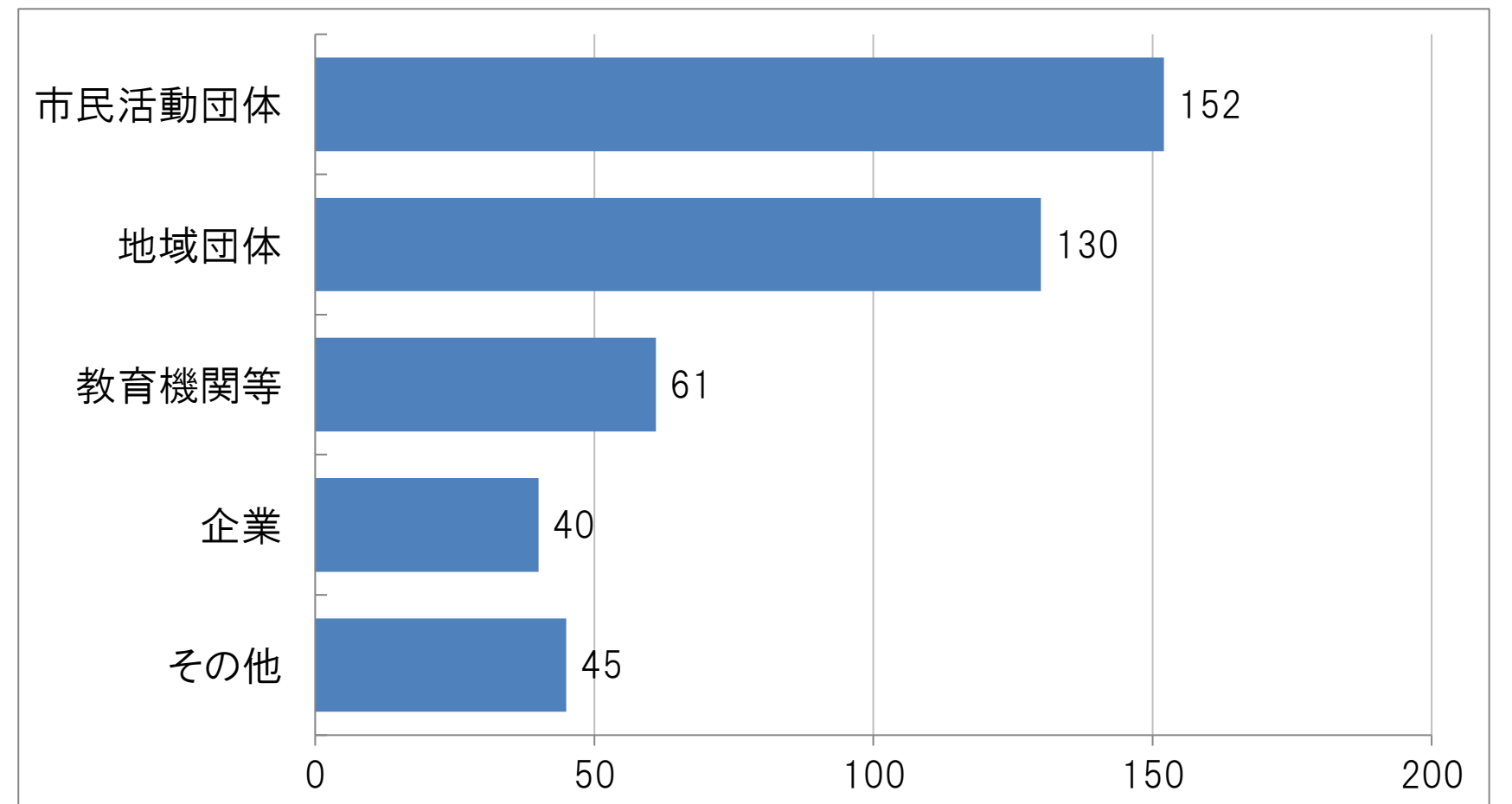
事業分野



※複数の分野に該当する事業があります

(単位：事業)

協働の相手方



※協働の相手方が複数に該当する事業があります

(単位：事業)

新型コロナウイルス感染症の影響により中止や規模縮小を行った事業もありましたが、感染防止対策を講じるとともに、オンラインでの開催やウェブの活用など工夫を行いながら、様々な協働の相手方とともに取り組みを進めました。

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
1	民間企業と連携した災害時における支援体制整備	災害時に不足することが見込まれる資源を充足するため、民間企業や関係団体と応援協定を締結し、災害時における支援体制を構築する。	企業や各種団体等との協定締結:228件 (うち、11件を令和2年度に締結)	健康福祉・医療, 地域安全活動, その他	企業、各種団体等	—	危機管理局防災計画課、各協定所管課
2	広報紙等配布謝礼金	「仙台市政だより」等の配布に対する謝礼として、町内会等の配布団体に年1回謝礼金を交付する。	謝礼金交付実績: 1,417件	その他	市政だより等の配布を行っている団体	72,433	総務局広報課、健康福祉局健康政策課、各区総務課、議会事務局調査課、水道局営業課
3	総合計画策定にかかる市民参画イベント(みんなのせんだい未来づくり～チャレンジを続ける新たな杜の都へ～)	新しい基本計画の中間案で掲げる8つの「チャレンジプロジェクト」をテーマに、今後のまちづくりで私たちができることを自由に話し合うイベントを開催し、幅広く意見を収集し意識醸成を図るとともに、今後の計画策定の参考とする。	参加市民:約100人 ※会場参加70人・WEB参加約30人	まちづくり	市民の参加者	3,231	まちづくり政策局政策企画課
4	郊外住宅地・西部地区まちづくりプロジェクト	【境野地区魅力ある地域づくり事業】直販施設等交流拠点による交流人口の拡大、里山や散策・探訪ルートの整備による地域資源の発掘、希少生物等の地域資源活用による魅力アップ創出を図る。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じながら「さかいの産直市」を開催し、直営農園整備などにより、収益拡大に取り組んだ。また、地元美術館とコラボしたアート案山子制作・展示や「さかいの生き物マップ」の作成等の地域資源の活用・魅力アップ、里山の環境整備、散策・探訪ルートの整備に取り組んだ。	まちづくり, 地域経済活性化	さかいの地区創生会	562	まちづくり政策局プロジェクト推進課
5		【生出地区における共同農作業によるコミュニティづくり】ビニールハウス等で農作物の栽培・収穫を共同で行い、コミュニティの場の創出を図る。また、地域のオリジナルキャラクターを活用し農作物の販売を行い、地域の認知度向上、地域ブランドの構築を図る。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じながら、遊休農地を活用した野菜の栽培や干し柿の作成・販売などの共同農業作業を行うとともに、こんにやくづくり、漬物教室などの交流事業を実施した。また、地域の学校と作業場や農地トイレを製作するなど、環境整備に取り組んだ。	まちづくり, 地域経済活性化	生出地区まちづくり委員会	564	
6		【作並温泉郷千年桜プロジェクト】国道48号線の改良工事に伴い伐採された桜並木の復活を目指し、苗木養育ワークショップ、作並地域の固有種を含む桜の植樹、地権者調査、市遊歩道整備にあわせた広瀬川河畔に通じる自然体験ゾーンの整備、伐採された桜を活用した小物製作ワークショップを実施する。	桜植樹を行うための地権者への協力要請を行ったほか、本プロジェクトの将来像を地域と共有し、機運醸成が図られるよう、桜植樹計画図面を製作した。	まちづくり, 地域経済活性化, 環境	作並温泉郷千年桜プロジェクト委員会	1,350	

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
7	[前ページ続き] 郊外住宅地・西部地区まちづくりプロジェクト	【鶴ヶ谷地区の多世代交流まちづくり事業「えがおプロジェクト」】 シニアや子育て世代等の多世代交流の場である居場所カフェ、地域の魅力を再発見する地元学、シニア向けのデジタルネットワーク勉強会、手作り雑貨やクラフト商品を販売するマルシェを開催する。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じながら、商店街の店舗内の一角で居場所カフェを運営し、地域の情報収集源となるほか、安定的な運営資金の確保につながった。さらに、試行的なミニマルシェの開催や、地元学では、地域の学校と合同でフィールド調査を実施するなど、多世代交流の取り組みを広げた。	まちづくり、地域経済活性化、文化・芸術・スポーツ・学術、子どもの健全育成	まるっとつるがや	166	
8	定禅寺通活性化推進事業	定禅寺通において、道路空間の再構成やエリアマネジメントの導入なども視野に入れ、魅力ある空間を創出し、それをきっかけとして街中の人の回遊性を高め、本市がより一層多くの人々を魅了する活力ある都市となることを目指す。	・会議の開催:11回 ・空間活用の試行的な実践:4プロジェクト ・基本構想検討会:9回 ・事例・制度活用勉強会:1回 ・ニュースレターの発行:3回	まちづくり	定禅寺通活性化検討会、仙台商工会議所	25,323	まちづくり政策局定禅寺通活性化室
9	コミュニティまつり助成	町内会、連合町内会が主催または中心となり実施するコミュニティまつりの一層の振興を図るため、その経費の一部を補助する。	コミュニティまつりの一層の振興を図るため、公益財団法人仙台ひと・まち交流財団から助成金を交付した。 助成金交付実績:13件	まちづくり	仙台市内の町内会または連合町内会(コミュニティまつりのために設けた実行委員会を含む)	402	市民局地域政策課
10	町内会等育成奨励金	地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会の運営経費の一部を援助することにより、町内会等の育成を図り、もって地域住民の福祉の向上を図るとともに、住民の市政参加を促進することを目的とする。	町内会等育成奨励金交付世帯数: 406,437世帯	まちづくり	地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会	215,412	市民局地域政策課
11	市連合町内会長会運営補助金	市内の連合町内会組織との連絡協調を目的として活動する仙台市連合町内会長会の自主的な運営および活動に要する経費に対し補助金を交付する。	補助金交付実績:1件	まちづくり	仙台市連合町内会長会	3,000	市民局地域政策課
12	区連合町内会長協議会運営補助金	区内の連合町内会組織との連携協調を目的として活動する区連合町内会長協議会の自主的な運営および活動に要する経費に対し補助金を交付する。	補助金交付実績:5件	まちづくり	区連合町内会長協議会	3,751	市民局地域政策課
13	地区連合町内会運営補助金	地域内の町内会等の連携協調を目的として活動する連合組織の自主的な運営および活動に要する経費の一部を補助することにより、市民生活の向上等を目的とする。	補助金交付実績:113件	まちづくり	地区連合町内会	11,800	市民局地域政策課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
14	地区集会所建設等補助金	地域のコミュニティの形成を図るため、地域における住民活動の拠点となる集会施設を新築・増築・改築・修繕・建物区分購入しようとする者に対し、予算の範囲内においてその経費の一部を補助する。	補助金交付実績:32件	まちづくり	地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会	54,695	市民局地域政策課
15	地区集会所借上補助金	地域のコミュニティの形成を図るため、地域における住民活動の拠点となる集会施設を借上により確保しようとする者に対して、その経費の一部を補助する。	補助金交付実績:10件	まちづくり	地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会	1,321	市民局地域政策課
16	屋外掲示板設置補助金	町内会等が屋外掲示板を設置しようとする場合において、経費の一部を補助する。	屋外掲示板設置実績:29基	まちづくり	地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会	917	市民局地域政策課
17	協働まちづくり推進助成事業	【鶴が丘コミュニティと大学&学生群による「健康づくり協働キャンパス」プロジェクト】 多世代交流の健康づくりをテーマとして、町内会と大学が連携しながら、コミュニティ食堂や交流セミナー等を実施し、誰もが地域でつながりあって元気に住み続けられる環境づくりを行う。	・町内への健康だよりの配布 2回実施 ・地域主催の食交流・コミュニティ食堂の開設 6回実施 ・アウトドア活動の実施 3事業実施 ・お茶の間学習教室の実施 週2回実施	健康福祉・医療,まちづくり,子どもの健全育成	鶴が丘一丁目町内会、仙台白百合女子大学	2,894	市民局市民協働推進課
18	【作並・新川地区の魅力増進による活性化推進事業】 作並・新川地区の地域資源を発掘、磨き上げるにより、魅力あふれる地域づくりを行い、交流人口の増加を目指す。	・地域周遊観光マップの作製 5,000部発行 ・観光案内人の養成 3人を養成 ・新川分校跡施設を活用した事業の実施 キャンプなど2事業実施 ・ホームページの運用やシンボルマークの公募といった観光プロモーションの実施	まちづくり,地域経済活性化	特定非営利活動法人作並・新川地区活性化連絡協議会、作並地区連合町内会、作並温泉旅館組合	2,259		
19	【関山街道・さくらプロジェクト】 桜を切り口に関山街道沿いの取り組みをつなぐとともに、桜の写真コンテストの実施やフォーラムの開催等により地域の魅力を発信することで、観光客や交流人口の増加を目指す。	・関山街道・桜フォトコンテストの実施 61作品の応募 ・さくらシリーズ講座の実施 3回実施 ・桜をテーマに取り組む団体との交流 2回実施 ・その他桜をテーマとしたイベントの実施 (樹木調査、植樹会など)	まちづくり,地域経済活性化	関山街道フォーラム協議会、愛子宿めぐり実行委員会	1,800		

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
20	[前ページ続き] 協働まちづくり推進助成事業	【子どもの夢をかなえるプロジェクト(ゆめのおむすび)】 学校や社会の中で生きづらさを感じ、周囲の理解と支援を必要としている子どもたちに対して、社会に馴染むための環境を定期的に提供し、子どもたちが自分の夢や目標をかなえるためのサポートを行う。	・おひるねアートの実施 4回実施(延べ25人の子供が参加) ・絵画・工作教室の実施 6回実施(延べ37人の子供が参加) ・アロマクラフトの実施 2回実施(延べ11人の子供が参加) ・料理教室の実施 4回実施(延べ24人の子供が参加) ・音楽教室の実施 16回実施(延べ45人の子供が参加)	社会教育, まちづくり, 子どもの健全育成	仙台駆け込み寺、一般社団法人SC.FIELD	855	
21	若者の社会参加促進事業	【仙台若者アワード】 社会課題の解決に寄与する取り組みを行う若者団体の認知度や構成員のモチベーションを高めるとともに、若者が活躍できる環境づくりに資することを目的に、社会や地域の課題解決に寄与する優れた取り組みを行っている若者団体の表彰および活動実践の伴走支援を行う。	若者団体の社会や地域の課題解決に寄与する活動実績の募集を行い、若者団体のオンラインプレゼンテーションによる審査・表彰を行うと共に、活動実践の伴走支援を行う部門を新設し、地元企業と若者団体が協働する取り組みを支援した。 説明会(オンライン):5回 一次審査(ヒアリング):2回 最終審査(プレゼンテーション):1回 参加団体:17団体	まちづくり, その他	一般社団法人ワカツク、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	500	市民局市民協働推進課
22		【仙台まちづくり若者ラボ】 若者自らが「自分ごと」として関われるまちづくりに関するテーマを設定してワークショップとフィールドワークによる実践的なプログラムを実施し、その成果を発信するとともに、まちづくり活動の担い手となる若者の発掘・育成を目指す。	まちづくり等に関心のある若者を広く募集し、若者の視点で仙台のまちづくりの課題をテーマとして、課題に対する話し合いや取り組みなどの実践活動を行った。その成果と若者たちが自ら取り組む「アクションプラン」を発表する報告会を実施した。 参加者数:29人	まちづくり, その他	株式会社JTB	1,580	
23	仙台市市民活動サポートセンター指定管理における各種事業	市民活動の促進に関する事業(施設および設備の提供、連携交流の推進、情報収集および提供、人材育成、相談、調査研究等)および協働の推進に関する事業(機会の提供、情報収集および提供、事業の支援、調査研究等)を実施する。	仙台市市民活動サポートセンターを運営し、市民活動の促進に関する事業、協働の推進に関する事業を実施した。 総利用件数:8,376件 総利用者数:20,807人	その他	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター	7,556	市民局市民協働推進課
24	市民活動スペース(エル・パーク仙台)管理運営	男女共同参画に取り組むさまざまな市民グループの活動を支援するため、活動の場の提供、関連情報の収集と提供、市民活動相談などを行うオープンスペースを設置している。市民活動支援機能の充実を図るため、特定非営利活動法人に委託し、市民協働による運営管理を行っている。	利用者数(オープンスペース):410人 ワークステーション利用回数:821回	男女共同参画社会	特定非営利活動法人イコールネット仙台	11,244	市民局男女共同参画課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
25	仙市民間シェルター入所者支援等事業補助金	女性に対する暴力の根絶およびDV被害者に対する支援のため、特定非営利活動法人の運営する民間シェルター入所者に対する支援、DV被害者からの電話・面接相談等の実施に係る経費を補助する。	民間シェルター入所者に対する支援およびDV被害者からの電話・面接相談等の実施に係る補助金の交付を実施した。	男女共同参画社会	(DV被害者の安全確保の観点から、非公開)	2,394	市民局男女共同参画課
26	多様な性のあり方に係る居場所づくり事業	性的少数者などが抱える孤独や不安の解消の一助および多様な性のあり方についての理解促進を図るため、安心して過ごせる居場所を設ける。 ※平成30年度から令和元年度にかけて行った市民協働事業提案制度採択事業「にじいろ協働事業」において行った事業の一部を市が引き継いで実施するもの。	8月～令和3年2月の間、月1回開催した。 1回あたりの平均参加者数:10.4人 ※令和3年3月は新型コロナウイルスの感染防止の観点から開催を見送った。	男女共同参画社会	一般社団法人プレスみやぎ	427	市民局男女共同参画課
27	防犯活動支援事業	犯罪のない安全な地域づくりのため、地域の自主的な防犯活動を実施する防犯協会等の運営に要する経費に対し、補助金を交付する。	補助金交付実績:80件	まちづくり、地域安全活動	仙台市防犯協会連合会、各地区防犯協会連合会、各単位防犯協会	22,099	市民局市民生活課
28	仙台市地域安全安心まちづくり事業	地域ぐるみの安全なまちづくりを促進し、もって市民が安全に暮らすことのできる地域社会の実現を図るため、地域において自主的な防犯活動を行う団体の活動に要する経費に対し、補助金を交付する。	安全安心まちづくりに自主的に取り組む地域の防犯ボランティア団体の活動への支援を実施した。 補助金交付実績:18件	まちづくり、地域安全活動	概ね単位町内会の区域から小学校学区程度の範囲の地域において、自主的に結成された団体	1,492	市民局市民生活課
29	国分町地区安全安心街づくり推進	仙台市安全安心街づくり条例に基づき、安全安心街づくり活動重点推進地区に指定する国分町地区における犯罪防止等を目的とした安全安心街づくりを推進するとともに、市民および来訪者にとって安心して楽しめる街・健全で魅力ある街づくりの取り組みを推進する。	国分町地区安全安心街づくり推進協議会等と連携し、下記の事業を行った。 夜間パトロール:12回 環境美化活動:1回 国分町地区安全安心パレード:1回	まちづくり、環境、地域安全活動	国分町地区安全安心街づくり推進協議会	3	市民局市民生活課
30	各区安全安心街づくり活動推進モデル地区事業	仙台市安全安心街づくり条例に基づき、各区において指定する安全安心街づくり活動推進モデル地区において、町内会、防犯協会、学校、区役所等が連携し、先導的かつ模範的な安全安心街づくりを推進する。	各区モデル地区において、町内会等が連携して防犯啓発活動などの安全安心街づくりに向けた事業を実施した。	まちづくり、地域安全活動	町内会、防犯協会等の地域団体、学校、警察	540	市民局市民生活課
31	山岳遭難防止活動団体に対する補助金	山岳遭難防止活動団体が行う山岳遭難防止事業に要する経費に対し、補助金を交付する。	補助金交付実績:3件	地域安全活動	宮城県山岳遭難防止対策協議会各支部	990	市民局市民生活課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
32	地域版避難所運営マニュアル作成	指定避難所ごとに市の避難所担当課を割り当て、担当課と町内会をはじめとする地域団体、学校などの施設管理者等の3者で避難所運営に関する話し合いを行い、顔の見える関係を築きながら、「仙台市避難所運営マニュアル」を参考に、「地域版避難所運営マニュアル」を作成する。マニュアルに基づき、避難所運営訓練の実施を推進するとともに、訓練を通して検証し、必要に応じマニュアルの修正を行っていく。	地域版避難所運営マニュアル作成等支援アドバイザーの派遣:3件 指定避難所195か所中193か所のマニュアル作成済み。	まちづくり、 地域安全活動	町内会等の地域団体、学校等の施設管理者	60	市民局市民生活課
33	市民協働事業提案制度採択事業:客引き対策(客引き規制条例)の実効性を高めることを目的とした「客引きを利用しない国分町のにぎわいづくり」	仙台市客引き行為等の禁止に関する条例の実効性を高めることを目的として、客引きを行っている店舗とそれを利用する客の双方に有用なツールを提供することで、客引き行為等をなくすための活動を実施する。	昨年度に引き続き、客引きを利用しない飲食店を探すことができる「国分町グルメガイドマップ」を作成した。客引きを利用せずとも飲食店と利用客を結びつけることができるマッチングツールを開発した。新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、今後、マッチングツールを稼働させるとともに、広報用ステッカー貼付による広報を実施する。	まちづくり、 地域安全活動	一般社団法人国分町街づくりプロジェクト	3,000	市民局市民生活課
34	杜の都の自転車プランに基づくモデル事業	各区・総合支所が選定した市内6か所のモデル地域において自転車ルール・マナーの啓発や教育活動を関係行政機関や地域の住民、学校等と連携して行い、意識の向上を促すとともに、市民に自転車利用のルール・マナーを理解してもらう。	定期的な街頭啓発、街頭や通学路における交通安全指導、学校や地域における交通安全教育などを行った。	地域安全活動	地域住民、学校、地区交通安全協会等	2,530	市民局自転車交通安全課
35	仙台市交通安全母の会連合会に対する補助事業	地域における交通安全活動を実施するボランティア団体の運営および活動費の一部を支援する。	新型コロナウイルス感染症の影響により活動を制限されながらも、市内各地域で交通安全啓発活動を行った。	地域安全活動	仙台市交通安全母の会連合会	897	市民局自転車交通安全課
36	市民協働事業提案制度採択事業:自転車を楽しむ「ファンライド」調査・発信事業	自転車を楽しむ「ファンライド」の市民・観光客への浸透や発展を目的とし、市民団体、企業、公共施設、専門家、行政が参画する協議会の開催や動画制作、自転車等交通のデータ収集および経路調査を実施する。	ファンライド協議会を発足し、市民団体、企業、公共施設、専門家、行政が、自転車利用環境づくりについて話し合う機会を創出した(計6回開催)。 市職員・市民モニターを対象とした自転車走行経路調査を実施した。得られたデータを専門家の協力のもと分析し、市内の自転車利用における課題抽出等に活用した。 協議会を通じてまとめた自転車活用の5つのコンセプトを、市民目線で発信する動画コンテンツ(計6本)を作成し、せんだいTubeにて順次公開している。	地域経済活性化	特定非営利活動法人都市デザインワークス	3,000	市民局自転車交通安全課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
37	消費生活パートナー事業	消費生活センターと地域をつなぐ担い手(パートナー)を養成し、連携して消費者啓発を行うことにより、消費者被害の未然・拡大防止および消費生活相談窓口の周知を図る。	消費生活パートナー養成講座やフォローアップ講座を実施するとともに、定期的に啓発等資料を送付して、地域における消費者啓発やパートナー活動を推進する取り組みを行った。 登録者数:51人	消費者保護	市民(公募による)	327	市民局消費生活センター
38	仙台市消費者団体活動補助金	消費生活に関する知識の普及や情報の提供等、消費生活の向上を図ることを目的として活動している団体に対し、事業への補助・情報提供等の支援を行う。	補助金交付実績:3件	社会教育、消費者保護	特定非営利活動法人消費者市民ネットとうほく、仙台市生活学校連絡協議会、特定非営利活動法人環境保全米ネットワーク	1,278	市民局消費生活センター
39	福祉避難所	介護など個々の対応が必要となるため、指定避難所での対応が困難な方の避難先となる福祉避難所について、介護施設等との協定締結を進める。	令和2年度協定締結施設:1施設(累計122施設)	健康福祉・医療	社会福祉法人七日会	1,318	健康福祉局総務課
40	小地域福祉ネットワーク活動推進事業	高齢者、障害者、子育て家庭等、誰もが住み慣れた地域で自立して安心した生活を送れるよう、見守り活動やサロン活動等の地域における支え合い・助け合い活動を推進するため、地区社会福祉協議会を実施主体として、町内会や民生委員児童委員、ボランティア団体等の福祉団体と連携しながら実施する地域福祉活動の費用の一部を社会福祉法人仙台市社会福祉協議会を通じて助成する。	助成金交付実績:104件	健康福祉・医療	地区社会福祉協議会	18,478	健康福祉局社会課
41	福祉まつり「ウェルフェア」	障害者の作品展やステージ発表など文化・芸術活動の発表の場を設け、障害者の創作意欲を助長するための環境の整備や必要な支援を行う。また、市民への障害に対する理解を促進するため、障害の有無にかかわらず、誰もが気軽に来場できる催しを開催する。	開催回数:1回(冬季屋内ウェルフェア・障害者週間記念式典のみ開催)	健康福祉・医療	仙台市障害者福祉協会(受託者)、その他実行委員会を構成する関係団体	974	健康福祉局障害企画課
42	難病医療相談会	患者や家族の療養上の不安を解消するため、医師、保健師、看護師等が病気の理解、不安の解消、療養生活等に関する助言・指導を行う難病医療相談会について、市と実施機関の協働により企画を行う。	実施回数:4回(MPC委託による実施2回、各区主催の実施2回)	健康福祉・医療	特定非営利活動法人宮城県患者・家族団体連絡協議会(MPC)	261	健康福祉局障害者総合支援センター

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
43	仙台市給食サービスボランティア助成事業	ひとり暮らし等の高齢者で、食事の準備が困難な方へバランスの取れた食事を提供することによる健康状態の維持、コミュニケーションの確保および孤立化の防止など、高齢者の介護予防に資するため、ボランティア団体等が行う給食サービス事業に対し助成を行う。	助成金交付実績:4件 延べ配食数:52,988食	健康福祉・医療	食事サービスふたばの会、高齢者配食サービスぽけっと・はうす、けやきグループ、高齢者配食サービス「ほっと亭」	17,711	健康福祉局高齢企画課
44	老人つどいの家(好日庵)	高齢者の教養向上、レクリエーション等のために利用する老人つどいの家「好日庵」を設置する者に対し助成を行い、高齢者の心身の健康増進を図る。	助成金交付実績:82件	健康福祉・医療	老人クラブ	27,953	健康福祉局高齢企画課
45	老人クラブ活動事業助成	高齢者の福祉の増進を図ることを目的として、老人クラブの活動に対し助成金を交付する。	助成金交付実績:415件	健康福祉・医療	老人クラブ	19,267	健康福祉局高齢企画課
46	仙台市ふれあいデイホームボランティア助成事業	ひとり暮らしや閉じこもりがちな高齢者等を対象とした生活指導や軽運動、食事の提供などを通じて、生きがいづくりや健康づくり、居場所づくりを行うボランティア団体への助成を行う。	助成金交付実績:9件 延べ実施回数:419回	健康福祉・医療	フラッシュグループ、特定非営利活動法人FOR YOUにこにこの家、ゆうゆう(結遊)、特定非営利活動法人ゆうあんどあい、ふれあいサロンかざとり、南光台ボランティア友の会けやきの会、特定非営利活動法人でんでん宮城いきいきネットワーク、ふれあいサロンとみざわ、湯元ゆのはな会	5,405	健康福祉局高齢企画課
47	住民主体による訪問型地域支え合い活動促進事業	要支援者等の利用対象者を新たに受け入れる、高齢者に対する生活支援活動(訪問型サービス)を実施しているボランティア団体等に対し、助成を行う。	助成金交付実績:10件	健康福祉・医療	向陽台ささえ愛の会、百縁ひろばネットワーク、桂ボランティアの会、太白お助けクラブ、特定非営利活動法人FOR YOUにこにこの家、特定非営利活動法人地域生活支援オレンジねっと、特定非営利活動法人暮らしのサポートセンター、特定非営利活動法人仙台傾聴の会仙台支部、鶴が丘はあとネット、一般社団法人MOTTO	850	健康福祉局高齢企画課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
48	認知症カフェ支援事業	認知症カフェの立上げや継続的な運営を支援することを目的として、研修や情報交換会を開催する。令和元年度から、認知症カフェに対して認知症当事者とパートナーを派遣して講話等を行う事業を実施。	①情報交換会(認知症カフェネットワークミーティング・認知症カフェセミナー)実施回数:2回 ・認知症カフェネットワークミーティング参加者数:33人 ・認知症カフェセミナー(オンデマンド配信)申込者数:593人 ②認知症カフェへの認知症当事者・パートナー派遣(出張おれんじドア):7か所	健康福祉・医療, まちづくり	認知症介護研究・研修仙台センター、認知症カフェ開催団体(認知症の人と家族の会宮城県支部、地域包括支援センター、認知症介護家族、特別養護老人ホーム、認知症対応型グループホーム等)	777	健康福祉局地域包括ケア推進課
49	被災者向け介護予防・コミュニティ形成事業	復興公営住宅で暮らす高齢者等は生活環境の変化の中で、ストレスなどから運動量が少なくなり、生活不活発病や閉じこもりが多くなる。これを防ぐために運動教室を実施し、生活機能改善を図り、新たな交流の場を提供することを目的とする。	実施回数:54回(市内3区全5か所) 参加者数:147人	健康福祉・医療, その他	町内会等の地域団体、地域包括支援センター等	3,075	健康福祉局地域包括ケア推進課
50	介護予防自主グループ支援事業	地域における介護予防活動の推進を目的に、介護予防運動サポーターの人材育成、介護予防自主グループ活動が継続するための後方支援を実施する。	・サポーター養成研修 実施回数:37回 参加者数:347人 ・スキルアップ研修 実施回数:35回 参加者数:503人 ・その他 実施回数:1回 参加者数:3人 ・市内234グループが活動中	健康福祉・医療	地域住民により自主的に結成されている介護予防自主グループ、地域包括支援センター	5,253	健康福祉局地域包括ケア推進課
51	認知症サポーター等養成事業	認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職場において認知症の人や家族を支援する「認知症サポーター」を養成するため講師を派遣する。なお、養成のための講師は、講座開催のために「キャラバン・メイト養成研修」を受けた「キャラバン・メイト」が担当し、原則ボランティアの立場で行う。認知症サポーターとして実際に活動している方の事例を紹介し情報を共有する「認知症サポーター情報交換会」も開催している。また、ご本人の思いや希望に耳を傾け、味方になって一緒に歩く人を「パートナー」と呼び、身近にいる当事者と話をし、やりたいことを手助けできる人を養成する「認知症パートナー講座」を実施する。認知症サポーター等を養成することにより、認知症の人や家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進する。	・キャラバン・メイト養成研修:1回(養成数28人) ・認知症サポーター養成講座:105回(養成数3,441人) ・認知症サポーター情報交換会:1回 ・認知症パートナー講座:5回 ・認知症パートナー講座指導者養成研修:1回	健康福祉・医療, まちづくり	「キャラバン・メイト」として登録された人、市民(認知症サポーター養成講座を受講した人等)	1,184	健康福祉局地域包括ケア推進課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
52	市民健康プラン推進(3歳児カリエスフリープロジェクト85)	3歳児のむし歯有病者率の低下を目指し、乳児期健診時に歯と口の健康づくりへの動機づけを行う。	・「せんだい☆でんたるノートF」、登録歯科医療機関ステッカーを作成し、8か月児から9か月児の保護者へ啓発を実施。 ・登録歯科医療機関を対象とした研修会(web開催):1回開催、参加者252人	健康福祉・医療	一般社団法人仙台歯科医師会、一般社団法人仙台市医師会	810	健康福祉局健康政策課
53	市民健康プラン推進(がん予防啓発)	民間企業と協定を締結し、がん検診等市民健診受診に関する啓発を行う。	企業との協定締結:累計22件	健康福祉・医療	アイリスオーヤマ株式会社他21企業・団体	352	健康福祉局健康政策課
54	歯と口の健康週間 市民のつどい	歯と口の健康週間に合わせ、歯と口の健康に関する正しい知識を市民に普及啓発し、適切な健康習慣の定着を図る。	絵画作品展示:来場者数250人	健康福祉・医療	東北大学大学院歯学研究科・歯学部、一般社団法人仙台歯科医師会、仙台市私立幼稚園連合会、宮城県栄養士会等	100	健康福祉局健康政策課
55	食育推進(大学生の食育プロジェクト)	食に関心の薄い年代に対する、同世代の学生による食に関する啓発の企画・実施を行う。	・令和元年度に同プロジェクトで作成した野菜レシピを大学等へ配布した。 レシピ配布数:300部 ・大学生の食育ワークショップについては新型コロナウイルス感染症の影響により中止	健康福祉・医療	管理栄養士養成大学の学生	100	健康福祉局健康政策課
56	看護師離職防止対策事業	看護師の離職防止を目的に医療機関等に勤務した新人看護師の研修事業を実施する。	卒後1年目研修:3テーマで計6回実施 卒後2年目研修:1テーマで計2回実施	健康福祉・医療	公益社団法人宮城県看護協会	1,019	健康福祉局健康政策課
57	食で健康サポート店事業	健康的な食生活の推進を目的に、栄養成分表示やバランスメニューの提供等を行っている飲食店等を登録する。	登録件数:90件	健康福祉・医療	市内飲食店、食料品販売店、給食施設	60	健康福祉局健康政策課
58	受動喫煙防止宣言施設事業	県、市、全国健康保険協会宮城支部の3者の連携事業。受動喫煙防止に取り組む施設を登録し、周知する。	令和2年度登録件数:31件 (累計:1,262件、うち市内施設:679件)	健康福祉・医療	事業所、飲食店等	—	健康福祉局健康政策課
59	こころの健康づくり事業(自死遺族等に対する支援事業補助)	自死遺族に対する支え合いの活動を行っている団体を支援する。	補助金交付実績:3件	健康福祉・医療	社会福祉法人仙台いのちの電話他2団体	600	健康福祉局健康政策課
60	せんだい健康づくり推進会議	健康づくりに取り組む関係団体および企業(ワーキング)と共に、健康づくりの取り組みを共有するほか、イベント実施等を通し、市民の健康づくり啓発に繋げる。	せんだい健康づくり推進会議を開催し、コロナ禍における健康づくりについて意見を募った(新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催)	健康福祉・医療	健康づくりを推進する関係団体および企業	—	健康福祉局健康政策課
61	収容動物の譲渡事業	動物管理センター(アニマル仙台)に収容された犬や猫の譲渡会を実施する。	収容動物譲渡会実施回数:37回	その他	特定非営利活動法人エーキューブ	—	健康福祉局動物管理センター

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
62	仙台市市民協働によるHIV・性感染症予防啓発及び検査受検促進事業	(1)HIV検査を受けたことがない方の受検促進 HIV検査を必要とする人が安心して検査に行くことができるように情報提供ウェブサイトとして平成27年度に開設した、「仙台HIVネット」の運営を継続し、その周知および充実を図り、これまでHIV検査を受けたことがない方の受検を促進する。 (2)MSM(男性間性交渉者)を対象とした受検促進 HIV感染のハイリスク層であるMSMを対象とした広告掲載、広報物の配布を行い、検査受検を促進する。	(1)HIV検査を受けたことがない方の受検促進 ・情報サイト「仙台HIVネット」の運営継続 閲覧件数:5,358件 ・Twitterを用いた情報発信:エイズ・性感染症情報発信、「仙台HIVネット」のPR (2)MSMを対象とした受検促進 ・MSM向けアプリケーション(バナー)広告 掲載回数:年1回、2週間 ・10月に仙台市が実施した「男性限定検査イベント in 仙台」のポスター、カードを作成し、市内のMSM向け商業施設に配布(12店舗、ポスター30部、カード200部)	健康福祉・医療, その他	やろっこ	221	健康福祉局感染症対策室(健康安全課)
63	赤十字奉仕団仙台市地区本部委員会献血事業補助金交付	献血推進のため、赤十字奉仕団が行う献血事業の活動を支援する。	補助金交付実績:1件	健康福祉・医療	赤十字奉仕団仙台市地区本部委員会	269	健康福祉局健康安全課
64	環境衛生改善機器等整備補助金交付	ハエ・蚊等の駆除用として動力薬剤散布機、地域に繁茂する雑草の除草用として動力草刈機、下水道処理区域でない私道に敷設する準公共的な排水設備を整備する事業に補助金を交付する。	補助金交付実績:37件	健康福祉・医療, 環境	町内会、連合町内会、衛生団体連合会、公衆衛生組織等	1,000	健康福祉局生活衛生課
65	仙台すくすくサポート事業	育児の援助を受ける方(利用会員)と育児の援助を行う方(協力会員)が会員となつて行う市民相互の育児援助活動であり、仙台すくすくサポート事業事務局が会員登録や仲介を行い、事務局のサポートや地域ごとの会員の統括等を協力会員の中から選任されたサブリーダーが行う。	日々の活動のほか、入会説明会の開催や会員向けの講習会等を実施した。	子どもの健全育成	協力会員	3,566	子供未来局総務課
66	のびすくネット仙台	コミュニティFM「ラジオ3」との共催により、子育て支援情報局「のびすくネット仙台」を放送している。毎週月曜日に仙台市の子育て支援の情報提供を行っている。	子育て支援に関する情報発信を行った。 放送回数:52回(うち半数は再放送)	子どもの健全育成, その他	ラジオ3(株式会社仙台シティエフエム)	—	子供未来局総務課
67	学習・生活サポート事業	生活困窮世帯の中学生に対し、学力の向上のための学習支援および心の安定を図る居場所の提供を行うとともに、その保護者への相談支援等を実施することなどにより、貧困の連鎖を防止することを目的とする。	平成25年度は太白区、平成26年度は太白区と青葉区でモデル事業を実施し、平成27年度より全区へ拡大した。 令和2年度参加者数:278人	健康福祉・医療, 子どもの健全育成	特定非営利活動法人アスイク	70,002	子供未来局子供家庭支援課、健康福祉局保護自立支援課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
68	子ども食堂助成金	子どもの健やかな育ちを応援するため、「子ども食堂」の運営を行っている、または行う予定の団体に対し、事業費の一部を助成する。	助成金交付実績:37件	子どもの健全育成	「子ども食堂」の運営を行っている、または行う予定の団体	6,728	子供未来局子供家庭支援課
69	仙台市青少年健全育成団体事業費等補助金交付	青少年の健全な育成を図るため、仙台市内で活動している青少年健全育成団体が行う事業等に対し補助金を交付する。	補助金交付実績:10件	社会教育, 子どもの健全育成	ガールスカウト仙台地区協議会、日本ボーイスカウト仙台地区協議会、仙台子どもまつり実行委員会、仙台市保護司会連絡協議会、更生保護法人宮城東華会、社会を明るくする運動仙台市推進委員会、仙台市子ども会連合会、仙台市子ども会育成会連合会、仙台市青少年健全育成協議会、仙台市児童・青少年健全育成大会実行委員会	3,368	子供未来局子供相談支援センター
70	仙台市地域子育て支援クラブ等活動補助金交付	仙台市地域子育て支援クラブ事業実施要綱に定める組織として、本市内で設立し活動する地域子育て支援クラブ等の活動に要する経費の一部を助成する。	補助金交付実績:84件	まちづくり, 子どもの健全育成	仙台市地域子育て支援クラブとして登録されている団体および、それらの団体の連絡協議会	8,646	子供未来局子供相談支援センター
71	市民協働事業提案制度採択事業:「ふれあい広場」連携拠点の試行による青少年の居場所に対するニーズの実証事業	「ふれあい広場」の連携拠点を市内複数設置することによって困難な状況に置かれた子ども・若者が求める居場所のあり方を検証する。	・毎週火～金9:30～16:00の間で3か所それぞれ2回ずつ週6回開所 ・毎月1回の運営会議 12回 ・毎月1回の支援スタッフの共同研修 12回	子どもの健全育成, その他	特定非営利活動法人アスイク	3,000	子供未来局子供相談支援センター
72	せんだいE-Action事業	市民、企業、行政などが協働して3E(省エネ・創エネ・蓄エネ)啓発に取り組むため「せんだいE-Action実行委員会」を組織し、各種普及啓発を行う。	・新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、集客型のイベントおよび「伊達な節電所キャンペーン」を中止。 ・Webを活用した取り組みとして、省エネ啓発動画の配信等を実施。(動画13本配信) ・緑のカーテンの普及(小学校1校)	社会教育, まちづくり, 環境	せんだいE-Action実行委員会	3,704	環境局環境共生課
73	杜の都の市民環境教育・学習推進会議事業 (FEELSendai)	市民・NPO・学校・事業者・行政等で構成する組織により、幅広いネットワークを活用しながら環境学習プログラムの実践や環境社会実験、啓発イベント等を企画し、環境に配慮する人を社会全体で育てていくため、環境教育・学習を推進する。	・新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、啓発イベント、市民活動団体等による環境社会実験企画、環境教育に携わる若い世代の育成事業を中止。 ・体験型環境学習プログラムを小学校等で実践した。 延べ実践件数:25件 ・Webを活用した取り組みとして、環境学習動画の配信等を実施。(動画7本配信)	社会教育, まちづくり, 環境, 子どもの健全育成	杜の都の市民環境教育・学習推進会議	1,258	環境局環境共生課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
74	アメニティ・せんだい推進協議会	市民団体・事業者・行政で構成する「アメニティ・せんだい推進協議会」を設置。平成29年度より市民参加を求める事業への提言および意見交換の場とする部会を設置。情報交換を行うほか、ごみ減量・リサイクルや環境美化を含めた環境問題について市民に広く訴えるため、イベントの開催や冊子の発行などさまざまな活動を行う。	・エコフェスタ2020をウェブサイト上で開催した。 アクセス数:15,505件 ・3R講師派遣事業を実施した。 実施回数:3回 ・冊子「3Rわかる本2021」を発行した。 発行部数:13,000部	環境	全環衛生事業協同組合、株式会社仙台市環境整備公社、一般社団法人仙台市集団資源回収業者協議会、特定非営利活動法人仙台・みやぎ消費者支援ネット、仙台市生活学校連絡協議会、みやぎ生活協同組合、生活協同組合あいコープみやぎ、ACT53仙台、公益社団法人仙台青年会議所、仙台生ごみリサイクルネットワーク、公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク、ペットボトルラベルはがし調査実行委員会	3,884	環境局家庭ごみ減量課
75	集団資源回収事業	資源物の有効利用を図るとともに、地域のコミュニティづくり等に資するため、地域における資源物(紙類・布類・アルミ缶等)の集団回収の実施団体に対し、回収量や実施回数に応じて、奨励金を交付するほか広報物の配付等を実施する。	実施団体に対し、奨励金を交付し、広報物として集団資源回収のてびき、リーフレットを配布した。 実施団体数:1,246団体	環境	町内会、子ども会等	67,979	環境局家庭ごみ減量課
76	地域清掃支援	「ごみの散乱のない快適なまちづくりに関する条例」に基づく清掃活動支援。公共の場所を清掃する団体、個人などに対し、ごみ袋の配布、火ばさみの貸与、ごみ収集の支援を行う。	ごみ袋配布枚数:大袋288,212枚 小袋86,409枚	環境	ボランティア清掃活動を行う市民、事業者、町内会等	7,260	環境局家庭ごみ減量課
77	仙台まち美化サポートプログラム	市民グループ、企業、学校などの団体が年6回以上、公共用地等の一定の区域を決めて清掃、除草等を行う場合、覚書を締結の上、ごみ袋の提供、火ばさみの貸出し、ごみの収集などの支援をする。	登録団体数:264団体	環境	ボランティア清掃活動を行う市民グループ、企業、学校等	—	環境局家庭ごみ減量課
78	クリーン仙台推進員制度	ごみの適正排出、減量・リサイクルの促進、生活環境の保全のため、地域で取り組むリーダーを育成するとともに、その活動を支援する。	クリーン仙台推進員:2,500人 クリーンメイト:1,710人	環境	町内会、クリーン仙台推進員、クリーンメイト	3,506	環境局家庭ごみ減量課
79	地域ごみ出し支援活動促進事業	ごみ出しが困難で一定の要件を満たす高齢者や障害のある方に対して、ごみ出し支援活動を行う地域の団体を対象に、活動実績に応じ、奨励金を交付する。	登録団体:36団体 支援世帯数:63世帯(※実績報告のあった世帯数) 支援実施回数:3,796回	健康福祉・医療, 環境	高齢者や障害のある方に対して、ごみ出し支援活動を行う地域の団体	532	環境局家庭ごみ減量課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
80	中心部商店街活性化促進事業	市中心部の8商店街振興組合等で構成される中心部商店街活性化協議会の運営の支援と中心部商店街の持続的発展のために賑わい創出や来街機会向上を推進する。	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等の開催は見送った。 仙台初売りの来街者に対し、検温や消毒など感染防止対策を行う特設コーナーを設けた。	まちづくり、地域経済活性化	中心部8商店街振興組合(名掛丁、クリスロード、おおまち、サンモール一番町、一番町一番街、一番町四丁目、本町、仙台朝市)	26,478	経済局地域産業支援課
81	商店街にぎわい創出事業・基盤整備支援	商店街等が地域の特性を生かし、交流人口拡大等にかかるイベント事業により地域のコミュニケーションを高め活力ある商店街づくりを行うためのイベント助成金をはじめ、商店街のソフト・ハード事業等を支援し商店街の持続的な活性化を図る。	商店街イベント助成事業:0件 商店街魅力向上支援事業:7件 商店街環境整備事業(名掛丁商店街防犯カメラ設置):1件 商店街ファンづくりサポート事業:0件 商店街交流促進事業:0件 新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等は未実施であった。	まちづくり、地域経済活性化	商店街振興組合および任意の商店会等	7,110	経済局地域産業支援課
82	東北大学IS研究センター	東北大学電気・情報系研究室と企業とのマッチング・コーディネート等により、域外の研究開発型企業との共同研究開発等の推進を通じて誘致活動を実施し、併せて、地域のIT関連企業の技術力向上や販路拡大・新ビジネス参入を支援する。	延べ来訪数:51社 延べ訪問数:444社 延べWEB会議数:1,167社 競争的資金獲得支援:5件	地域経済活性化	東北大学	24,151	経済局産業振興課
83	せんだい日本語講座	外国人住民を対象に行う日本語講座。青葉区中央市民センターを会場に、前期、後期と通年で基礎から上級まで13クラス実施する。講師は特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会が務める。	講座開催数:516回 受講者数:前期94人、後期103人	社会教育、国際交流・協力	特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会	1,960	文化観光局交流企画課
84	日本語ティールーム	外国人住民を対象に行う日本語講座(託児付)。八木山市民センターを会場に通年で実施する。講師は日本語ティールームボランティアが務める。	講座開催数:40回 受講者数:25人	社会教育、国際交流・協力	日本語ティールームボランティア	300	文化観光局交流企画課
85	日本語を母語としない子どもと親のための進路相談 宮城	日本語を母語としない親子のために、高校進学についての相談対応を行う。	「日本語を母語としない子どもと親のための進路相談 宮城」を9月より実施し、高校進学等に関する進路相談対応を行った。新型コロナウイルス感染症の影響で例年開催している相談会は中止し、インターネットによるガイドブックや説明動画等の情報発信に代えた。	国際交流・協力、子どもの健全育成	日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス実行委員会、宮城県国際化協会等	70	文化観光局交流企画課
86	外国につながる子どもサポートせんだい	日本語を母語としない外国人児童生徒をはじめとする、外国につながる子どもの支援を行う。	外国につながる子どもに関する相談対応およびコーディネーター派遣による支援の実施 相談受付:46件 コーディネーター派遣:8件	国際交流・協力、子どもの健全育成	外国人の子ども・サポートの会、特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会、外国人支援の会OASIS	957	文化観光局交流企画課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
87	日本語を母語としない小中学生のための夏休み教室	日本語を母語としない小中学生の学習の場を提供し、ボランティアによる日本語や教科の指導を行う。	「日本語を母語としない子どものための夏休み教室」を8月5日、8月7日の2日間オンラインで実施し、教科学習および日本語学習を行った。 参加者数：外国につながる子ども11人	国際交流・協力、子どもの健全育成	宮城教育大学、外国人の子ども・サポートの会、特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会	70	文化観光局交流企画課
88	仙台多文化共生センター相談業務	仙台多文化共生センターにて、各種相談サービスを行う。	相談受付数：2,949件 (日本人：901件、外国人：2,048件)	社会教育、まちづくり、国際交流・協力	外国人支援の会OASIS	15,507	文化観光局交流企画課
89	市民国際交流事業補助金	国際交流・国際協力・多文化共生等の活動を行う団体に対して、事業経費の一部を補助する。	補助金交付実績：3件	国際交流・協力	国際交流・国際協力・多文化共生等の活動を行う団体	265	文化観光局交流企画課
90	西部地区活性化助成事業	主要観光地である西部(秋保・作並定義・泉西部)地区において、同地域における観光振興の基盤強化や新たな観光資源の創出を促進し、交流人口の拡大および地域経済の活性化を目的に実施される地域活性化事業について助成する。	助成金交付実績：13件	まちづくり、地域経済活性化	西部(秋保・作並定義・泉西部)地区の区域内に活動拠点を有し、観光振興に寄与する活動を行う団体	7,110	文化観光局観光課
91	全日本大学女子駅伝対校選手権大会	大学女子日本一を決める駅伝大会を実施する。	全日本大学女子駅伝対校選手権大会を開催した。新型コロナウイルス感染症対策のため、沿道応援の自粛を要請した。	文化・芸術・スポーツ・学術	市学区民体育振興会連合会	14,250	文化観光局スポーツ振興課
92	スポーツコミッションせんだい	大規模スポーツ大会の開催・支援等による本市の地域活性化を図る。	スポーツイベントについての開催支援数：0件(新型コロナウイルス感染症の影響ですべての大会を中止) 大会誘致数：4件	文化・芸術・スポーツ・学術	スポーツボランティア団体、大学、報道機関、運輸機関	3,679	文化観光局スポーツ振興課
93	仙台市学区民体育振興会連合会育成補助	小学校区ごとに組織された学区民体育振興会の集合体で、地域住民すべてがスポーツ・レクリエーションに親しみながら健康増進を図り、その活動を通して地域づくりを進める。	仙台市学区民体育振興会連合会が行う地域住民を対象としたスポーツ振興に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。	文化・芸術・スポーツ・学術	市学区民体育振興会連合会、120学区民体育振興会	18,127	文化観光局スポーツ振興課
94	仙台市スポーツ協会育成補助	種目別競技団体による市民の体育を振興し、健全なるスポーツ精神を養成する。	仙台市スポーツ協会が行う各種競技会、体力・競技力向上等に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。	文化・芸術・スポーツ・学術	市スポーツ協会、区スポーツ協会	17,893	文化観光局スポーツ振興課
95	仙台市レクリエーション協会育成補助	市民のスポーツ・レクリエーション活動の振興と発展を図る。	仙台市レクリエーション協会が行うレクリエーションの普及・発展に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。	文化・芸術・スポーツ・学術	市レクリエーション協会、区レクリエーション協会	565	文化観光局スポーツ振興課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
96	公益財団法人仙台市市民文化事業団事業(支援・助成・協力)	市民の自主的な文化活動を支援し、新たな文化交流・創造・発信を図るための支援を行う。 ①助成事業:審査会を経て、評価項目に該当する事業の経費の一部を助成する。 ②協力事業:イベント等の制作面での協力を行う。 ③支援事業:公益財団法人仙台市市民文化事業団が発行する季刊誌「まちりよく」に情報を掲載し広報支援を行う。	①助成金交付実績:89件 ②協力件数:52件 ③支援件数:60件	文化・芸術・スポーツ・学術	事業を主催し実施する市内の団体(個人)、事業を主催し市内で実施する市外の団体(個人)	15,916	文化観光局文化振興課
97	仙台市文化プログラム	【SHIRO Atelier & Studio ― ともにつくる芸術劇場】 美術・演劇・舞踊・音楽・メディア芸術など多様な表現を介し、障害のある人たちの自由で規範にとらわれない表現を導き出す文化芸術活動を支援・推進していく。 ・環境づくり(事業の公益化):ネットワーク設置、情報交換、ワークショップ型勉強会の実施 ・表現の場づくり(裾野拡大):文化施設を活用した定期的なアトリエ&スタジオ事業 ・芸術作品の創造(才能の発掘育成):芸術性、話題性、革新性、独創性をともなう作品の創造 ・文化プログラムの評価と検証(社会的インパクト評価):障害のある人たちの芸術文化活動に関するショウケースとシンポジウム開催	①勉強会(計4回) 参加者:40人 ②アトリエ&スタジオ事業(計10回) 参加者:257人 ③障害のある人と芸術文化活動のオンライン大見本市 参加者:730人	文化・芸術・スポーツ・学術	特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン	3,028	文化観光局文化振興課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
98	[前ページ続き] 仙台市文化プログラム	【こどもおとなあそびなかまプロジェクト！のびのびーば！】 PLAY ART!せんだい(演劇企画集団LondonPANDA、特定非営利活動法人アートワークショップすんぷちよ、および特定非営利活動法人お茶っこケアによる協働グループ)と協働して、子どもと高齢者が共に演劇やダンス活動を楽しみ、遊び、交流する場を創造する。	<p><50歳から輝くステージ></p> <p>①演劇ワークショップ(計3回) 参加者:9人</p> <p>②英日オンラインによる映像共同制作 参加者:32人</p> <p>③映像上映&トークイベント 参加者:34人</p> <p><演劇教育事業></p> <p>①演劇と教育カタルバオンライン(計4回) 参加者:32人</p> <p>②教育者のための、はじめての演劇ワークショップオンライン 参加者:10人</p> <p>③平田オリザ特別講演会&ワークショップ 参加者:99人</p> <p>④共につくる、子どものための演劇プログラム 参加者:12人</p>	文化・芸術・スポーツ・学術	PLAY ART!せんだい	2,582	
99	まちづくり支援専門家派遣事業	【芭蕉の辻】 地域の課題整理と、住みやすい魅力あるまちづくり検討のための勉強会を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、地域に合った交通手段の実現のため、検討会を実施した。 派遣回数:計3回	まちづくり	芭蕉の辻まちづくり協議会	150	都市整備局都市計画課、 青葉区道路課
100		【あすと長町北部】 地域の課題整理と、住みやすい魅力あるまちづくり検討のための勉強会を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	勉強会の活動を支援するためのまちづくりアドバイザーを派遣した。 派遣回数:計5回	まちづくり	杜の広場にぎわいづくり協議会	250	都市整備局都市計画課、 地下鉄沿線まちづくり課
101		【通町地区】 地域の特性や課題の整理、まちづくり方針や整備イメージ等の作成に向けた勉強会等を実施する団体に対し、まちづくりコンサルタントを派遣し支援を行う。	コンサルタントを派遣し、まちづくり計画案作成活動の支援、まちづくり方針の検討・整理のための支援を行った。 派遣期間:4月1日～令和3年3月31日	まちづくり	青葉神社通りまちづくり協議会	583	都市整備局都市計画課
102		【片平地区】 地域の課題整理と、住みやすい魅力あるまちづくり検討のための勉強会を実施する団体に対し、まちづくりコンサルタントを派遣し支援を行う。	コンサルタントを派遣し、検討会議などを行った。 派遣期間:4月1日～令和3年3月31日	まちづくり	片平地区まちづくり会	990	都市整備局都市計画課、 青葉区まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
103	[前ページ続き] まちづくり支援専門家派遣事業	【元寺小路地区】 公園・広場のポテンシャルや利用ニーズを調査し、地域住民等が担い手となって公園を運営していくための勉強会を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、検討会議などを行った。 派遣回数:計5回+アンケート	まちづくり	1,2号公園及び藤村広場におけるイベント活性化委員会	350	都市整備局都市計画課、 宮城野区公園課
104		【肴町地区】 行政と連携しながら地域資源を活用した取り組みを行うことで、地域コミュニティの情勢とエリア価値の向上を図ることを目的とした勉強会を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、検討会議などを行った。 派遣回数:計3回	まちづくり	肴町エリアまちづくり協議会設立準備会	150	都市整備局都市計画課、 都心まちづくり課
105		【榴岡一丁目二番地区】 来街者と地区内の人々など、様々な世代の交流拠点を創出することを目的とし、併せて賑わいを宮城野通の東側に向けて連鎖的に広げるために勉強会を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、検討会議などを行った。 派遣回数:計6回	まちづくり	榴岡一丁目二番地区まちづくり勉強会	300	都市整備局都市計画課、 都心まちづくり課
106		【南小泉地区】 普段利用している近所の道を歩き、安全に避難や通行ができるかを確認することで、防災意識の向上を図ることを目的とした活動を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、検討会議などを行った。 派遣回数:計3回	まちづくり	東文化会防災さんぽ実行委員会	150	都市整備局都市計画課、 若林区街並み形成課
107		【中原地区】 地域の活性化を図りながら、災害に対する安全性・防災性の向上と良好な生活環境の形成に取り組み、幅広い世代が安心して住むことができるまちづくりに取り組むことを目的とした勉強会を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、検討会議などを行った。 派遣回数:計2回	まちづくり	中原振興会 まちづくり部会	100	都市整備局都市計画課、 宮城野区街並み形成課
108	東部地域移転跡地利活用推進事業	防災集団移転後の七北田川以南の5地区(南蒲生、新浜、荒浜、井土、藤塚)の跡地について、市民・事業者など、民間が自由な発想で自ら取り組む新たな土地利用を進める。	・事業者決定数:1事業者(累計15事業者) ・事業開始事業者数:7事業者(累計9事業者)	まちづくり	移転跡地利活用事業候補者	1,454,467	都市整備局市街地整備課(復興まちづくり課)

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
109	生活交通運行維持対策事業	【青山地区】 青山地区に合った交通手段を実現するために設立された地域住民組織による、持続可能な地域の足の確保に向けた取り組みを支援する。	青山地区交通検討会での検討の場に参加し、地域住民、関係するバス事業者や区役所とともに検討を行った。安全なバスの運行のために設置した大型車感知システムの維持管理を行った。	まちづくり	青山地区交通検討会	554	都市整備局地域交通推進課(公共交通推進課)
110	みんなで育てる地域交通乗り乗り事業	【燕沢地区】 燕沢地区において、地域が主体となって運営する燕沢乗合タクシー「のりあい・つばめ」の取り組みを支援する。	地域交通の運行に関する専門家(コンサルタント)を派遣した。実証運行を支援するため補助金を交付した。	まちづくり	燕沢乗合タクシー運営協議会	9,529	都市整備局地域交通推進課(公共交通推進課)
111		【坪沼地区】 坪沼地区において、地域が主体となって運営する坪沼乗合タクシー「つばぬま号」の取り組みを支援する。	乗合タクシーの運営を支援するため、補助金を交付した。	まちづくり	坪沼乗合タクシー運営協議会	2,092	
112		【新川地区】 新川地区において、地域が主体となって運営する新川地区地域交通「ハツ森号」の取り組みを支援する。	地域交通の運行に関する専門家(コンサルタント)を派遣した。試験運行を支援するため補助金を交付した。	まちづくり	新川地区地域交通運営検討会	7,926	
113		【秋保地区】 秋保地区において、地域が主体となって運営する秋保地区地域交通「ぐるりんあきう」の取り組みを支援する。	地域交通の運行に関する専門家(コンサルタント)を派遣した。試験運行を支援するため補助金を交付した。	まちづくり	秋保地区の交通を考える会	6,809	
114	マンション管理適正化推進事業	マンション管理の適正化の推進のため、専門家団体・行政等が、マンションの管理組合の管理運営を支援する。 市はマンション管理支援ネットワーク事業の委託、会議への参加等を、宮城県マンション管理士会は、マンション管理基礎セミナー等の企画立案や事務局としてネットワーク構成団体との調整を、その他の団体は各種事業の実施に伴う人的派遣や知的情報の提供を行う。	・情報提供啓発事業 マンション管理基礎セミナー:1回 公開相談会(セミナー併設)、 管理入門講座(セミナー併設)、 相談窓口等一覧の作成および 管理組合向けに配布 ・ネットワーク運営 全体会議(1回)、 運営会議(6回)、 各種部会(計6回) ・各団体相談事業(日常の相談対応、公開相談会の開催等)	その他	マンション管理支援ネットワーク せんだい・みやぎ(事務局:一般社団法人宮城県マンション管理士会)	3,686	都市整備局住宅政策課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
115	住民モビリティ・マネジメント	住民、交通事業者、行政が参加するワークショップ(WS)を開催し、公共交通に関する情報の提供を行うとともに、住民が公共交通機関の利用について考える機会と場の提供を行い、自発的な行動変容を促すことで、過度な自動車利用からの脱却および路線バス利用の促進を図るもの。	川平地区および鶴ヶ谷地区の児童および保護者を対象に、「バスの体験教室(WS)」を開催した。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、その他予定していたWSは中止している。	まちづくり	川平地区関係町内会、鶴ヶ谷地区関係町内会のうちWSの参加者	5,292	都市整備局公共交通推進課
116	まち再生・まち育て活動支援事業	【仙台駅東地区】 仙台駅東エリアの活性化に向けたエリアマネジメント活動の検討を行う団体に対し、支援を行う。	エリアマネジメント活動推進団体の運営支援および、同団体が行う道路・公園などの公共空間や民地のオープンスペース等を使った実験的な試み(イベントの開催)の企画支援を行った。また、道路占用許可のコロナ占用特例を活用したテラス営業などを支援した。 民有地対象物件数:1件 公共空間対象物件数:4件	まちづくり	仙台駅東まちづくり協議会	620	都市整備局都心まちづくり課
117		【青葉通地区】 青葉通エリアの活性化に向けたエリアマネジメント活動の検討を行う団体に対し、支援を行う。	エリアマネジメント活動推進団体の運営支援および、同団体が行う道路・公園などの公共空間や民地のオープンスペース等を使った実験的な試み(イベントの開催)の企画支援を行った。また、道路占用許可のコロナ占用特例を活用したテラス営業などを支援した。 民有地対象物件数:0件 公共空間対象物件数:2件	まちづくり	青葉通まちづくり協議会	事業番号 116と共通	都市整備局都心まちづくり課
118		【肴町地区】 肴町公園周辺エリアの活性化に向けたエリアマネジメント活動の検討を行う団体に対し、支援を行う。	エリアマネジメント活動推進団体の運営支援および、同団体が行う道路・公園などの公共空間や民地のオープンスペース等を使った実験的な試み(イベントの開催)の企画支援を行った。また、道路占用許可のコロナ占用特例を活用したテラス営業などを支援した。 民有地対象物件数:1件 公共空間対象物件数:2件	まちづくり	肴町エリアまちづくり協議会設立準備会	事業番号 116と共通	都市整備局都市計画課、 都心まちづくり課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
119	[前ページ続き] まち再生・まち育て活動支援事業	【荒井東地区】 荒井東エリアの活性化に向けたエリアマネジメント活動の検討を行う団体に対し、支援を行う。	エリアマネジメント活動推進団体の運営支援および、同団体が行う道路・公園などの公共空間や民地のオープンスペース等を使った実験的な試み(イベントの開催)の企画支援を行った。 民有地対象物件数:1件 公共空間対象物件数:0件	まちづくり、文化・芸術・スポーツ・学術、地域安全活動	一般社団法人荒井タウンマネジメント	—	都市整備局地下鉄沿線まちづくり課
120	ストック活用型都市再生推進事業(せんだいリノベーションまちづくり)	遊休不動産を所有する不動産オーナーや起業を目指す方々へ、リノベーションまちづくりに関する情報発信を行うことに加え、シンポジウムやセミナーの開催を通じて、継続的にまちづくりに携わる意欲のある人材の発掘・育成を図るとともに、リノベーションまちづくりを持続的に担う民間主導の体制構築を目指す。 また、民間不動産のリノベーションや公共空間の利活用を推進することでエリア全体の価値を高め、新たな賑わいを創出するとともに、魅力ある都市空間の構築を目指す取り組みを行う。	人材の発掘・育成を目的に、10月に「せんだいリノベーションまちづくりシンポジウム」と令和3年2月に「まちのスマールビジネスコンテスト」を開催した。 過年度に実施したスクールの受講生が主体となり、道路・公園などの公共空間や民地のオープンスペースなどを使った実験的な試み(イベントの開催)への支援を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施出来なかった。 また、道路占用許可のコロナ占用特例を活用した歩道空間におけるテラス営業を支援した。 セミナー等の開催数:2回 民間不動産対象物件数:3件 公共空間対象物件数:0件	まちづくり	せんだいリノベーションまちづくり実行委員会の委員が主体となる地域団体	7,930	都市整備局都心まちづくり課
121	市民協働事業提案制度採択事業:肴町スモールエリアマネジメントに向けた社会実験	肴町公園や肴町公園周辺の街路空間等のパブリックスペースに関する基礎調査、地域ワークショップの実施、広報誌の発行、肴町公園とその周辺の街路空間における社会実験を行い、地域コミュニティの核となる公共空間の創造に向けた議論と課題抽出を行う。	基礎調査・ワークショップを実施、広報誌とSNSを発信した。 7月17日～令和3年3月24日まで晩翠通りの歩道空間にテラス席を設置する社会実験を実施したが、肴町公園の社会実験は新型コロナウイルス感染症の影響により実施出来なかった。	まちづくり	Sendai Development Commission株式会社	2,745	都市整備局都心まちづくり課
122	私道等整備補助	私道等の整備補助金交付要綱に基づき、町内会等が一般公衆の用に供されている私道の整備または災害復旧を行う場合、一定の要件を満たすものについて市がその経費の一部を補助する。	補助金交付実績:24件	地域安全活動	町内会等	62,462	建設局道路管理課
123	街路灯整備補助	仙台市街路灯補助金交付要綱に基づき、町内会等が私道に街路灯を設置する場合に、市がその経費の一部を補助する。	補助金交付実績:143件	地域安全活動	町内会等	15,908	建設局道路管理課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
124	街路灯電気料補助	町内会等が私道に設置している街路灯の電気料について、市がその経費の一部を補助する。	補助金交付実績:572件	地域安全活動	町内会等	27,319	建設局道路管理課
125	仙台雪道おたすけ隊	市が管理する道路の除雪を行う地域の任意団体を対象に、凍結防止剤の提供や除雪作業物品等の貸与を行う。	登録団体数:69団体 (うち令和2年度登録団体数:6団体)	地域安全活動	仙台雪道おたすけ隊登録団体	—	建設局道路保全課
126	仙台市歩道等除雪機械購入補助金	市が管理する道路の除雪を行う団体を対象に、小型除雪機械の購入に対し、購入金額の9割を補助する。	補助金交付団体数:120団体 (うち令和2年度補助金交付団体数:6団体)	地域安全活動	仙台雪道おたすけ隊登録団体、町内会	1,702	建設局道路保全課
127	ふるさとの杜再生プロジェクト	復興のシンボルのひとつとなる事業として、市民・NPO・企業等の力を結集し、海岸防災林や海岸公園、居久根など、東部地域のみどりの再生に取り組んでいく。また、地元町内会、NPO、復興支援団体、緑の活動団体、仙台市公園緑地協会等が参加する「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議」を設置し、プロジェクトへの市民参加のプラットフォームとする。	・仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議開催数:6回 ・市民植樹の実施回数:1回 ・市内の児童生徒との協働による植樹・育樹:1回 ・育樹会の実施回数:8回	まちづくり, 環境	仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議	36,000	建設局百年の杜推進課
128	緑の活動団体の認定 緑の活動団体助成金	みどりの協働の担い手を得ること、市民が広くみどりづくりに参加しやすい環境をつくることを目的に、「杜の都の環境をつくる条例」に基づき、緑の保全・創出・普及活動を行う団体を認定する。また、その活動に対し助成金を交付する。	緑の活動団体認定団体数:26団体 助成金交付実績:6件	まちづくり, 環境	緑の活動団体	348	建設局百年の杜推進課
129	花壇づくり助成事業	地域の公有地(学校除く)に10㎡以上の花壇をつくる町内会や老人クラブ、子ども会など地域の団体を対象に、材料や管理にかかる費用の一部を助成する。	公益財団法人仙台市公園緑地協会による助成金交付実績:263件	まちづくり, 環境	地域団体等	9,550	建設局百年の杜推進課
130	花いっぱいまちづくり助成事業	道路や広場等公共の空地、道路に面するショーウィンドウ等にプランター・花壇・つり花などを設置する商店街を対象に、材料や管理にかかる費用の一部を助成する。	公益財団法人仙台市公園緑地協会による助成金交付実績:5件	まちづくり, 環境	商店街	1,680	建設局百年の杜推進課
131	緑化木植栽助成事業	緑豊かな街並み形成を目的に、自らの労力で直接樹木を植栽しようとする町内会や老人クラブ、市民活動団体などを対象に、植栽に要する資材の費用の一部を助成する。	助成金交付実績:1件	まちづくり, 環境	地域団体等	99	建設局百年の杜推進課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
132	市民協働事業提案制度採択事業: 「花降るペDESTリアンデッキ」	ペDESTリアンデッキに「杜の都、仙台」としての風景を作り出すことを目的とし、宿根草や樹木を基本としたナチュラルスティックガーデンを作る。	6月に仙台駅前ペDESTリアンデッキの植栽帯で、草花などを協力企業や市民の方々と植えた。また草花の名札を設置し、Web植物図鑑を作り、植物を見る人の関心を引く仕掛けづくりを行った。	まちづくり	一般社団法人花降る街仙台	3,000	建設局百年の杜推進課
133	仙台市公園愛護協力会	公園ごとに組織され、公園の除草清掃、遊具施設の点検通報活動、園芸講習会や適正利用等に関する公園愛護思想の普及など地域におけるきめ細かな活動に取り組み、地域コミュニティづくりにも貢献する。	結成数:1,330団体	まちづくり, 環境	仙台市公園愛護協力会各会	42,087	建設局公園課
134	仙台市河川愛護会	河川環境美化活動を地域社会の運動として広く普及・推進するため、各河川愛護団体の連合組織として昭和43年に結成。現在では、20団体が加盟し、各愛護団体が市域内の河川・水路の美化活動に取り組む。	延べ延長:956,871m 延べ参加人数:12,087人	環境	仙台市内の各河川愛護団体	1,300	建設局河川課
135	広瀬川1万人プロジェクト	杜の都・仙台のシンボルである広瀬川の自然環境を守り、多くの市民が親しめる川とするため、100万都市仙台の1%・1万人をキーワードとして、毎年春と秋に行う広瀬川流域一斉清掃をはじめとして、市民・企業・行政などで実行委員会をつくり活動を展開する。	春の一斉清掃は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 秋に広瀬川流域の一斉清掃を実施した。 参加人数:1,273人、回収ごみ量:204袋(回収ごみ量は家庭用ゴミ袋大換算)	まちづくり, 環境	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会	—	建設局河川課
136	区民協働まちづくり事業-企画事業: 仙台伝統ものづくり塾	仙台の地域に残る伝統民芸を理解し、ものづくりを体験することで歴史の中に息づく生活文化としてのものづくりの奥深さと、体験を通して得た達成感や知識を家庭、地域や職場で話題として取り上げ広く周知していく。	7月には小学生家族を対象に、兜のお面づくり教室、11月には和菓子職人を招いて和菓子づくりの講話と実演、令和3年1月には仙台味噌の特徴や歴史を学ぶ講話と仙台味噌の仕込み体験を行った。 参加者数:60人(3回実施)	文化・芸術・スポーツ・学術	仙台伝統ものづくり塾実行委員会	105	青葉区まちづくり推進課
137	区民協働まちづくり事業-企画事業: 仙台の昔を伝える紙芝居作り・上演	仙台のひとや歴史、民話、名産物など次代に伝えていきたいことを題材とした紙芝居を企画制作し、さまざまな機会や場所において上演するもの。紙芝居上演体験を実施し、上演者の養成も行っている。	地底の森ミュージアムや八幡杜の館での紙芝居上演会および36作品目となる新作紙芝居の制作を行った。紙芝居の貸出、販売も行っている。 貸出:4件(5作品)、販売:5件	文化・芸術・スポーツ・学術	仙台の昔を伝える紙芝居作り・上演実行委員会	200	青葉区まちづくり推進課
138	区民協働まちづくり事業-企画事業: ほたるの里づくり	ホテルに関するイベントなどを通じて、大勢の区民のホテルに対する関心と、ホテルを大切にす運動を盛り上げるとともに、ホテルの保護や、その生息環境の維持保全等に努めている。	ホテルが住める環境づくりのための水辺の清掃活動や、各地区でホテル観賞会を開催した。また、令和2年度から「ホテルの里親の会」を立ち上げ、飼育することを通して自然環境の維持保全等に積極的に関わる人材の育成に取り組んだ。	まちづくり, 環境	仙台市ほたるの里づくり協議会	870	青葉区まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
139	区民協働まちづくり事業-企画事業: 回文の里づくり事業	「幕末の廻文師仙代庵」が作並を詠んだ回文碑が旧作並街道にあった縁を生かし、回文をことば遊びの文化として発展させるとともに、作並地区の魅力あるまちづくりを目的として、「子ども回文コンクール」や「回文コンテスト・交流大会」などを企画、開催する。	夏に募集した「子ども回文コンクール」の開催が見送られるなど、複数の活動が制限されたが、「日本ことば遊び回文コンテスト」は12月に募集を行い、1月の実行委員会の中で応募作品(358作品)の審査を行った。また家族や小グループで楽しめる回文づくり企画の検討も行った。	地域経済活性化	仙台・作並回文の里づくり実行委員会	700	青葉区宮城総合支所まちづくり推進課
140	区民協働まちづくり事業-企画事業: 宮城地区まつり	まつりにかかわる人の交流によりコミュニティの活性化を図るとともに、観光資源や伝統文化などの情報を発信して、地域活性化やふるさと意識を喚起することを目的として地区まつりを開催する。	まつりは中止となったが、次年度開催にむけて、コロナ禍を意識した新しいまつりの在り方を検討するために、出店者や出演者、まつり関係者、学生等を中心とした企画運営チーム(15人)を12月に新たに組織し、リモート開催1回を含む計4回のミーティングを実施した。	まちづくり	いきいき宮城地区推進協議会、宮城地区まつり実行委員会	30	青葉区宮城総合支所まちづくり推進課
141	区民協働まちづくり事業-企画事業: 大倉ダムの魅力発信事業	地域資源である大倉ダムを活用し、人口減少の続く大倉・定義地区への交流人口の拡大と、西部地区の小中学校の児童生徒が描いた鯉のぼりを掲げることで、児童生徒の郷土愛を育むことを目指す。	5月の開催を見送り、9月20日～22日に大倉ダムの堤体やダム下公園に西部地区の小中学校の児童生徒による鯉のぼりを設置し、大倉ダムとその周辺の魅力を発信した。	まちづくり, 地域経済活性化	大倉ダムの魅力発信実行委員会	500	青葉区宮城総合支所まちづくり推進課
142	区民協働まちづくり事業-助成事業 (青葉区)	【「桜ヶ丘公園」を活用した文教地区にふさわしいまちづくり】 地域の公園で地域住民や小中学校が一体となって、花壇づくりや表示板の作成を行うことにより、地域の世代間交流の場として活用する。	花壇を作り、花の植栽を実施したほか、花の表示板やウォーキングコースの表示板作成を行った。 企画会議の開催:4回 広報紙編集会議の開催:3回 植栽の実施:3回	まちづくり	桜ヶ丘学区連合町内会	271	青葉区まちづくり推進課
143		【仙台・芋沢自然薯まつり】 仙台・芋沢自然薯まつりを通して、地域の魅力と知名度アップを目指すとともに、地域間または地域内外の方々との交流を進めることによって、地域の活性化を図る。また、自然薯や米のブランド化を進めることによって、地域の新たな魅力創出を図り、地域課題解決につなげていく。	企画会議の開催:5回 イベント開催:1回(仙台・芋沢自然薯まつり)	地域経済活性化	仙台芋沢自然薯研究部会	300	
144		【里山 蕃山の登山道整備事業】 様々な団体や地域住民とともに蕃山の登山道整備を行うことで、蕃山の自然に触れ合う機会を創出し、地域の交流を促進する。地域コミュニティの活性化にもつなげる。	蕃山の登山道(大梅寺コース)整備を完了した。 企画会議の開催:1回 広報紙発行:2回	まちづくり	折立学区町内会連合会	478	

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
145	[前ページ続き] 区民協働まちづくり事業-助成事業 (青葉区)	【仙台市中心部アーケードにおけるアート交流による魅力づくり事業】 作品展示とお絵かきカフェ、ものを作り出すハンドメイド作家のマルシェを実施。アートの創造性を活用することで、さまざまな方との交流が生まれる居場所づくりを行う。	オンラインライブや展覧会などのイベントを実施した。 イベント開催:10回	健康福祉・医療	一般社団法人アート・インクルージョン	250	
146		【「ライトアートin折立」】 子どもが参加できる地域独自の行事としてライトアートを定着させ、大人世代も子ども世代も地域への愛着やふるさととの認識を向上させることを目指す。	12月に折立公園での光の装飾イベント「ライトアートin折立」を開催した。	まちづくり	折立素敵物語実行委員会	128	
147		【落合栗生地区史跡等の歴史めぐり事業】 落合栗生地区の歴史や史跡等について案内板を設置し、永く伝えるための継承者づくりもすすめることによって、地域への愛着心の向上や住民同士の結びつき強化へつなげる。	史跡等3か所への案内板の設置をはじめ、チラシの配布やポスターの掲示、来訪者へのガイドのための会員の研修を行った。	まちづくり、文化・芸術・スポーツ・学術	「落合栗生地区歴史めぐり」運営委員会	272	
148		【住みたい町、住みたい町・荒巻づくり事業】 住民同士による生活支援活動の拠点を開設することで、地域全体の支え合いやコミュニケーションを活性化させ、他地区への「支え合い事業」の水平展開を目指す。	梅田川の環境美化活動の実施や、高齢者に対する生活支援活動の拠点として、「支えあいセンター」を開設した。 また、安全安心タウンマップを作成・全戸配布し、災害への備えや地域の支援活動の役割についての周知も行った。	健康福祉・医療、まちづくり、環境、地域安全活動	荒巻地区まちづくり委員会	400	
149		【作並・新川地区の自然の魅力写真や絵葉書を通して広く発信する事業】 地域住民が四季折々の写真を撮影し、絵葉書として作成・販売することで、地域の魅力発信と住民同士のコミュニティ活性化を図る。	作並観光交流館ラサントにて、写真展を開催した。 企画打合せの開催:7回、オンライン会議数回	まちづくり	清瀬の会	256	
150		【御城下町方承継】 古地図等も用いた座学とまち歩きを通して、幅広い世代が歴史文化を学ぶ機会を創出する。また、イベント内容については、VRカメラで撮影し、アーカイブ化することで、誰もが気軽に楽しめる仕組みづくりを目指す。	街歩きや講話のイベントを開催した。 企画打合せの開催:5回 イベント開催:3回	文化・芸術・スポーツ・学術	Via仙臺	250	

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
151	[前ページ続き] 区民協働まちづくり事業-助成事業 (青葉区)	【青葉の風テラスを活用した屋外DJイベントにおける新たなコミュニティづくり】 市営地下鉄駅併設の屋外テラスを利用し、ウィズコロナ時代に即したDJイベントを開催する。ワークショップや県内食材を使用したテイクアウト等も実施し、幅広い世代が楽しめる機会を生み出す。	屋外テラスを利用したDJイベントを開催した。	まちづくり	一般社団法人 IKI ZEN	318	
148 と 同一事業	ふるさと底力向上プロジェクト: 荒巻包括ケアシステムモデル事業	荒巻地区において、高齢になっても住み慣れたまちで安心して暮らし続けることができるよう、地域特性を踏まえた支え合いシステムを地域と協働で構築する。	・「荒巻支え合いセンター」の運営 ・地域支え合いに関するチラシ等の地域内配布 (地域団体が区まちづくり活動助成を活用)	健康福祉・医療, まちづくり	荒巻地区福祉向上委員会(町内会、民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会、地域包括支援センター、赤十字奉仕団などで構成)	—	青葉区障害高齢課、 地域力推進担当 (ふるさと支援担当)
152	ふるさと底力向上プロジェクト: 学生の参加による地域づくり推進	大学や専門学校が多く立地する青葉区において、より多くの地域と学生を結び付け、学生の地域コミュニティ活動への参加を促進することにより、地域コミュニティの活性化につなげる。	地域での活動を希望する学生団体と地域団体とをマッチングし、学生団体の地域のイベントへの参加を促した。 活動実績:1件	まちづくり	町内会等の地域団体、区内大学の学生団体(サークル等)	—	青葉区地域力推進担当 (ふるさと支援担当)
153	ふるさと底力向上プロジェクト: 仙台萬本さくらプロジェクト	青野木地区・大倉地区において、住民・事業者・行政等からなる実行委員会を設置し、桜の名所づくりをはじめとする各種活性化事業に取り組む。	桜の苗の植樹本数:約1,500本	まちづくり	仙台萬本さくらプロジェクト実行委員会	—	青葉区宮城総合支所地域活性化推進室(ふるさと支援担当)
18 と 同一事業	ふるさと底力向上プロジェクト: 作並・新川地区活性化事業	作並・新川地区において、町内会・自治会、事業所、各種団体等が連携して、協議会を設置し、地域活性化に向けた取り組みを行う。	仙台市協働まちづくり推進助成事業を活用して、平成30年度に作成した活性化プランに基づき、地域活性化に向けた活動を行った。	まちづくり	特定非営利活動法人作並・新川地区活性化連絡協議会	42	青葉区宮城総合支所地域活性化推進室(ふるさと支援担当)
154	ふるさと底力向上プロジェクト: 先端技術を活用した宮城地区西部の課題解決事業	高齢化や人口減少が急速に進む宮城地区西部において、休耕地の増加や学校の統廃合に伴う跡地利用、鳥獣害の増加などの様々な問題をICT等の先進的な技術を用いて解決する。	検討会議:年7回実施 ・回覧板のオンライン化を目指し、テレビを使用したシステムとタブレット・スマホを使用したシステムの使い易さを比較するモニター調査を実施 ・農業の効率化、高収益化を目指し、農薬や肥料を使用しない早期湛水深水管理水稻栽培の実証実験を実施	まちづくり	宮城地区西部地域課題検討会議	10,838	青葉区宮城総合支所地域活性化推進室(ふるさと支援担当)
155	戦災復興展	昭和20年7月10日の仙台空襲で大惨事となった仙台のまちの復興に力を注いだ方々への感謝の念を新たにす場として、毎年仙台空襲のあった7月10日前後に戦災復興展を開催する。	戦災復興展を各種団体の協力により開催した。 来場者数:3,337人	社会教育, まちづくり	仙台の戦災・復興と平和を語り継ぐ会等	1,431	青葉区まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
156	青少年健全育成事業 子供のための日本語講座 「さっと日本語クラブ」	在仙の外国籍児童・生徒が学校や地域での言葉や生活上の不安、困難を解消し、また普段の授業で使用している教科書等をもとに日本語を学ぶことで、学校教育の補完的役割を果たす。 事業運営は「特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会」への委託事業としており、増加傾向にある外国人子女への学習の場として、今後の需要の増加が予想される。	実施回数:30回 延べ参加人数:302人	国際交流・協力, 子どもの健全育成	特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会	280	青葉区中央市民センター
157	区民協働まちづくり事業-企画事業: 地域はっぴい子育て支援事業	子育てを支える市民グループ・団体・区役所の協働により「地域はっぴい子育てプロジェクト」を企画運営し、子育て中の母親の育児不安や地域での育児孤立の解消につながるよう、子育て情報の提供や保護者が子供と一緒に成長し子育ての楽しさを実感できる機会を提供する。	①会議等の実施:7回 ②ママらいふ手帳の作成:3,000部(乳幼児を抱える子育て中の世帯等に配布)手作りおもちゃを作成し、ママらいふ手帳とともに子育て支援部会スタッフの近隣保育園等に配布(19施設・約320部) ③児童館職員対象の地域はっぴいママ講座のワークショップ体験:10月8日	健康福祉・医療, まちづくり	みやぎの区民協議会子育て支援部会	357	宮城野区まちづくり推進課
158	区民協働まちづくり事業-企画事業: すずむしの里づくり事業	仙台市の虫である「スズムシ」の繁殖・飼育に関する広報啓発活動を通して豊かな自然環境による潤いあるまちづくりを目指し、スズムシの配布会・交換会その他、小学校等におけるスズムシ出前講座なども行う。音の風景からスズムシの魅力を再発見する取り組みも行う。	講師派遣事業:5小学校(うち3校は先生への伝達講習)参加児童232人 配布会の実施:3会場 約400人来場 実験放虫事業:5回 約30,000匹 飼育事業:80ケース 約100,000匹 展示広報事業:市内17か所に展示	環境	すずむしの里づくり実行委員会	381	宮城野区中央市民センター
159	区民協働まちづくり事業-企画事業: おらほの公園草刈隊支援事業	魅力ある公園の維持を目的とした「おらほの公園草刈隊」によるボランティア活動を支援するため、草刈機の貸出のほか、活動を周知する看板を公園に設置する。	登録団体:51団体(新規2) (企業19、町内会等32(新規2)) 実施団体:35団体 (企業17、町内会等18) 延べ実施回数:139回 (企業39回、町内会等100回) 機械貸出延べ台数: 自走式草刈機 115台 肩掛け式 146台 ヘッジトリマー 30台	環境	企業、町内会、公園愛護協力会等によるボランティア団体(登録制)	2,107	宮城野区公園課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
160	区民協働まちづくり事業-企画事業: みやぎの地域力向上支援事業	「地元学」の経験に学びつつ、1960～90年代に撮影された宮城野区の写真をもとに、定点撮影などのフィールドワークや地域住民へのヒアリングを通して、アーカイブ(記録)しながら地元の良さを再発見し情報発信する企画「みやぎの・アーカイブ」を実施する。「みやぎの・アーカイブ」を通して、地域のアイデンティティ形成や愛着の醸成を図る。	・部活動(部員同士の打ち合わせ):計6回 ・施設訪問(小学校、商店):計4回 ・外部講座への参加:1回 ・公開イベント:1回	社会教育, まちづくり, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	地域団体、区民等	773	宮城野区まちづくり 推進課
161	区民協働まちづくり事業-企画事業: 宮城野盆踊り普及事業	地域の繋がりがづくりや地域活動の活性化のツールとして、宮城野区発祥の「宮城野盆唄」を使用した盆踊りを普及していく。	・法被モデル撮影 ・法被の追加作成 ・広報用ポスター・動画制作 動画は「せんだいTube」に掲載	まちづくり, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	やりました盆踊り実行委員会、 町内会・地域団体等	1,343	宮城野区まちづくり 推進課
162	区民協働まちづくり事業-助成事業 (宮城野区)	【みんなで歩こう、宮城野原】 まち歩きイベントの企画・開催を通して、仙台駅東地区の埋もれかけた貴重な街の遺産を掘り起こし、文化や歴史・魅力を発信する。	・定例会:計10回 ・まち歩き企画:計2回 ・パネル展:1回 ・公開講座:計2回 ・小学校出前講座:宮城野小(1回)	まちづくり, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	宮城野原案内人の会	120	宮城野区まちづくり 推進課
163		【仙台蒲生日和山プロジェクト】 中野・蒲生地区のシンボルである「日和山」の山開き登山等を通して、中野地区の歴史や旧住民たちの思い、震災の記憶を語り継ぐ。	・定例会:計11回 ・自主学習会:計2回 ・語り部活動:1回 ・公開イベント:計4回	まちづくり, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	中野ふるさとYAMA学校	253	
164		【新浜『食』・『農』体験学校】 親子の食育・農作業体験を通して、家族の絆を深めるとともに、食育力・農業技術の向上や住民同士の交流を深めることで、地域の魅力を高め発信する。	・農業体験企画:計14回 ・食育企画:計4回 ・職業体験企画(個別受け入れ):計16件 ・感謝祭:計2回	まちづくり, 地域経済活 性化, 子ど もの健全育 成	宮城野親子で料理プロジェクト	330	
165		【東仙台・まちの耀きを発見し、コミュニティーを活発化させるプロジェクト】 まち歩きイベントや公開講座の実施を通して、東仙台1,300年の歴史文化を発信するとともに、地域コミュニティの活性化を図る。	・自主講座:計11回 ・まち歩き:計2回 ・見学会:計2回	まちづくり, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	東仙台耀き歴史クラブ	50	
166		【いわきり遊学プロジェクト】 岩切地区において、あらゆる世代が交流できるイベントを開催し、新旧住民の交流や活気ある地域づくり、コミュニティづくりに貢献する。	・役員会:計6回 ・イベント(小さなお話し会):計3回	まちづくり, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	IOC(岩切おもしろ倶楽部)	46	

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
167	[前ページ続き] 区民協働まちづくり事業-助成事業 (宮城野区)	【貞山運河と新浜の魅力アップ事業】 貞山運河を舟で渡るイベント(フットパス)の開催、新浜の自然学習を通して、沿岸部地域の魅力を発信し、にぎわいづくりに貢献する。	・フットパス:計4回 ・役員会:計6回 ・公開学習会:1回	まちづくり, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	新浜町内会	222	
168		【X橋と駅東の歴史文化の伝承・共有プロジェクト】 仙台市の東西市街地を結んできたX橋「宮城野橋」をテーマにした講座やまち歩きイベントの企画、開催を通し、X橋と駅東の歴史文化遺産を伝承・共有することにより、新旧住民の交流や活気ある地域コミュニティづくりに貢献する。	・講座:1回(中止1回) ・X橋モニュメント設置準備(ワークショップは来年度に延期) ・まち歩き:1回	まちづくり, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	X橋保存会	121	
169		【Your Kitchen】 仙台駅東エリアにおいて地元事業者によるランチの提供場所を提供し、事業者数に対して飲食店数が少ない宮城野通沿いの賑わいを創出する。	・6月16日～10月30日まで宮城野通沿道での飲食提供(新型コロナウイルス感染症対策のためテイクアウトのみ) ・出店数(6月～10月計):宮城野通(歩道)323社、公開空地115社	まちづくり, 地域経済活 性化	仙台駅東まちづくり協議会	100	
170	ふるさと底力向上プロジェクト: 海辺からの発信	新浜、南蒲生、中野・蒲生地区を中心とした東部沿岸地域のこれまでの暮らしや地域の歴史を未来に伝えるとともに、新たな魅力を広く発信し、さらなる交流と賑わいを創出する。	・地域の方々のインタビュー等を収録した映像を仙台防災未来フォーラム2021でブース上映したほか、DVDの配布、貸出を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業を中止した。	まちづくり	町内会をはじめとした地域団体等	471	宮城野区地域力推進担当(ふるさと支援担当)
171	ふるさと底力向上プロジェクト: つるがや地域連携・活動マッチング事業	鶴ヶ谷地区をモデルに、高齢者人口の増加等に伴う諸課題に対応するため、活動団体間のマッチングを行うモデル事業の実施などにより、世代や分野を超えた団体間の連携拡大と活動の活性化等に取り組む。	・地域の活動団体との意見交換等の開催:14回 ・市民センター・地区社会福祉協議会・学校・地域包括支援センター等で構成する「連携ミーティング」の開催:1回 ・新型コロナウイルス感染症の影響により開催回数は前年度より減少。	まちづくり	鶴ヶ谷地区町内会連合会をはじめとした地域団体、学校等	4	宮城野区地域力推進担当(ふるさと支援担当)
172	被災者交流活動助成-宮城野区	復興公営住宅入居者や復興公営住宅周辺町内会等が行うコミュニティ形成に資する事業に対し、公募により助成を行う。	助成金交付実績:9件	まちづくり	町内会をはじめとした地域団体等	811	宮城野区地域力推進担当(ふるさと支援担当)

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
173	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区民ふるさとまつり	地域、世代を超えた交流および区民意識の醸成を図ることを目的に、区民との協働により区民まつりを開催する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のためまつりの開催は中止となったが、12月1日～21日に若林区役所・区中央市民センターを会場にポスター・写真展を実施した。 実行委員会:6回開催	まちづくり	若林区まちづくり協議会	916	若林区まちづくり推進課
174	区民協働まちづくり事業-企画事業: 地域メディアの活用によるく新しい地縁>創造プロジェクト	コミュニティFMを活用して、若林区および若林区まちづくり協議会が行う事業等の情報を発信する。区民から番組を制作するスタッフを募り、取材や編成を行う。	7月～令和3年3月までの9ヶ月間、毎月第1・第3土曜日10:00から30分間の番組をラジオ3にて放送した。(毎月第2・第4土曜日は再放送)。 また、取材内容等に関する全体会議を年4回開催した。	健康福祉・医療, 社会教育, まちづくり, 文化・芸術・スポーツ・学術, 子どもの健全育成	若林区まちづくり協議会	850	若林区まちづくり推進課
175	区民協働まちづくり事業-企画事業: ポッチャをととした区民地域交流促進事業	障害の有無や体力差などに関係なく一緒に実践できるユニバーサルスポーツ「ポッチャ」を活用した各種講座を開催することで、障害者(児)への理解を深めるとともに世代や年齢を超えた区民相互の交流を図る。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、交流促進事業は中止した。また、ポッチャ指導者育成講座は感染拡大防止策を講じ、少人数での開催を行った(4回実施・参加者5人)。併せてセンター所有のポッチャ用具の貸し出しを行った(実績2件)。	健康福祉・医療, まちづくり, 文化・芸術・スポーツ・学術, 子どもの健全育成	市民の参加者	—	若林区中央市民センター
176	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区健康づくり区民会議	「若林区健康づくり行動計画」に基づき、区民の主体的な健康づくりを進めるため、寸劇、健康づくりフェスティバルなどの主要事業、区内ウォーキングイベントでの健康啓発の他、健康づくり推進を検討する会議を行う。	・会議等の開催:新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 ・健康づくり寸劇の上演:新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。交流会を開催し、コロナ禍での今後の活動について検討。 ・健康づくりフェスティバル:新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。次年度以降の実施にむけ、実行委員会を開催。 ・若林区マイタウンスポーツ協会が主催するスポーツ大会等において既存のキャラクター着ぐるみを活用し、元気くん体操を実施した。	健康福祉・医療	若林区マイタウンスポーツ協会、若林区スポーツ協会、若林区内科医師、仙台歯科医師会若林区地区長、仙台市薬剤師会、仙台市地域活動栄養士会、六郷地域包括支援センター、障害者相談支援事業所、仙台青葉学院短期大学、蒲町中学校、荒町小学校、聖和幼稚園、協同組合仙台卸商センター総務課、セントラルウェルネスクラブ南小泉店、若林区連合町内会、若林区老人クラブ連合会、若林区レクリエーション協会、輪っ!かばやし子育て応援団	65	若林区管理課、家庭健康課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
177	区民協働まちづくり事業-企画事業: 子育て推進ネットワーク事業	子育てしやすい環境づくりを目指し、「遊び・学び・出会いの場」を提供する。育児サロンや子育て交流事業の開催、情報誌の作成などを通じて、地域に密着した効果的な子育て支援を図る。 ①輪っ！かばやし子育て応援団活動 ②子育て情報ブック作成事業 ③七郷地区子育て交流事業 七郷地域は転入者が増加、子育て環境が大きく変化している地域である。地域の親子が安心して育児ができるように、子育てに関する現状や課題を各関係機関の立場から共有する。	①輪っ！かばやし子育て応援団活動・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、育児サロン、イベント等は中止。 ・役員事務局会議、臨時活動委員会を開催し、応援団の位置づけ、今後目指すべき子育て支援ネットワークの在り方等について検討し、応援団は自主的な活動へと方針転換を図ることとなった。 ②子育て情報ブックわっぴーを、新生児訪問時や転入手続き等で配布した。 ③七郷地区の子育て支援関係者に、継続した連携のためのアンケートを実施。回答内容を関係機関と共有した。(回収率74%)	子どもの健全育成	①輪っ！かばやし子育て応援団 ②輪っ！かばやし子育て応援団、育児サークルOG、保育所・幼稚園、のびすく若林等 ③七郷地域の児童館・保育園、民生委員・主任児童委員、地域企業・包括支援センター	14	若林区家庭健康課
178	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区魅力発信事業	若林区への愛着や興味を促進させることを目的に、地域の魅力を体感できるイベントである「若林わくドキまち歩き」の開催や区内の魅力を再発見できるように区内地下鉄沿線について記載したまち歩きマップ「若林WALKER」を発行する。	・若林わくドキまち歩き 公募型のまち歩きは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とし、コロナ対策を検証するスタッフフィールドワークを実施した。 ・まち歩きマップ「若林WALKER」連坊駅、荒井駅、五橋・愛宕橋駅、河原町駅を、好評により増刷した。	まちづくり、地域経済活性化、その他	若林区まちづくり協議会	694	若林区まちづくり推進課
179	区民協働まちづくり事業-助成事業 (若林区)	【地下鉄を利用した逸品探し街歩き体験ゲーム】 若林区の魅力発信、まちの賑わいづくりを目的に地下鉄沿線を利用した市民参加型ウォークラリーイベントを開催する。	イベント実施日 第1回目 11月14日 参加者30人、ボランティア等12人 第2回目 令和3年2月13日 参加者31人、ボランティア等7人 若林区の逸品・一品を提供する店に接する機会を創出した。	まちづくり、文化・芸術・スポーツ・学術、子どもの健全育成	東北被災地の食を応援する団体U-MY・ONE	326	若林区まちづくり推進課
180		【いきいき六郷運動教室】 震災により被害を受けた東部沿岸部のコミュニティの活性化および介護予防運動の推進を目的に体操教室の運営、各種イベントで体操を披露する。	6月から、月2回東六郷コミュニティ・センターを会場に運動教室を実施。その他、介護予防運動スキルアップ研修会、運動サポーター養成研修会、介護予防教室等に積極的に参加し、個々のレベルアップを図った。	まちづくり、文化・芸術・スポーツ・学術	いきいき六郷運動教室	224	

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
181	[前ページ続き] 区民協働まちづくり事業-助成事業 (若林区)	【荒町エリア魅力発信事業】 荒町エリアの活性化を目的に荒町の魅力を発信するツールとして、フリーペーパーおよび動画コンテンツを制作する。	・フリーペーパープロジェクト オンラインによる編集会議を13回開催し、「荒町さんぽテイクアウト編」5,200部を配布、「荒町さんぽ第2号」を3,500部配布。 ・動画制作プロジェクト 荒町商店街と連携し、動画制作講座を述べ4回開催。動画配信サイトに9本掲載。	まちづくり、 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	荒町エリア発信隊	500	
182	ふるさと底力向上プロジェクト: 六郷東部地区現地再建まちづくり	六郷東部地区の各町内会や関係機関・団体等と連携し、地域主体のまちづくり活動について支援を行う。 平成29年3月に閉校した東六郷小学校の跡地を地域のコミュニティ拠点とするため、多目的グラウンド・駐車場・芝生広場などを整備する。	・令和3年3月、東六郷コミュニティ広場の整備工事を完了した。 ・東六郷コミュニティ市民委員会内に、広場の管理運営を担う部門として東六郷コミュニティ広場管理運営部会の設立をサポートした。また管理運営規約等の策定についても支援し、同市民委員会の承認を得た。 ・広場完成時に開催を予定していた市主催の完成記念式典および地域主催の記念イベントは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止した。	まちづくり	町内会、六郷東部地区まちづくり部会、東六郷コミュニティ市民委員会	249,231	若林区地域力推進担当(ふるさと支援担当)
183	荒井駅を起点とする仙台東部エリア 集客・交流促進事業	仙台東部エリアとの一体的な取り組みを目指す荒井東地区の交流・賑わいづくりを推進するため、仙台東部エリアにある交流施設の管理運営者等が相互の情報共有や賑わい・集客を検討するとともに、地域や市民団体等と連携し、荒井駅を玄関口と捉えた荒井東地区および仙台東部エリアへの集客につながるプロジェクトの企画運営を持続することを目指す。	・令和元年度市民協働事業提案制度採択事業において設立した、仙台東部エリアにある交流施設の運営管理者と仙台市関係課がメンバーとなる「仙台東部エリア交流施設連絡協議会」において、意見交換会を2回開催し、コロナ禍における各参加団体の状況や課題、共同で行うイベント企画等について意見交換を行った。 ・令和2年度は、コロナ禍のため集客イベントを見送り、各施設がSNSなどを中心に情報発信を行った。	まちづくり	一般社団法人荒井タウンマネジメント	—	若林区地域力推進担当(ふるさと支援担当)
184	被災者交流活動助成-若林区	復興公営住宅入居者や復興公営住宅周辺町内会等が行うコミュニティ形成に資する事業に対し、公募により助成を行う。	助成金交付実績:3件	まちづくり	町内会をはじめとした地域団体等	208	若林区地域力推進担当(ふるさと支援担当)
185	防災さんぽ(東文化会編)	普段利用している近所の道を歩き、地震発生時等に揺れ等によるブロック塀の倒壊や屋根瓦等の落下物がないか等、安全に避難や通行ができるかを確認する。	・実施回数1回(参加者数46人)	地域安全活動	東文化会町内会、東文化子供会、杜の都建設協同組合、遠見塚地域包括支援センター	—	若林区街並み形成課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
186	若林区の映像保存・活用事業	震災からの復興への取り組みや豊かな地域資源、史跡・旧跡の残る街並みなど区内の様子を市民センターのボランティアが撮影し、市政だよりの若林区のページや区役所でのパネル展示などで紹介していく。	・情報発信 掲載回数:12回 「若林の点描」シリーズを市政だよりに掲載 ・パネル展示 実施回数:2回 区役所ロビー、若林区文化センターエントランスホール	まちづくり, その他	写真撮影ボランティア	113	若林区中央市民センター
187	若林区地域学校連携推進会議	学校等との連携による人づくりや地域づくりを推進するため、若林区内の学校(小・中・高)・区役所・市民センター・図書館・文化センターの教員・職員が一堂に集まり、学校支援地域本部のスーパーバイザーなども交えて情報交換を行う。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一堂に会する情報交換は中止したが、地域連携に関するアンケートを実施し、学校側・区役所側の取り組み状況を取りまとめ、アンケート回答先に配布する形で情報交換を行った。	まちづくり, 子どもの健全育成	小・中・高等学校の地域連携担当者、嘱託社会教育主事、学校支援地域本部役員	—	若林区中央市民センター
188	区民協働まちづくり事業-企画事業: 太白区民まつり	文化活動、社会福祉活動など多様な市民活動の発表、幅広い市民同士の交流、各種行政施策(交通安全、環境、消防など)のPRなど、太白区における市民の総合的な交流の場を創出する。	・区民まつりは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 ・将来の担い手となる若手市民の意見を取り入れていくため、アイデア会議を開催し、区内に通う高校生や大学生、市職員に今後区民まつりで実施してみたい企画について、様々なアイデアを出してもらうことができた。	まちづくり	太白区まちづくり推進協議会	327	太白区まちづくり推進課
189	区民協働まちづくり事業-企画事業: たいはくっこくらぶ	太白区内の小学5年生および6年生を対象に、参加児童同士の交流を図りながら、同区内の自然、歴史、文化等をはじめとしたさまざまな体験学習を行うことを通じて、児童の地域理解の促進と健全育成を図る。	・太白区内の自然、歴史、文化等をはじめさまざまな体験学習を行う「まちづくり塾」を各種の市民活動団体やジュニアリーダー等の協力を得ながら実施した。 実施回数:3回 ・「まちづくり塾」の企画・運営を検討する実行委員会を実施した。 実施回数:6回	社会教育, まちづくり, 子どもの健全育成	太白区まちづくり推進協議会	389	太白区まちづくり推進課
190	区民協働まちづくり事業-企画事業: ディスカバーたいはく	冊子ディスカバーたいはくで紹介した区内の自然、史跡、名所等を実際に訪れる機会を設けることにより、広く太白区の魅力を再発見する機会を提供する。	・太白区内の名所旧跡を徒歩で巡る探訪会を実施した。 実施回数:1回(バスにて実施予定の2回は新型コロナウイルス感染症の影響により中止)	社会教育, まちづくり	太白区まちづくり推進協議会	51	太白区まちづくり推進課
191	区民協働まちづくり事業-企画事業: 太白区まち物語	地域住民自らが、地域の成り立ちや歩み、地域資源(人・物・場所)、生活史の変遷、現況、課題を訪ね・調べ・まとめ、手づくりの地域誌としての「まち物語」を製作し、地域を未来に語りつぐとともに、今後のまちづくりにつなげる。	・山田・鉤取まち物語運営委員会の「山田・鉤取まち巡りマップ」および中田の魅力伝え隊の「川村幸八さんものがたり」に助成を行った。	まちづくり	太白区まちづくり推進協議会、 太白区まち物語地区委員会	305	太白区まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
192	区民協働まちづくり事業-企画事業: たいはく若者まちづくりフォーラム	主に大学生を対象に、まちづくりへの関心の高揚を図るほか、まちづくり活動への参加を促進し、その活動を支援することにより、まちづくりの担い手となる人材の育成を図るとともに、地域のまちづくり活動を推進する。	・まちづくりに取り組む地域と大学(研究室)とのマッチングにより学生が当該地域で行うまちづくり活動を支援するための助成金を交付した。 助成金交付実績:1件 ・東北工業大学と共同でまちづくりをテーマとした講座を令和2年度後期に開講した。	まちづくり	太白区まちづくり推進協議会	481	太白区まちづくり推進課
193	区民協働まちづくり事業-企画事業: 地域づくりの担い手等の交流等推進事業	①太白区内で活動している地域団体の活動紹介を通して、組織や分野を越えた団体同士の交流を促進する。 ②区内の市民センターが、地域住民との協働で実施している地域づくりの担い手の交流やネットワーク化、人材の発掘・育成事業への支援を通して、地域住民主体の地域づくり活動の活性化を推進する。	①区内で活動する団体の活動報告や、市民活動サポートセンターによるコロナ禍での活動事例紹介を行う報告会を開催した。 報告団体数:6団体 見学団体数:2団体 ②市民センター3館で実施 (茂庭台C、西多賀C、山田C)	まちづくり	①地域団体等 ②各事業の実行委員会	①189 ②359	①太白区まちづくり推進課 ②太白区中央市民センター
194	区民協働まちづくり事業-企画事業: 元気もり森まもり隊	住宅地に隣接する都市緑地において、「仙台市森林アドバイザーの会」の協力を得て、町内会や大学生・小学生との協働による緑地の環境整備(間伐、枝払い、下草刈り)を実施するほか、今後の緑地のあり方を検討する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は市民協働による環境整備活動を中止した(「仙台市森林アドバイザーの会」による環境整備は実施した)。	まちづくり, 環境	仙台市森林アドバイザーの会、 町内会、小学生	450	太白区公園課
195	区民協働まちづくり事業-企画事業: 秋保ミュージアム環境整備事業	秋保全体を中山間地ミュージアムととらえ、豊かな自然や風景、歴史や文化、観光や創作等の資源を発掘整理し、新たな視点で結び付けて魅力ある地域資源の活用・情報発信、協働による整備を地域全体の動きとしていくための連携体制づくりを進め、地域づくりに関わる人材の育成や情報共有、交流人口増、中山間地の地域活性化と地域力向上を図る。	・秋保の魅力伝えるパンフレット作成 発行部数:新規5種類×10,000部、増刷4種×3,000部、総合版11,500部 ・魅力ある地域資源の環境整備 境野森峯山払刈、板風峠道簡易整備ほか ・秋保地区地域活動のつどい 関係団体との連絡会議において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止を決定し、例年会場で配布している「秋保地区地域活動団体概要集」の更新のみを行った。	まちづくり, 地域経済活性化	地元町内会、秋保地域資源活用委員会、秋保地区地域活動のつどい連絡会議	1,186	太白区秋保総合支所地域活性化推進担当(ふるさと支援担当)
196	区民協働まちづくり事業-助成事業 (太白区)	【つなごう 秋保千年の里山文化～長町の下町文化との連携共助の活動～】 秋保・長町地域において、秋保新特産品の普及支援や相互の文化理解と交流の場を創出する。	秋保および長町地域において、秋保新特産品「akiuいもの子」の普及支援や文化理解と交流・体験の場を創出する「@寺子屋」事業等を通して、お互いのさまざまな資源、人や文化の交流を行うことにより地域をつなぎ、元気な人づくり、里山づくり、まちづくりを推進した。	まちづくり	一般社団法人Soundキャンパス	290	太白区まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
197	[前ページ続き] 区民協働まちづくり事業-助成事業 (太白区)	【「ぼうさいダンス」を世界に広めよう】 八木山地区で誕生した災害時の初期行動を学べる「ぼうさいダンス」や日常的に作れる防災食を普及・発信し、地域の防災力の強化を図る。	防災講習会や携帯トイレづくり等の出前講座を行うことで、地域に即した防災活動の普及を図った。また、防災食のレシピを掲載したブックレットを作成し、地域の基礎的な防災力の向上に努めた。	まちづくり, 地域安全活動, 子どもの健全育成	Yagiyama Area Reproduce Volunteer Group(YARVOG)	260	
198		【三神峯の“桜縁”が結ぶ『遊びと学び』ここ西多賀に賑わいを！】 地域住民が可能な桜の整備を行い、これまで以上の賑わいを創出し、地域の活性化に繋げる。	桜の樹名板作成や昔遊び等を通して、次の世代を担う子ども達と大人の「世代間の繋がり意識」の醸成を図るとともに、フォトコンテストの開催により三神峯公園の魅力発信を行った。	まちづくり	西多賀まちづくり推進委員会	447	
199		【だれもが行きたくなる“まち”づくりー「八木山テラス」ー】 金剛沢緑地の維持管理をするとともに、地域住民や団体との連携を図り、「八木山テラス」構想の実現に向けた地域全体でのまちづくりを行っていく。	金剛沢緑地の整備や竹ちぐらの製作を行い、地域住民の憩いの場を創出するとともに、活動を通して地域や世代を越えた住民の交流を図った。	まちづくり	金剛沢緑地愛護協力会	299	
200		【中田中部地区みんなで交流・地域づくり仲間づくりプロジェクト】 地域に新たに居住する住民の孤立化を防ぐとともに、将来的な地域づくりの担い手の発掘と育成の機会とすることを目指す。	「中田中央公園にイルミネーション点灯式」のイベント開催を通して、多くの地域の子ども達や若い世代の参加により、参加者間や地域住民との交流や親睦を図ることができた。	まちづくり, 子どもの健全育成	中田中部町内会連合会	416	
5 と 同一事業	ふるさと底力向上プロジェクト: 生出地区活性化支援	①生出地区まちづくり 生出学区連合町内会からの諮問を受け「生出地区まちづくり委員会」が平成30年度に取りまとめた「生出地区まちづくり基本構想」の実行プランに沿って、地域が主体的に農業・子育て・交通等の地域課題解決に向けたまちづくり活動に取り組む。	①生出地区まちづくり 郊外住宅地・西部地区まちづくりプロジェクト補助金により、農業を基軸とした交流・作業拠点の整備を行い、地区外での干し柿販売を通して活動資金を確保した。また、休校中の生出小学校赤石分校における交流イベントの実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、交流イベントは中止を余儀なくされた。一方で、拠点整備については、東北工業大学、地域住民とのワークショップを実施し、協働で改修作業を行った。	まちづくり	①生出地区まちづくり委員会	178	太白区地域力推進担当(ふるさと支援担当)

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
201	[前ページ続き] ふるさと底力向上プロジェクト: 生出地区活性化支援	②坪沼小学校跡地利活用 坪沼ふるさと活性化研究会がまちづくり専門家派遣制度を活用し、平成28年度から跡施設活用案を検討しており、跡施設を引き続き地域づくりの拠点と位置付けたうえで、望ましい活用方法や運営方法等を整理する。	②坪沼小学校跡地利活用 旧幼児学園をコミュニティカフェとして実証実験を行ってきたものの、坪沼小学校跡施設利活用の公募が新型コロナウイルス感染症の拡大により中断したことにより、幼児学園の活用についての検討・課題整理についても一旦中断となった。一方、交流人口拡大を目的とする「坪沼農園」については、コロナ禍における農業に対する関心の拡大を受け、老朽化した設備の更新や、新たな休憩所および農地用トイレ等の設置に着手した。	まちづくり	②坪沼地区ふるさと活性化研究会	129	
202	ふるさと底力向上プロジェクト: 秋保体験観光創出支援事業	①野尻・境野地区体験観光創出支援事業 二口エリアの玄関口、里山の自然が豊かな野尻地区において、特色ある体験観光を提供するため野尻集会所を基点に、地元の特産であるそばや里山の「食」文化等を生かした体験観光、近隣の名取川清流「天神淵」での川遊び体験観光創出を支援し、市民や観光客との交流による活性化に繋げる。 「さかいの地区創生会」が取り組む地元農産物の産直活動を中心とした交流拠点づくり、貴重な地域資源の環境整備、これらを活用した体験観光の創出を支援し、交流増、地域活力の向上を図る。 ②そばの郷「秋保」振興事業支援事業 秋保地区の「食」文化であり、観光の魅力の一つである「そば」について、さらなる発展を期するため、そばの郷「秋保」振興事業として、全国レベルの「そば打ち大会」を開催し、宮城のそば処として、内外に強力な情報発信(アピール)、地元産そば栽培意欲の増進、そば文化の振興を基軸とした地域活性化と、交流を促進し心豊かで潤いのある中山間地の活性化を図る。	①野尻・境野地区体験観光創出支援事業 ・野尻地区 野尻地区において、交流カフェ「ばんどころ」の運営など、協働による体験型観光の創出に取り組んだ。 野尻交流カフェばんどころ 新種の桜「秋保足軽紅重」囲い柵設置 ・境野地区 さかいの産直市 延べ38回、来訪者2,499人 (前年比46%増) 体験観光創出 森峯山刈払い、板風峠道簡易整備 境野体験観光パンフレット作成9,000部 ②そばの郷「秋保」振興事業支援事業 宮城手打ちそば研究会、あきう生産組合等と連携し、新しい誘客、地産地消を推進した。 ・仙台秋保そばフェス2020 関係団体との連絡会議において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止を決定した。 ・秋保産そばフェア 「秋保そば街道」パンフレット作成8,000部 「秋保在来そば」のぼり旗作製 50本 ・宮城そばサミットin秋保 コロナ禍を踏まえた新たな試みとして開催された「宮城そばサミットin秋保」の支援を行った。	まちづくり、 地域経済活性化	①野尻いぐする会、宮城手打ちそば研究会、東北工業大学、さかいの地区創生会 ②「仙台秋保そばフェス2020」連絡会議	1,133	太白区秋保総合支所地域活性化推進担当(ふるさと支援担当)

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
203	たいはく朝市	太白区内の農業者と消費者との交流の場を創出し、農業者が生産した野菜を販売する朝市を開催する。	7月から12月の毎月第2・4日曜日に、太白区役所南側駐車場等で、朝市を開催した。 実施回数:12回(4~6月は中止)	まちづくり, その他	たいはく朝市推進協議会	—	太白区まちづくり推進課
204	被災者交流活動助成-太白区	東日本大震災の被災者等を対象に復興公営住宅入居者や復興公営住宅周辺町内会等が行うコミュニティ形成に資する事業に対し、公募により助成を行う。	年間を通して助成事業の公募を行うとともに、申請のあった事業の審査や助成金の交付等を行った。 助成金交付実績:1件	まちづくり	町内会をはじめとした地域団体等	100	太白区まちづくり推進課
205	貧困家庭等の子どもを対象とした夕食支援による地域の居場所づくり活動	子どもに無料で夕食を提供することにより、貧困家庭やひとり親家庭、共働き家庭の子どもの食をめぐる問題の解決を図り、地域の中に気軽に集うことができる居場所をつくる。	「おりざの食卓」を運営し、孤食や生活困窮家庭の子どもを中心とした多世代夕食支援を実施した。 令和元年度からは、自主的なグループへ発展し、区からは保健師の参加等により活動を支援している。	子どもの健全育成	特定非営利活動法人おりざの家	—	太白区家庭健康課
206	区民協働まちづくり事業-企画事業: いずみ朝市	生産者と消費者の交流および地域振興を図るため、地元の生産者や業者などによる朝市を開催する。	6月から12月までの第2・4日曜日にいずみ朝市を開催した。 開催回数:14回 (4月~5月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) 延べ来場者数:8,580人	まちづくり	いずみ朝市運営委員会	100	泉区まちづくり推進課
207	区民協働まちづくり事業-企画事業: 将監沼ふれあい事業	中世からの遺産である将監沼を中心とした周辺の自然環境を保護し、四季折々の花が咲き、野鳥のさえずりが聞こえるよう環境整備を行う。 区民参加による実行委員会を組織し、参加者の連帯感を高めながら、地域コミュニケーションの場として活用するとともに、自然の大切さやふるさとの意識の向上を図る。	将監沼周辺の間伐、下刈り等(32回)を実施。また、将監「ふるさと」づくりプロジェクト樹名看板設置作業5回、看板の修正や補強、桜苗木の植栽を実施した。地域のコミュニケーションを図る下記事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 将監さくら祭り 将監ふれあいコンサート 将監市民センターまつり	まちづくり	「将監沼の自然」とふれあいを育む会	200	泉区まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
208	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉ヶ岳利活用推進事業	泉区のシンボルである泉ヶ岳の豊かな自然環境を将来にわたり維持し継承していくため、市民との協働により泉ヶ岳の魅力を生かした利活用を促進する。	・ミズバショウの保全管理計画の策定に向けたモニタリング調査等を実施した。 調査実施回数:1回、参加者数:16人 ・荒廃していた芳の平果樹園跡地を里山に戻すための下刈り作業と樹木の保全作業を実施した。 実施回数:11回、参加者数:207人 ・助成団体より苗木の寄贈を受けてツツジ類225本を植樹した。 参加者数:50人 ・希望する市民を対象に登山や泉ヶ岳自然観察会を実施した。 実施回数:2回、参加者数:70人 ・リーフレット「泉ヶ岳の花」を配布した。 ・会報誌を2回発行した。	まちづくり	泉ヶ岳利活用推進市民会議	600	泉区まちづくり推進課
209	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉ヶ岳悠・遊フェスティバル	市民に対し、泉ヶ岳の自然とその魅力に触れる機会を提供し、ふるさとの山の自然の素晴らしさを再認識してもらうとともに、市民の交流を促進することを目的に、泉ヶ岳悠・遊フェスティバルを開催する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度はオンライン開催となった。 新型コロナウイルス感染症が流行している中、単にイベントの中止とせず、人が集まらないイベントとしてオンライン開催を行うことができたのは、一つの開催手法として確立することができた。 開催期間:12月28日~令和3年3月31日 アクセス数:781件	まちづくり	泉区まちづくり推進協議会	1,118	泉区まちづくり推進課
210	区民協働まちづくり事業-企画事業: 区民意識普及啓発	住みよい心豊かな潤いのあるまちづくりを進めるため、区民憲章の普及・啓発を行うとともに、泉区写真コンクール等を開催する。	・泉区写真コンクールを実施した。 応募数:2部門116作品 ・区民憲章板の作成	まちづくり	泉区まちづくり推進協議会	550	泉区まちづくり推進課
211	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉中央美化推進	区民の環境美化・緑化への意識の醸成を図るため、「ごみの散乱のない快適なまちづくり推進地区」に指定されている泉中央地区で清掃や緑化活動を行う。	・緑化活動 春と秋の花植え:8回 参加者数:682人 ・清掃活動 秋と春の一斉清掃:2回(11月、3月) 参加者数:1,268人 回収ごみ250kg	まちづくり	泉区まちづくり推進協議会	330	泉区まちづくり推進課
212	区民協働まちづくり事業-企画事業: いずみのふるさと学	地域に対する理解と愛着を深めてもらうことを目的に、泉区の名所史跡をたどる探訪会等を開催する。	・いずみのふるさと探訪会の開催 新型コロナウイルス感染拡大防止のため探訪会、定例サポーター会は中止 ・「いずみのふるさと総集編」をデータ化し、デジタルブック総集編を50枚、分冊版を各20枚作成	まちづくり	泉区まちづくり推進協議会	160	泉区まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
213	区民協働まちづくり事業-企画事業: 大学連携地域づくり事業	【大学地域ネットワーク】 大学の知的資源や学生のパワーを生かしたまちづくりを積極的に進めていくため、協定を結び連携協力活動を進める。	・各大学が連携し、まちづくり事業を推進していくため、ネットワーク幹事会を開催した。 ・泉区6大学まちづくりフェスティバル(大学の地域活動の発表等)を開催した。	まちづくり	泉・大学地域ネットワーク (泉区内6大学、泉区まちづくり推進協議会)	457	泉区地域力推進担当(ふるさと支援担当)
214		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【生文大ワクワクプロジェクト事業】 区内のイベントでシルクスクリーンの技法を使ったものづくりの体験講座を開催し、地域の方と交流する。	宮城県図書館にて実施した版画展において、シルクスクリーンの技法を用いたトートバッグ作成のワークショップを開催し、地域の方との交流を図った。	まちづくり	東北生活文化大学 版画研究室	100	
215		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【デザインによる地域活動支援プロジェクト事業】 区内のイベントのポスターや告知物をデザイン・制作し、地域の活性化を図る。	地域で行われるイベントのポスターを作成し、掲示・配布することでイベント自体の認知度向上に貢献した。また、地域団体の活動に係るポスターのリニューアル作成も行うことで、地域との交流を図った。	まちづくり	宮城大学 マイチゼミ	100	
216		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【スポーツによる地域貢献活動事業】 様々なスポーツ教室を実施することにより、小学生をはじめとした子どもたちとの地域交流を進めていく。	学内に地域の子どもたちを集め、サッカー教室、ダンス教室、健康づくり教室、バレーボール教室を実施し、交流を図った。	まちづくり、 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	聖和学園短期大学 スポーツクラブBOA SORTÉ	100	
217		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【笑ってほしい♪スマイルもりもりプロジェクト事業】 介護予防のための軽運動「スマもり体操」を活用し、地域住民の交流の場である認知症カフェやサロン等の運営支援を行う。	泉区内で開催される認知症カフェや健康教室の場で、介護予防のための軽運動を行い、地域の高齢者との交流を図った。	健康福祉・ 医療、まち づくり	東北学院大学 菅原真枝ゼミ	100	
218		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【ラジオ番組:管理栄養士を目指す宮城学院女子大生の「パワフル奮闘記」】 管理栄養士を目指す宮城学院女子大学食品栄養学科の学生が、企画作成するラジオ番組の1コーナーとして「泉区いいとこ大発見Part4」を設け、泉区の話、特に食と健康にかかわるニュース、名店、名所等を取り上げ、取材をもとに学生による情報・感想を交えて展開する。	企画作成するラジオ番組の1コーナーとして、「泉区いいとこ大発見Part4」を設け、泉区の話、特に食と健康にかかわるニュース、名店、名所等を取り上げ、取材をもとに学生による情報・感想を交えて展開した。	まちづくり	宮城学院女子大学 正木ゼミ	100	

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
219	[前ページ続き] 区民協働まちづくり事業-企画事業: 大学連携地域づくり事業	いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【泉区の食材×スポーツ栄養・地域活性化プロジェクト】 「泉区産の食材を食べて頭も体も強くなるう」をコンセプトに、子どもから大人までが対象となるスポーツ栄養学・ライフステージ栄養学に基づいて、栄養士の卵が泉区産の食材を用いたレシピ本を考案し、周知を行う。	根白石おもしろ市や区内のスーパーにて泉区産の食材の調査を進め、試作を経てレシピ本を制作した。また、制作したレシピ本は区内の中学校や高校に配布した。	まちづくり、地域経済活性化、文化・芸術・スポーツ・学術	東北生活文化大学 スポーツ栄養研究会	100	
220		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【新型コロナウイルス(COVID-19)に負けない体づくり】 市民向けの感染症予防講座を開催し、手洗いや消毒のみならず、食事や睡眠、運動の面から、免疫力アップのための一助となることを目的に活動する。	区内の集会所にてヨガ体験や免疫力を高めるための食事についての講話を行い、地域の方々との交流を図った。	健康福祉・医療	仙台白百合女子大学 佐々木ゼミ	99	
221		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【しらゆり森のようちえん&しょうがっこう～木育・自然あそびプロジェクト】 仙台白百合女子大学の自然を生かしたあそびを地域の子どもと一緒に楽しみながら、交流を図る。	大学構内をフィールドとして自然と触れ合いながら楽しむことのできるイベントを2回開催し、地域との交流を図った。	子どもの健全育成	仙台白百合女子大学 仁藤研究室	100	
222		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【魅力ある地域の自然環境の再発見プロジェクト～ミツバチと森の自然の恵みで地域を活性化～】 宮城学院女子大学で研究を進めている水の森周辺の生物や生態系に関して、地域の子どもたちに出前授業を通じて一緒に考える機会を設け、交流を図る。	区内の2児童館にて生き物と触れ合う講座を開催した。また、市内の商業施設で実施されたオーガニックマーケットにおいて生き物の紹介コーナーを出展し、地域との交流を図った。	環境, 子どもの健全育成	宮城学院女子大学 生活環境科学研究所ミツバチ科学研究部門	53	
223		大学・地域連携による課題解決事業助成 【加茂ハッピータウン活動】 「加茂まちづくり協議会」に参加している組織・団体、個人と、大学の連携により、大学の専門性を生かした活動を推進する。また、学生の参加協力を得ながら、事業実施分科会を設置し、具体的な活動を行う。	東北学院大学や町内会等と連携し、ウォーキングマップ作りや体力測定会などの高齢者の健康づくり、子育て支援の取り組みなどを行う「加茂ハッピータウン活動」を実施した。	健康福祉・医療, まちづくり	加茂まちづくり協議会、東北学院大学	168	

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
224	[前ページ続き] 区民協働まちづくり事業-企画事業: 大学連携地域づくり事業	大学間の交流促進助成事業 【大学交流促進事業】 地域づくり活動を行っている学生が、大学の枠を超え学生間の連携・協働のもとで主体的・継続的に活動し、地域づくり活動の交流見学会等の取り組みを実施する。	学生同士の交流や意見交換の機会を2回設けた。	社会教育, まちづくり	一般社団法人プラス	660	
225	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉中央地区活性化事業	泉中央地区のにぎわいを創出し、地区の活性化を図る。	泉中央駅ペDESTRIANデッキ下部およびおへそ広場を会場に、地域関係者が連携・協力したイベント「いずみハロウィン2020」を実施した。飲食ブース等の出展は見送ったものの、会場を3週間程度ハロウィン風のイルミネーションで彩った。	まちづくり	いずみハロウィン実行委員会	1,000	泉区地域力推進担当(ふるさと支援担当)
226	区民協働まちづくり事業-企画事業: 青少年健全育成推進	青少年が日頃より考えている将来の夢、社会に対する要望を発表する機会等を提供することにより、物事を考える力、広い視野と柔軟な発想・表現力を育むとともに、青少年健全育成に対する大人の理解度と関心度の向上を図る。	・実行委員会の開催:2回 ・少年の主張泉区大会は中止 ・標語コンクール 参加校:16校 参加者:95人 ・地球のステージは中止	社会教育, 子どもの健全育成	泉区まちづくり推進協議会	78	泉区家庭健康課
227	区民協働まちづくり事業-企画事業: 地域子育て交流会	育児サークル、子育てサロン、食育推進団体などの子育て支援関係団体を対象とした交流会を実施する。また、団体の代表者による実行委員会で、広く区民を対象とした親子まつりを企画・実施する。	・全体会実施:1回 参加者数:13人 ・三役会議実施:4回 交流会、実行委員会、親子まつりは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。	子どもの健全育成	子育て応援倶楽部いずみん	44	泉区家庭健康課
228	区民協働まちづくり事業-助成事業 (泉区)	【みんなで育てる「泉区の」子育て応援】 母親のリフレッシュや憩いの場を提供するほか、子連れでも安心してワークショップを開催できる環境整備を行うとともに、新しく転入した世帯等へ区内の子育て情報や地域情報を提供し、住み続けたい街づくりに貢献する。	新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業の見直しを余儀なくされたが、母親のための情報誌の発行を年4回行ったほか、ホームページを作成し、読者により寄り添った記事や情報を迅速に掲載した。	まちづくり	Balletone ERI(バレトンエリ)	400	泉区まちづくり推進課
229		【くらしの保健室事業】 医療を含めた相談支援の場を地域の交流の場に設置し、早い段階で地域、医療、看護、介護によりつながり、適切なアドバイスや情報を得るとともに、住民が生き生きと主体的に行動を起こすことができるようにする。	多くの専門職が住民の健康相談に対応するくらしの保健室事業を実施したほか、住民と専門職が共に健康コミュニティの仕組みを作る体づくりサポーター養成講座を実施した。	まちづくり	特定非営利活動法人地域生活支援オレンジねっと	200	

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
225 と 同一事業	ふるさと底力向上プロジェクト: 泉中央地区活性化事業	泉中央地区のにぎわいを創出し、地区の活性化を図る。	泉中央駅ペDESTRIANデッキ下部およびおへそ広場を会場に、地域関係者が連携・協力したイベント「いずみハロウィン2020」を実施した。飲食ブース等の出展は見送ったものの、会場を3週間程度ハロウィン風のイルミネーションで彩った。	まちづくり	いずみハロウィン実行委員会	事業番号 225と共通	泉区地域力推進担当(ふるさと支援担当)
230	ふるさと底力向上プロジェクト: 郊外居住地区の課題対応事業	郊外居住地区における課題の解決に向け、大学が有する知見等を活用し、地域住民と解決策の検討を行う活動に対する支援を行う。	加茂まちづくり協議会が行う地域課題の解決へ向けた取り組みに対し、助成を行った。	まちづくり	加茂まちづくり協議会	152	泉区地域力推進担当(ふるさと支援担当)
231	ふるさと底力向上プロジェクト: 泉西部地区活性化事業	泉西部地区の活性化を図るため、地域団体や地域事業者、住民等と連携・協力し、交流人口拡大および持続性のある地域づくりに資する取り組みを実施する。	泉かむりの里観光協会や地域事業者と連携し、国内向けの地域情報発信の取り組みを実施した。 また、まちづくり懇談会を2回実施し、参加者における認識の共有や意見交換の場を設けた。	まちづくり	地元町内会、泉かむりの里観光協会、地域事業者等	3,277	泉区地域力推進担当(ふるさと支援担当)
232	社会を明るくする運動 仙台市泉区推進委員会	法務省の主唱する「社会を明るくする運動」について、泉区域における本運動の企画、実施、推進を図る。	・総会(書面開催) ・役員会等の開催:計3回 ・広報、泉区役所懸垂幕、のぼり旗掲示 ・泉区民ふるさとまつり、地下鉄泉中央駅前・八乙女駅前での広報活動は中止 ・内閣総理大臣メッセージの伝達 ・小学校での講話:中止(毎年1校) ・泉区まちづくり推進事業との共催事業(標語コンクール)(地球のステージは中止) ・ベガルタ仙台 社明運動啓発活動(社会を明るくする運動宮城県推進委員会と共催)	社会教育, まちづくり, 地域安全活動, 子どもの健全育成	社会を明るくする運動 泉区推進委員会	122	泉区家庭健康課
233	仙台市泉区子ども会育成会	泉区内の各校区子ども会育成会相互の連絡調整を行い、地域の意見や情報を交換して、子ども会の育成発展を図る。	・総会(書面開催)、役員会等の開催、校区交流会(2回)および研修会(2回)の開催 ・泉っ子キャンプは中止 ・泉区民ふるさとまつり、泉ヶ岳悠・遊フェスティバルへの参加は中止 ・広報誌の発行	まちづくり, 子どもの健全育成	仙台市泉区子ども会育成会	995	泉区家庭健康課
234	婦人防火クラブ活動支援事業	婦人防火クラブの育成強化と活動の活発化を図るため、運営および活動を支援する。	火災予防知識の習得および技術の向上を図る訓練、研修会および街頭防火キャンペーンなどを新型コロナウイルス感染症に留意したうえで年間203回実施した。	地域安全活動	仙台市婦人防火クラブ連絡協議会	12,700	消防局予防課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
235	自分づくり教育推進事業： 職場体験活動推進協議会	学校におけるキャリア教育に対する支援を目的に企業関係者が参画する会議体として、主に職場体験およびインターンシップの受け入れについての支援促進を図るために、仙台自分づくり教育の効果的かつ円滑な実施について協議する。	新型コロナウイルス感染症の影響により職場体験活動推進協議会は開催できなかったが、啓発活動に係る取り組みとして、関係団体に「職場体験活動ブックレット」を配付した。	まちづくり、 子どもの健全育成	仙台商工会議所、宮城県中小企業団体中央会、みやぎ仙台商工会、協同組合日専連仙台、宮城県中小企業家同友会、公益社団法人仙台青年会議所	64	教育局学びの連携推進室
236	自分づくり教育推進事業： 仙台子ども体験プラザ事業	児童生徒の望ましい勤労観や職業観を育てるとともに、将来の生き方について考える意欲や態度を育むため、協賛事業所等の協力のもと、体験型経済教育プログラム「スチューデントシティ」「ファイナンスパーク」を実施する。	施設およびプログラム上の感染症対策がとれないため、仙台子ども体験プラザでの実施は年度内中止とした。 代替案として、小中学校に学校実施版のプログラムを配付した。また、学校における活動の補助教材として、スチューデントシティ協賛企業9社と仙台市役所の映像教材を1社あたり2本制作・配信し、中学校で行うファイナンスパークの活動支援を6校の生徒853人を対象に行った。	まちづくり、 子どもの健全育成	市内協賛事業所等	62,929	教育局学びの連携推進室
237	不登校支援ネットワーク	市民・大学・企業・行政等がそれぞれの特性を生かしながら相互にパートナーとして融合し、不登校の児童生徒やその保護者の支援を実施する。	以下の取り組みを実施した。 ・動物介護活動：5回 ・稲作体験活動：1回 ・ハートフルサポーターの活動 自然体験：2回 土曜のひろば：9回 ・不登校支援ネットワークワーキングとボランティア養成講座：1回 ・進路相談会：1回 ・創作活動：1回 ・職業出前講座：4回	子どもの健全育成	認定特定非営利活動法人仙台シニアネットワーク、認定特定非営利活動法人あかねグループ、特定非営利活動法人エーキューブ、特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク、ことばの貯金箱「夢」プロジェクト、情報のあんこ、エルネット、ミューズネットワークせんだい、くりこま高原自然学校、ハートフルサポーター、ハリウコミュニケーションズ株式会社、株式会社デンコードー、宮城県学校用品協会、株式会社北文社、株式会社ジャストシステム、オレンジフィールド、株式会社楽天野球団、ドコモCS東北、仙台朝市商店街振興組合、宮城教育大学、東北福祉大学、東北大学災害科学国際研究所	—	教育局教育相談課
238	楽学プロジェクト	小学5・6年生および中学生を対象に、さまざまな職業の講師による「講話」や「体験活動」を経験させることにより、子どもたちが「仕事」や「働くこと」とは何かを考える機会とする。	新型コロナウイルス感染症の影響により講座を中止した。 特別企画記録集を作成し、各校に配布した。	子どもの健全育成	楽学プロジェクト委員会	170	教育局生涯学習課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
239	スタジオ協働事業	「考えるテーブル」など、誰もが参加可能な対話型公開会議などを中心に、市民力の醸成、市民の主体的な社会参画が文化面から活性化していくことを目指す。あわせて、スタジオ協働事業や地域文化アーカイブなどの事業をせんだいメディアテーク7階ラウンジにおける展示を通じて広く発信する。	・考えるテーブル 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対話型イベントを縮小し、ZOOMIによるオンライン「てつがくカフェ」を実施した。 ・ラウンジでの展示 「2011・3・11 大津波に襲われた沿岸集落で、かつて聞いたいいつたえむかしばなしはなし その8 多賀城市周辺の民話」を実施した。	社会教育	てつがくカフェ@せんだい、みやぎ民話の会「民話声の図書室」プロジェクトチーム等	2,621	教育局生涯学習課
240	地域文化アーカイブ	市民の自発的な地域文化財のデジタル化、保存、活用を促す取り組みを行う。成果物は、メディアテークに保存し、ライブラリーへの配架、ウェブサイト等での発信、またそれらを基とした催事を行うことで、仙台市域のさまざまな文化活動へのより広く深い市民の関心を促す。	「民話声の図書室」CD制作、「どこコレ？ーおしえてください昭和のセンダイ」オンライン版の実施、「みやぎシネマクラドル」による震災10年特別上映とシンポジウム、小冊子「カミングアウト／クローゼット 多様な性の当事者たちによる生の声の記録」の発刊等を実施。	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	みやぎ民話の会「民話声の図書室」プロジェクトチーム、特定非営利活動法人20世紀アーカイブ仙台、レインボーアーカイブ東北、みやぎシネマクラドル等	事業番号239と共通	教育局生涯学習課
241	バリアフリー文化事業	目や耳の不自由な人々の主体的な情報アクセスを促進するための点字翻訳、音声解説、字幕制作等のデータ作成を市民協働で行う。成果物を活用した上映会等や、作成にかかわる人材の育成、技術向上に向けた講座の開催など一連の取り組みを行う。	・バリアフリー上映会および音声解説・日本語字幕モニター会 参加者数:延べ169人 ・各種研修会等:新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・手ではなすおはなしの会 参加者数:延べ18人	健康福祉・医療, 社会教育	点訳・音訳ボランティア、仙台音訳の会、バリアフリー上映音声解説・日本語字幕制作ボランティア、まほうの手等	683	教育局生涯学習課
242	地域文化連携事業	各種団体との協働や連携・ネットワークを用い、地域におけるメディアテークの役割を担いつつ、オープンスクエア、ギャラリー、シアター、ライブラリーなど館全体の機能を生かしたイベントや展示、上映会など多様な共催事業を実施する。	・定禅寺通祭り連携事業は中止 ・「ショートピース! 仙台短篇映画祭」の実施 参加者数:200人 ・「せんだいデザインリーグ2021卒業設計日本一決定戦」(展示・公開審査等イベント)を実施。 参加者数:1,700人	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	仙台短篇映画祭実行委員会、仙台建築都市学生会議	1,100	教育局生涯学習課
243	震災の記録・市民協働アーカイブ事業	震災とその復旧・復興の過程を市民・専門家・スタッフが協働して記録・発信し、「震災の記録・市民協働アーカイブ」として、整理・保存する「3がつ11にちをわすれないためにセンター」を運営する。センターでは、参加者が写真や映像等で記録し、資料活用に向け、アクセス可能なメタデータなどを整備し保管する。また、収集した資料は一部選別し、ウェブサイトでの配信、ライブラリーへの配架、上映会や展覧会の開催など、さまざまな形での利活用を行う。	ウェブ閲覧数:3,345,594回 ※展示と上映「星空と路」を実施。(令和3年3月23日より臨時休館のため、令和3年8月1日まで会期延長) ・参加者数:2,356人	社会教育、地域安全活動	市民の参加者	15,891	教育局生涯学習課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
244	仙台市立学校施設の開放(学校施設開放事業)	社会体育の普及ならびに幼児および児童の安全な遊び場の確保のため、学校の校庭や体育館などを学校教育に支障のない範囲で幼児、児童、生徒その他市民に開放する。	学校施設開放実績:185校 (うち自由活動開放実績:30校)	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術, 子どもの健全育成	管理運営委員会	31,669	教育局生涯学習課
245	社会学級開設	学区に居住する成人が、自主的な学習活動ができるよう、小学校、特別支援学校に社会学級を開設する。	社会学級開設実績:112件	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	小学校・特別支援学校に開設する社会学級	2,531	教育局生涯学習課
246	学校図書室等開放事業	市立小学校において、図書室等の学校施設を週末に開放し、読書の機会提供、子どもの居場所拡大、地域の生涯学習の場としての活用を図ることを目的とした、学校図書室開放事業の管理・運営を委託により実施する。	学校図書室等開放実績:22件	社会教育, 子どもの健全育成	各学校図書室等開放推進委員会(学区内町内会、父母教師会、その他の団体代表者、学校関係者で組織)	4,331	教育局生涯学習課
247	仙台市小中学校PTA運営費補助金	市立小学校等PTA活動の振興を図るため、PTA等の運営に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。	補助金交付実績:1件	社会教育, 子どもの健全育成	仙台市PTA協議会(各市立小・中・特別支援学校PTA)	12,560	教育局生涯学習課
248	仙台市マイスクールプラン21推進事業補助金	実施校ごとに設置する運営委員会によって選任されたコーディネーターが企画調整して行うマイスクールプラン21推進事業運営に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。	補助金交付実績:8件 延べ利用人数:7,243人	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	実施校ごとに設置するマイスクール運営委員会	9,672	教育局生涯学習課
249	ホームムービーの日「なつかし仙台8ミリフィルム上映会」	すでに映写機のない各家庭に眠っている8ミリフィルムを掘り起こすため、8ミリフィルム上映やデジタル化のノウハウを持つ特定非営利活動法人20世紀アーカイブ仙台との共催により、歴史民俗資料館の歴史的な知識と会場の雰囲気の中で、各家庭から持ち寄られた8ミリフィルムを鑑賞するイベントを実施する。	第13回ホームムービーの日「なつかし仙台8ミリフィルム上映会」を歴史民俗資料館で実施した。 参加者数:24人	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	特定非営利活動法人20世紀アーカイブ仙台	—	教育局文化財課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
250	歴史民俗資料館サポーター活動	仙台市歴史民俗資料館で、年間を通して来館者に対する展示解説活動、各イベント参加者の支援や補助を行う。	・小学3年生の校外学習見学を中心とする展示解説や、イベントの補助活動を実施予定としていたが、令和2年度の活動は休止。 サポーター登録者数:23人 ・企画展・特別展の概要説明および展示見学等を行う館主催のサポーター会を3回開催した。 ・養成講座5回	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	歴史民俗資料館サポーター会	—	教育局文化財課
251	仙台市富沢遺跡保存館ボランティア活動	富沢遺跡保存館(地底の森ミュージアム)で、年間を通して来館者に対する展示解説活動、各イベント参加者の支援や補助を行う。	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来館者との対面となる活動は行わず、イベント等の準備作業や野外展示の維持管理作業のみとした。 ボランティア登録数:70人 ①展示解説 延べボランティア数:0人 延べ活動時間数:0時間 ②イベント等の補助 延べボランティア数:259人 延べ活動時間数:604時間 ・館主催のボランティア育成事業を実施した。 養成講座:3回 実技研修:0回 施設等研修見学会:0回 特別研修:2回	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	富沢遺跡保存館ボランティア会	59	教育局文化財課
252	地底の森フェスタ2020	富沢遺跡保存館職員とボランティア会の共同で開催するイベントであり、「石器づくり」「やり投げ」などの各種体験コーナーや料理の試食体験を行う。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内容および日程を変更し、「体験！発見！地底の森」として4日間実施した。ボランティア会と共に変更内容を検討し、準備等にも協力して頂いた。 参加者数:127人	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	富沢遺跡保存館ボランティア会	93	教育局文化財課
253	企画展「もりの風景2020」	富沢遺跡保存館が主催する展示事業。ボランティア会など館に関連する団体も含め、1年間の活動の様子をパネルで紹介する。あわせてボランティアが制作した作品・実験研究などを紹介する展示も行い、館の活動とその成果について広く市民へ周知を図るとともに、次年度の募集について広報を行い、生涯学習活動を発表する場とする。	当館が保管する過去開催した企画展のイラストや復元画、ボランティアが制作した土器など約70点と解説パネル約20枚を展示した。	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	富沢遺跡保存館ボランティア会	263	教育局文化財課

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
254	縄文の森広場ボランティア活動	縄文の森広場で、年間を通じ来館者への展示案内、体験活動やイベント参加者の支援・補助等を行う。ボランティアとして登録した方が、あらゆる活動への取り組みを通して、生涯学習活動を実践する場となっている。	・ボランティア登録数:60人 ・令和2年度は来館者と接触しない活動を行った。(体験活動の準備、記念品の準備、ボランティアグッズ制作など) 延べ年間活動人数:361人 延べ活動時間:804時間 活動日数:150日 ・館主催のボランティア養成講座を4回開催したほか、オンライン会議の練習会を実施した。	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	縄文の森広場ボランティア会	10	教育局文化財課
255	仙台・文化財サポーター会	文化財の普及、利活用を促進するため、自主的に文化財を学習している3つの部会の活動を支援する。また文化財課主催のイベントなどへの協力を依頼する。	文化財サポーター養成講座を実施して育成を支援した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、募集人数を10人に絞って実施した。講座実施回数:7回	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	仙台・文化財サポーター会	54	教育局文化財課
256	段ブロックコーナー設置	段ブロックプロジェクトと協力し、段ボールを素材としたブロックの普及を図るとともに、子どもの科学やものづくりへの興味関心を高める。	常設展の段ブロックで工作するエリアを改修し段ブロックで製作した迷路を設置した。	文化・芸術・ スポーツ・ 学術	段ブロックプロジェクト	—	教育局科学館
257	猫の譲渡会	保護猫団体に協力して譲渡会を開催する。	実施回数:6回 トライアル頭数:44頭	社会教育, まちづくり	しっぽゆらゆら杜猫会	—	教育局科学館
258	市民センター事業	各市民センターにおいて各種事業(講座)を実施する。 市民協働事業例: 図書ボランティア、剪定ボランティア等の各種ボランティアの養成講座、市民と一緒に講座を企画する市民企画講座、学校や地域団体等と連携した各種講座	講座数:545講座 2,111回	社会教育, まちづくり, 環境, 文 化・芸術・ス ポーツ・学 術, 国際交 流・協力, 男女共同参 画社会, 子 どもの健全 育成	地域住民、地域団体等	19,857	教育局生涯学習支援センター
259	市民センターまつり	作品展示や舞台発表等生涯学習発表の場を提供するとともに、まつりの運営を通じて地域と世代間の交流を深め、コミュニティづくり促進の機会となる市民センターまつりを開催する。	開催館数:6館 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、51館で中止	社会教育, まちづくり, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	地域住民、地域団体等	事業番号 258と共通	教育局生涯学習支援センター

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
260	学びのコミュニティづくり推進事業	学びのコミュニティづくり推進事業実施要項に基づき、子どもや学校を支援する学びのコミュニティづくり推進事業を委託により実施する。	委託実績:2件	社会教育, まちづくり	東仙台小学区学コミ推進委員会、プロジェクト北三	428	教育局生涯学習支援センター
261	地域文庫の会の活動に対する補助金	公共図書館と連携し、会員の交流と研修を深め文庫活動を盛んにし、子どもたちと地域住民のためのよりよい文化環境を作るために要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。	補助金交付実績:2件	社会教育, 子どもの健全育成	仙台手をつなぐ文庫の会、泉手をつなぐ文庫の会	570	教育局市民図書館
262	地域のボランティア育成と活動支援	①書架整理等を行うボランティアを募集し、市民参加を促進。 ②ボランティアの協力を得ながら、年齢・対象別のおはなし会やブックトークを実施する他、講演会や講座等を行う。	①返却された本を書架に戻す作業や、破損した本の修理を、ボランティアの協力を得て行った。 ②若林図書館の出前おはなし会他、読書推進活動のボランティア 延べ人数594人 講演会や講座(実施2件)のボランティア延べ人数19人	社会教育, 文化・芸術・スポーツ・学術	①市民の参加者 ②読み聞かせボランティアサークルほんわか 他読み聞かせボランティア団体、登録した個人	73	教育局市民図書館
263	障害のある人へのサービスの充実	①視覚障害のある人へ、朗読ボランティアによる対面朗読サービス ②ボランティア団体による拡大写本制作	①対面朗読件数 91回 ②拡大写本 1タイトル2分冊完成	社会教育, 文化・芸術・スポーツ・学術	①朗読ボランティア ②拡大写本の会	①133 ②事業番号262と共通	教育局市民図書館
264	学校連携事業	ブックトークボランティアによる小中学校へのブックトーク	利用校:17校(団体) 延べ実施回数:40回	社会教育, 文化・芸術・スポーツ・学術, 子どもの健全育成	仙台市図書館ブックトークボランティア「ランプ」	—	教育局市民図書館
265	ヤングアダルト世代の読書支援	中高生から参加者を募り図書館主催の講演会の運営補助、ブックリスト等の作成を通しておすすめ本の紹介などの情報発信を行い、同年代への読書のきっかけづくりを促進する。	・YA図書委員会による図書館主催の講演会の運営補助、選書やブックリストを作成した。 ・選書アドバイザーによる、ブックリストの作成およびブックリストを青葉区内の中学校と近隣の高校に配布した。 ・選書サポーターによる、おすすめ本のPOPを作成し図書館内に展示した。	社会教育, 文化・芸術・スポーツ・学術, 子どもの健全育成	YA図書委員会(泉図書館)、選書アドバイザー(広瀬図書館)、選書サポーター(榴岡図書館)	—	教育局市民図書館

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
266	地域の専門機関との連携	地域の専門機関と連携し、市民向け講座・講演会や情報展示コーナーの設置など、地域に関する情報を発信する。	・広瀬図書館で地元企業と連携し講演会を開催。 ・榴岡図書館でハローワーク仙台と連携し講座を開催。 ・榴岡図書館で東口ガイドボランティア「宮城野さんぼみち」と協働して「まちあるき歴史散歩」を開催。	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術、子どもの健全育成	地元企業 ハローワーク仙台 東口ガイドボランティア「宮城野さんぼみち」	—	教育局市民図書館
267	市内大学との連携	①宮城教育大学附属図書館との資料の相互貸借の実施 ②「学都仙台」を活かした市内大学との連携や、市内専門研究機関等とのネットワークづくり	①宮城教育大学附属図書館との資料の相互貸借を実施し、館内掲示により周知を図るとともに利用者からの問い合わせに応じて大学図書館の所蔵状況確認を行った。 ②広瀬図書館で、国立仙台高等専門学校広瀬キャンパスと連携し「ひろせプログラミング工作会」や「英語多読教室」を開催した。また、学生読み聞かせワークショップや司書教諭研修等の講師として職員を派遣した。	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	①宮城教育大学附属図書館 ②市内大学、市内専門研究機関	—	教育局市民図書館
268	選挙出前授業	仙台市内の中学校、高等学校および大学において、模擬投票を含めた選挙出前授業を行う。	市内学校等15か所にて計23回実施した。	その他	特定非営利活動法人ドットジェイピー宮城支部、選挙啓発ボランティアActivate仙台	—	選挙管理委員会事務局選挙管理課
269	選挙啓発ボランティア事業(Activate仙台)	投票率の低い若年層の投票率向上のため、大学生等が定期的に集まり、市の啓発事業に対し企画・提案等を行う。	定期的な集まりで市の啓発事業に対し意見の提供や提案を行ったほか、啓発ポスターの選定等を実施した。 活動者数:6人	その他	市民の参加者	11	選挙管理委員会事務局選挙管理課
270	選挙啓発事業	東北大学大学院経済学研究科高齢経済社会研究センターが、仙台市民投票意識調査の結果について分析・検証し、市と効果的な啓発について協議する。また、投票率向上に資する取り組み機会を増やすため、同センターの事業への市の参加について協議する。	令和元年の仙台市議会議員選挙後に実施した「仙台市民投票意識調査」の結果について、東北大学大学院経済学研究科高齢経済社会研究センターに引き続き分析を依頼した。	その他	東北大学(東北大学大学院経済学研究科高齢経済社会研究センター)	—	選挙管理委員会事務局選挙管理課
271	災害時給水栓による地域の飲料水確保	災害により応急給水が必要になった際、地域住民が自ら給水所を立ち上げ運営できるよう、市立小中高校に災害時給水栓を設置するとともに、操作説明会や防災訓練を通じて操作方法の理解を深め、習得を促す。	災害時給水栓について、避難所運営委員会等に対して使用方法等の説明を実施した。 令和2年度末までに説明した箇所数:128か所 (令和2年度に説明した箇所:10か所)	地域安全活動	地域団体(避難所運営委員会等)、市立小中高校	36,257	水道局水道危機管理室

事業番号	事業名	事業内容	令和2年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費 (千円)	担当課 ※()内は 令和2年度担当課
272	社会人講師理科特別授業「炎の不思議」	社会人講師による小学校の理科特別授業を支援する団体と連携して、ガスを使った実験を通して、燃焼のしくみや炎が生活の中でどのように役立っているかなどを学ぶ理科実験の授業を実施し、炎と実生活のかかわりを啓発する。	小学校3校で特別授業を実施した。 (学級数:8学級)	子どもの健全育成	一般社団法人教育総合支援機構 ゆわう	—	ガス局営業企画課
273	院内の案内・介助支援	院内を訪れる患者や家族の受診案内や、歩行困難者などの車イスによる介助、および四季折々の展示物作成を行うボランティア活動。ボランティアは、市立病院で一般公募し、養成講座を実施した後にボランティア登録した方が活動している。	年間活動日数:208日 ボランティア延べ参加者数:962人	健康福祉・医療	ボランティア登録者	58	市立病院総合サポートセンター